

# 伊藤音次郎日記

## 1941(昭和16)年

文字データ作成: 一般財団法人 日本航空協会 2018(平成30)年6月

\* お気づきの点などございましたら、ご教示のほどお願い申し上げます。

一般財団法人日本航空協会

航空遺産継承基金事務局

〒105-0004

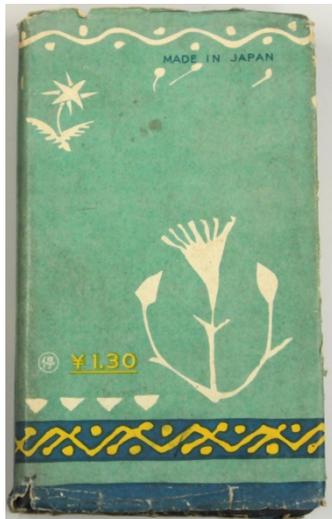
東京都港区新橋 1-18-1

電話 03-3502-1207

ファクス 03-3503-1375

電子メール isan@aero.or.jp

禁無断転載 © 一般財団法人日本航空協会



▲▼1ページ▲▼ 前年ヨリ繰越事項

増資速(ママ)進ノ事

○

工員増員ノ事

○

海軍作業取ル事

◎

航空局万全ヲ期スルコト

○

組合價格制定ノ件

◎

◎ハ完

○ハ良好ニ進ミツヽアリ 但シ困難ハアリ

▲▼ページ▲▼ 一月

増資書類提出ノ事

日飛連絡ノ事

組合適性價格制定ノ事

組合資材配給確立ノ事

▲▼4ページ▲▼ 昭和16(1941)年1月1日(水)

天気 快晴

五時半起床 四方拝 参吉、徳次仁三郎 ツル姉 和子ト鏡餅神酒、海山ノ幸ヲ持ツ  
テ航空神社ニ参拝後山縣碑ニ参リ丁度昇ル初日ノ出ヲ拝ム 海ヲヘダテテ富士ハ全影  
ヲアラワシ旭日ニカヽヤイテ居タ

帰ツテ祝膳ニツク 航空三十年記念ニ梨本ノ宮殿下ヨリ頂イタ木盃デ神崎ノ香取酒ヲ  
一パイノンダラヨツテ眠クナリ晝過ギ迄床ニ入ル

午後清平來タノデ起キル 引續キ野口氏佐藤宇賀來 小學生募集ニツキ話シ合フ 三  
時頃皆帰ル 今日一日ノンビリトシタ情(ママ)カ頭ガ軽クナッタ様ナ氣ガシタ。奈良原  
サンヘ酒一升贈ル

▲▼5ページ▲▼ 昭和16(1941)年1月2日(木)

天気 晴時々薄雲

夜中カラ水ハナガ出タリセキモ出テ風ヲ引イタラシイ 七時迄皆寝サセル 八時過ギ  
朝食 屠蘇デ又少シ氣持チ悪クナル 氣分ヨクナルノヲ待チ十時半工場ニ行キ今年度

諸計画ニツキ考慮シノートス。

木下來 一昨日奥山氏ト会见ノ模様ヲ話ス 即チ新会社ハ東京ニアリ大矢シハ讓渡後モ同写真部ニ残ルコト 半年一年デ解雇スル様ナコトナキコト 飛行ノ仕事ガナクナツテモ本社デ引取ルコト 給料ハ目下百五十円ヲ月々其他ノ収入分四五十円アルコト ソレト同等以上ノコトハスル等ニツキ奥山氏責任ヲ持ツテ貰フコト以上

乙竹氏新年ノ挨拶ニ工場へ來

午後兄ニ高木村ノ石川氏ヲ訪問シテ貰フ 金ノコトデ兄モ進ンデヤラナイガ、中止スルコトハ一言モ聞イテ居ナイノデ進メルコトニタノム

清平午後沢井サンニ舟崎サン訪問ニ上京ス

### ◆▼6ページ◆▼ 昭和16(1941)年1月3日(金)

天気 快晴

予報ノ小雨ヲ裏切ツテ快晴 七時半起床 朝食後工場ニ行キ清平ニ電話デ高岡ノ板金工ニツキ相談 明晩立ツテ五日ニ向フテ會フコトニキメ帰宅 其旨打電ス

野口君來 香取方面へ行クトノコト二百円渡ス

兄來 昨日高木村ノ石川書記ニ五十円ノ予定ノ處金ガクツレナカッタノデ百円渡シタトノコトデアッタ 百円ト外三二十円渡ス 塚本君來 徳治ト會食後遊ビニ出カケル

十一時半ヨリ印旛飛行場見学ニ行ク 津田沼駅前ヨリバス 丁度一時間待ツ 五十分余デ船穂村天王前下車 徒歩二十五分デツク 家内ト和子ヲ連レニ行ツタ。向フテノリ巻キヲ喰フ ウマカッタ 校舎ヲシキモノ四棟棟上ゲガ終ツタ位デ飛行場ハマダ下水工事中 格納庫ヲシキモノハナカッタ。古ビタ吹流シガダラリトシテ居タ

五時過ギ帰宅 和子ガヨク歩イタ

### ◆▼7ページ◆▼ 昭和16(1941)年1月4日(土)

天気 晴

六時半起床 昨夜ハナガ出テ枕下ハナ紙デーパイデアッタ

八時工場出 森川清平井倉君モ來テ居タ

森川氏ニ増資ノ件話ス 十日頃タイプニヤツタ書類ガ出來ル筈ダカラ今月中ニハ出スコト。土地ノ件進メテ居ルカラト報告ス 氏ヤ又土地ダケハ最(ママ)非先キニマトメテ貰フ必要アリトノコトデアッタ

十一時過ギヨリ新年會ニ入ル 星野氏來 森川氏居ルト思ツタラ九時半ノバスデイツノ間ニ方帰ツタ由兄カラ聞ク 止ムナク自分一人新年ノ挨拶ヲナシ特ニ協同一致ニツキ一言希望ヲ述ベテ居ク 終ツテ帰宅 宅ニテ奈良原、星野、井倉、清平、兄、ノ外ニ鯉ヲ例年ノ通り持ツテ來テ呉レタ梅沢氏ト二時頃會食ヲ終ル 少シ頭ガ変ナノデ熱ヲ計

ルト七度二分アッタ アト安静ヲ保ツ

▲▼8ページ▲▼ 昭和16(1941)年1月5日(日)

天気 晴

七時過ぎ起床 八時半工場へ行き清平ニ電話ス 井倉君ヨリノ報國ニ本日舟崎氏差支アリトノコト 夕方横浜出張者ノ時間ニ相違アリ帰宅後稲毛ニ行き注射後大口ニヨリ豊作ニ市川カラ行クモノハ六時ノ予定デ居ルカラ連絡スル様命ズ。金式拾円ヲ預ケル十一時半帰宅スルト舟橋ヘスグ來テ呉レトノコトニ行ク 角外富山カラ來テ居ルモノ二人会食中デアッタ。夕方ハ又工務課員数名呼ブノダトノコト 晝食ノ馳走ニナリニ時過ぎ共立土地会社ノ責任者ダト聞イタ海神町五丁目ノ増田鐵男ニ行ク 今日モ不在ニツキ、イツ登記シテ呉レルカハガキデア知ラセル様頼ンデ帰ル。徳治仁三郎工藤(写真取リニヤツタガマダ出來テ居ラズ 明日送ルトノコトデアッタ

▲▼9ページ▲▼ 昭和16(1941)年1月6日(月)

天気 快晴

六時起床 定刻出社 森川氏スグニ來社  
八時五十五分ニテ上京 十時過ぎ局着 局長工政課長器材課長、規格課長、工政課乗員課ニ挨拶 佐田サン伊藤君ニ木下ノ台湾行き諒解ヲ得。安岡登ノ件モタノミ帰途東日ニヨリ河合へ組合登記成立ノ件ヲ報告シテ帰ル 安岡ニヨリ登ノ願書提出ノコトヲ話シ自宅へ來テ居ルトノコトニ宅ニヨリ登ニ會ヒ手續キヲ教エル  
三時半工場出 産報委員会々催中 六時半漸ク終ル。工員ヨリ提出ノ要求書ナルモノガ出テ居タノデ宇賀、梅山、太田ノ三委員ヲ調査委員ニ上ゲル  
帰途森川氏ニ明日器材へ寄ツテ貰フコト 増資ノ件ニツキ森川氏ハ三百五十万デ押シ若シ許可ニナツテ金ガ出ナカッタラ局へ話シ込ムツモリダトノコトデアッタ

▲▼10ページ▲▼ 昭和16(1941)年1月7日(火)

天気 曇雨

定刻出社 午後二時半迄工場  
讀賣新聞ヨリC七カバーニツキ嚴重ナ電話アッタ  
山東風引キ休 永富昨日モ今日モ休ミ 少シアヤシイ 森川氏今日ハ器材ニ行キツヒニ來ラズ

夜主任以上呼ブ 休場者アリ十名來ル 手料理ニテ酒モ各一本ヅツケル 來ナイ人ノ分ガ大分皆ニ廻ル。今日ハ永富山東ガ來レバ協和ニツイテ懇談スルツモリデアッタガ

単ナル会合トス。クラブ木下ヨリ庄司徳次ニ事務引繼ギヲナサシム。明日ハ局カラカストル屋ヘヤルコトトス。

◆▼11ページ▲◆▼ 昭和16(1941)年1月8日(水)

天気 雨後曇リ

定刻出 八時森川氏來 昨日器材へ行ツタ結果ヲ聞イタガ別段何ニモナカッタトノコト舟崎氏ニハ會ツタ由

八時五十五分ニテ上京 器材へ行ク 今里氏一人増資ニ対スル意見ヲ聞ク 實際ニ黒字ニナラネバ絶対ニ増資不可能トノコト ソレデハ現会社ノ方針ヲ一変スル必要アル旨ヲ話ス 永富君等ニツキ本人タチガ、クサツテ居ルコトヲ話ス。ソレニハ今里氏ハ上ノモノガ適當ニ導ク必要アリトノコト 同感

協会ニ挨拶 堀閣下話シアリトノコトニ土曜日再会ヲ約ス 清水磯部氏ト御茶ヲノンデ話シ合フ

文部省ニ関口、松下、山崎氏ニ挨拶 綿布ノ件十五日ニ確定ノ由 山崎氏ニ規格、價格、在貨場所ヲ聞クコトヲ依頼ス

讀賣ニ行キ時沢氏ニ晝食ノ馳走ニナリ、C七カバーノ件十一日持参ノ諒解ヲ得テ中沢氏ニヨル 不在 局ニ行キ村上氏ニ會ヒ材料價格表ヲ提出 懇談ノ結果局、協会、文部、陸海カラ價格制定委員ヲ出シ委員会ニヨツテ決定スルツモリダトノコトデアッタ 頼ム。鉄鋼聯合會ニ行ク 商工省ノ諒解ガ入用デアッタ。時間ノ都合デ日活館デ映画ヲ見 六時半鈴木カンニ行ク マダソロッテ居ナカッタ 七時半頃木下ノ送別會初マル 會費ヲ拂ヒ挨拶ダケデ帰ル

今日ハ午後カラムネガ痛ンダリゲツプガ出タリ下痢ヲシタ 正月以來少シツヽノンダ酒ガヨクナイラシイ

◆▼12ページ▲◆▼ 昭和16(1941)年1月9日(木)

天気 晴

六時起床 定刻出 九時森川氏來 昨日今里氏會見ノ話シヲナシ一昨日増資問題ニフレナカッタカラ確メル ナカッタトノコトデアッタガ増資シナイナラ又此マ、黒字化スルナラ根本的ニ方針ヲ改メル必要アリ 森川氏ニ來テ貰ツタコトモ意味ナイコト 少年工入レナイコトハ清平ヲ考ヘナイコトデアアルコトヲ強調ス 明日行ツテ來ルトノコトデアッタガ何ニカシラ不明朗ナ口振りデアッタ 明日木下氏ニ二度會ヒタイト思ツタガ松戸へ行クコトニ決ス 木下精算ヲサセ話シヲツケル

町長ト五時ヨリ鈴木館ニテ會見 兄同席 町営住宅建築方ヲ想(ママ)談ス 氏モ建築ハ何ニヨリスキデ丁度十六年度ノ町予算ヲ之レカラ編制スル處ダトノコト

犬アド公朝ノ散歩ヨリツヒニ帰ラズ不明トナル

▲▼13ページ▲▼ 昭和16(1941)年1月10日(金)

天気 曇小雨

六時起床 定刻出工場用件角ニ書イテ渡シ炭ノ許可書事傳ル 八時五分船橋ニテ兄ト同行 松戸ニテ三十分井倉君待チ合セタクシーヲヤトヒ兄村役場へ行き自分等養成所ニ行き所長其他ニ新年ノ挨拶ヲナス 所長トハ三十分余リ話ス イツモ気分ヨイ人ダ 十二時帰宅 井倉朝日新聞へ行ク 一時工場出。太田又午後休場シタル由 森川氏増資問題ニテ器材へ行き來ラズ 野口氏不在中來 十二日記者團來ル由 日本小型宮原氏ト明日正午飛行館ニテ会见約束ヲナス 佐藤、清平ト発動機整備ニツキ想(ママ)談ス

▲▼14ページ▲▼ 昭和16(1941)年1月11日(土)

天気 晴

六時起床 定刻出 森川氏來 増資ノ件聞ク 何ニモ話シ出ナイトノコト。ソノ話シニ行ツテ出ナイ筈ハナイ 何ニカハツキリシタ返事ヲシナカッタ 明後十三日器材へ十時ニ自分ニ來テ呉レトノコトデアッタ由

工員要求案ニツキ宇賀太田、來 森川氏ト会谈 自分八時五十五分ニテ上京 協会ニ行ク 堀閣下ニ会见。(一)組合認可サレタイコト (二)プライマリー材料(部品)販賣ノ件 (三)本年度初ノ発注ノ件ニツキマダ人ガソロワナイカラ午後三時頃來テ呉レトノコト 井倉來羽田へ行ツテ貰フ 篠原君ニ村上氏ノ適性價格委員会ノ件話ス 有馬中佐ニ初メテ会フ 文部省ニ山崎氏訪問ス 土井氏昨夜大坂へ行キ今日アタリ福田へ行ク 由トノコトニ生田氏ニ打電シテ綿布現品ガ使用ニ堪エルヤ否ヤ見テ貰フコトトス 晝協会ニテ本庄サンカラ朝日新聞ノ計畫ヲ聞ク 善処方ヲタノマレル 尚材料ニツキタノマレル

午後三時日高君來 堀閣下摺沢大佐トコン談 受注打合ヲナス。組合強化ニツキ先キノ文部省ノ例ヲ取り内部ハ勿論ダガ外野カラ援助サレタキ旨希望シテ帰ル 一時約束オクレ四時中沢氏ニ行き貸シタ画帳ヲ受取ル マダ徳川サンモ井上サンモ手紙出サヌ由

▲▼15ページ▲▼ 昭和16(1941)年1月12日(日)

天気 晴

今日ハツカレヲ覺エルノデ休ミタカッタガ七時起床 八時半工場出 清平電話シタラ休ム由 兄八時四十分ニテ來社 組合トシテ昨日協会ヨリ受注ノ福田、前田、河合へ見積書提出方手紙出ス

奈良原野口氏來 磯部氏來 天王寺谷君ノ希望ニヨル会ヲ作ル件磯部氏へ青少年グラフィダーノ模型ノ會ニシタイトテ規則書ノ原稿ヲ見セラレタガ自分トシテハ工業クラブノ様ナ航空界ヲ打ッテ一丸トシタクラブガ出來タラ入会シタイ希望ノアルコトヲ告ゲル。千葉丁度筆デアッタノデ記念揮毫ヲシテ貰フ

十一時カラ一時ニカケテ千葉ノ記者六社九名來 晝食ハランチヲ出シ工場見学サセ昔カラノ航空談デ三時四十分散会ス  
終ッテ醫者ニ行ツタガ不在 スグ帰ル 登ノ膳本來ル

### ▲▼16ページ▲▼ 昭和16(1941)年1月13日(月)

天気 晴

五時半起床 仁三郎ノ寒稽古ガ初ツタノデ家内ハ四時起床 定刻出社 森川來タガ器材ハ行カナイトノコトニ八時十五分ニテ出發 局乗員課へ安岡登ノ願書持參 泊氏ニタノミ受付テ貰フ 器材へ十時十分前着 舟崎氏ト更ニ交詢社ニ行ク 舟崎社長トナリ自分ニ六社長待遇ノ平取役(ママ)トナルコト 兄ハ監査ヲ辞シテ顧問(ママ)トシテ從來通り給支(ママ)スルコト 清平ハ会社トシテ他社へ入レシバラク他人ノメシヲ喰ワセルコト土曜日桜井部長ニ昨日木下氏ニスデニ諒解済ミトノコト。森川ノ態度デ幾分予期シタコトデアッタ 自分ト兄ノコトハスグ承認 清平ノコトハ、即決セズ少シ様子見ニシタイト希望ス。器材ニ帰り以上今里畑ニ報告 スグ津田沼ニ同行 森川ニ話シ更ニ星野、清平乙竹(井倉欠席)話シ発表ハ今週中トシテ松戸ニ行キ佐藤氏ニ諒解ヲ求メ四時器材ニ帰り森川舟崎器材ニ入り自分第一ホテルニ岡村氏会见ニ行ク 同氏ハ綿布ト釘ノ件更ニ大坂側トシテ不統一ノ由ニ福田ニ対シテハ強行ニ出ラレタイトノ岡村個人トシテノ希望アリ

七時過ギ渡辺一英氏ノ招待ニテ函館ノ先生三人ト会食ス 渡辺君ニ感謝ス

### ▲▼17ページ▲▼ 昭和16(1941)年1月14日(火)

天気 晴

定刻出社 十二時頃畑氏來 コレヨリ先キ注射ニ行ク 清平ニ昨日ノ話シヲ一寸スル 朝山東ニモヨク話ス 一時ヨリ戦死者ノ町葬アリ行ク 丁度二時間カ、ル 四時帰場 畑氏待ツテ居タ 今日ハ十二月分ノ金ノ受渡シノツキ合セラシタ由。辞任届ケ書カセ判ヲ押ス 明後日金曜日発表、ノ予定シテ帰ル

帰宅夕食後相撲ノラジオヲ聞キ七時スグ床ニ入ル タ刊モ日記モ出來ナカッタ 非常ニ

ツカレヲ覺エル

◆▼18ページ◆▼ 昭和16(1941)年1月15日(水)

天気 晴

定刻出社 昨夜六七時床ニツイテ今朝四時迄小便ニモ起キズ眠ル マダ今日中頭ガツカレテ居タ。毒消マンデユウヲ喰ベテ薬ヲ求メ歩ク夢ヲ見テ目ガサメタ。何ニカ今度ノコトニ関係スル様ナ氣ガシタ。清平木下へ同道シタイトノコトニ八時十五分ノバスニテ出カケルニマダメシガスンデ居ナカッタ。十一時木下ト會フ 一時迄食事シナガラ會談 舟崎氏ハ会社ヲ隆盛ニシテ又伊藤君ニ社長ヲヤツテ貰フ考ヘモ有テ、清平ヲ東京飛行機へ預ケルコトモスデニ話シアッタ由デ清平ニマダニ云ツテナカッタコトヲ話シ出シタノデツヒデニ話ス 即チ会社デ給料ヲ出シテ一年程修業ニ出ストノコトデアッタ 其代リニ輸送会社ノ木村(五十位ノ人)ヲ入レルトノコトデアッタ 木下氏ノ話シデハヨサソウナ人デアッタ。帰宅 三時半頃松木氏來ラズ 舟崎畑氏來テ居テ自分ノ仕事ニツイテノ希望ヲ聞カル 外部方面ニ不得手ナガラ出テ森川氏ノ仕事ヲヤリヨイ様ニスルコトガ円万(ママ)ニ行ク第一條件ダト思フ旨述ベル。之レハ舟崎氏ノ希望ニピッタリシタコトト思フ 清平ノコトモ同様兄ニ話シアリ次回発表ニ打合セシテ五時帰ル 伊藤西夫氏來場サル

◆▼19ページ◆▼ 昭和16(1941)年1月16日(木)

八時前出社 森川氏八時過ギ出社

森川氏ニ本日印函ヲ渡ス 兄ノ辞表モ出サセ本日登記終了ノ予定 十一時半帰宅 晝食後一時出上京 スグ区裁判所書記ヲ訪問 組合定款ヲ渡ス 登記マタ、新ラシクヤリ直ス必要アリトテ直十日間ヲ要スル由。ツマラヌ字句ダケノ問題デシカモ千葉ノ登記所ハソレデ通過シテ居ルノデアルカラ、何ニカ書記ノコトサラ金ヲ取ル爲ニヤツテ居ル様ニ思ワレタ 五円預ケテ、三和銀行ニ行キ自分ノ給料酬(ママ)入百円ノ小切手ヲ現金ニカエ時間ガアッタノデ井上大将ニ贈ルモノノ買物アサリヲナシ稍ヤ適當ト思ワレル水入レヲ求メル 五時十分東宝着 徳次恵美子等ト見物 九時二十分終ル 十一時帰宅ス 東宝ハタゞキレイナダケデ藝ハ物足りナカッタ

◆▼20ページ◆▼ 昭和16(1941)年1月17日(金)

天気 晴

六時起床 清平ヲ待ツ 八時來 自分ノ考ヘトシテ清平ノ一身ヲ今後舟崎氏ニ任せタ

ラドウカト想(ママ)談ス 清平毛讃(ママ)成ス 九時出社 十時二十分舟崎、今里、畑氏來 十一時ヨリ工員全部集合セシメ自分ヨリ今日発表ノ社長交替ノ件ヲ話シ舟崎氏ノ就任挨拶アリ 引ツゞキ主任以上ヲ二階ニ集メ挨拶ト共ニ仕事ニ対スル方針ヲ研究事項トシテ皆ニ相談ノ上記録トシテ提出スル様希望サル。尚舟崎社長、自分森川二人常務タルコト、産業報國會ハ伊藤引續キ會長タルコト。清平ノ件舟崎氏引受ルトノコトデアツタ 井倉君父君ノ秘書トシテ銀行ニ帰ルベク木下氏ヲ通シ話シアリタル由 函館中學ノ先生二人來

三時飛行協會ニ寄り福知氏ニメヅラシク會フ 四時文部省ニ行キ生田ニ會フ 関口、山崎氏等ト会谈 本年度千機位ヲ予定シテ居ルガ組合デ適當ニ予定ヲ建テテ善処サレタイコト。今用ノ羽布一千反ハ學校關係ノミニ使用スルコト。引取り配給ハ組合ニテスルコト 生田氏ト第一ホテルニテ夕食ヲ共ニス 生田氏ヨリ六百反ト外ニ組合配給ノモノ月五十反ヅ、ホシイトノ希望アリタリ 適性價格ニツイテハ協力ヲチカイ文部省關係ニハ秘密トスルコトヲ氏自身ヨリモ申出ラレ自分ノ意見ト一致ス

◆▼21ページ◆▼ 昭和16(1941)年1月18日(土)

天気晴

朝五時半起床 霜深シ 組合へ通知ノ原稿ヲ書ク

八時半工場出 野口君宅ニヨリ明日佐原出張ノ打合せヲナス。之レヨリ先キ乙竹ニ明日木村ヲ出張サセルコトトシ予備金トシテ百二十円預ケル 野口氏ニ六別二十円渡スクラブカストル代前金三百円也山元君へ送金ス 乙竹ニタノム ガソリン代ノ爲メ借り夕角へ式百五十円返金ス

十時半上野精養軒着 特免会社ノ運送方法改善ニツキ説明アリ 後懇談会ニ入り食事ヲナシ二時散会 東日ニ行キ原氏ニ會ヒ模型圖面ヲ譲リ受ケ代金前分共三円五十錢支拂フ 大変安クシテクレタ。

五時帰宅。食後宮崎雄蔵君來 月曜日会社デ会フコトトシテ帰ル 職工五名連レテ來タ由

◆▼22ページ◆▼ 昭和16(1941)年1月19日(日)

天気晴

七時起床 仁三郎寒稽古本日ニテ終了ス

八時半家内和子トノリ巻ト辨當持參デ船橋ニヨリツル姉同道ニテ八柱靈園ニ參ル 終ツテ飛行場ニ出場内ノ芝生デ辨當ヲ開ク 風ナクヨイハイキング日和デアツタ ソレヨリ六實ニ出ガソリンカーニテ二時船橋着 清平ト三四十分話シ通り辻歩イテ和子ノ買物ヲシテ五時帰宅

御産デ急死シタ魚興ノ妻君ノ葬儀ガ丁度アル處デアッタ。坐敷ニ上ルトスグ相撲ノ放送ヲ聞ク 終ツテ入浴

▲▼23ページ▲▼ 昭和16(1941)年1月20日(月)

天気 晴

夜明前雨 夜七時頃雷雨アリ後チ風強シ

昨日ハイキングノ帰リカラ左ノシリガ痛ミ出シタノガ今朝益々痛ムノデ休ムコトトシ八時頃用件ダケ書イテ工場へ持タセテヤル

クラブ卒業生來 満空ヨリ帰ル予備下士ニ合格シタトノコト 満州ノ色ナ話シヲ聞ク 夕方宮崎君來 森川清平ト會ヒ色々取り極メヲシテ來タ 清平ニ職工ノコトヲノコトヲタノムツモリデ居タガ会議中デ三時間程待ツタガ會エナイカラ宜シクタノムトノコトデアッタ 兄來 森川三時頃帰ツタトノコト

清平來 明日船崎氏來ルトノ電話アリタル由

木村來 昨日盛会デアッタガ金ガ不足トナリ野口君成田ニ泊ツテ居ルノデ三十円送ッテ送ツテヤリタイトノコトニスグ渡シテヤル 夕方ヨリ痛ミハ全クナクナル

▲▼24ページ▲▼ 昭和16(1941)年1月21日(火)

天気 晴

七時起床 八時過ギ工場出 森川氏ヨリ工員昇給ニ関シ話シアリ同意ス 舟崎、畑氏來社ノ由ニツキ急イデ布施サンニ行ク 今出タ處トテ待ツ。注射後十時帰社 高見、長山、永坂、イツレモ通信協会へ玉川奨励金領収書發送 舟崎氏來ラズトノ電話アリ 午後更ニ畑氏モ來ナイトノコト

清平一人急(ママ)ガシクシテ居タ 井倉君今日モ休ム 夕方青仙ヲ使ヒニヤル

四時半帰リ相撲ヲ聞ク 七時四十分徳治帰ル

明日奈良原氏ト所沢へ行クコトトス

▲▼25ページ▲▼ 昭和16(1941)年1月22日(水)

天気 晴夜雨

定刻出社朝礼 間モナク森川氏來 營業ノ方ノコトト会社方針指示ノ件メモニ書イテ渡シテ居ク 今日ニモ舟崎氏來ラレタラ相談スル様タノム

八時十五分ノバスニテ船橋ニ行キ奈良原氏ト待合セ所沢行キ 安田大佐伊藤西夫氏ノ案内ニテ参考館ヲ見学後學校ニ行キ元ノ将校集会所ニテ晝食後飛行場見学 中央

ノ一番最初ノ建築物ノ觀測所ニ入り屋上ヨリ飛行場ヲ見セテ貫フ 広クナッタコト驚クバカリ 尚更ニ東ト北ニ拡張中デアッタ。昔格納庫ノ中デ寢ナガラ日ノ出ヲ見タコトヲ思ヒ出ス。終ツテ安田大佐ノ案内ニテ工場見学 誠ニ得ル處多カッタ  
三時半辞シテ新宿ヲ少シ歩キ四ツ谷ヨリ乗車。船橋ニヨリ土井氏ニ電話スル マダ商工省ノ認可ナイトノコト 少シアヤシクナツテ來タゾ

▲▼26ページ▲▼ 昭和16(1941)年1月23日(木)

天気 曇リ

朝雨後曇リ 八時工場出 森川氏出社ナク  
クラブノコト組合ノコトデオソクナル 十時出カケル 井倉氏三日休ンデ今日出テ來タ。局ニ行ク 會議ノ爲メ新局長へ挨拶出來ズ村上氏ニ會フ 急(ママ)ガシソウデアッタノデ文部省ノ千反ノ件ト間接費ドコへ出スコトデ命ジタカヲ聞ク 福田ダケトノコトデアッタ

東日ニ行キ原氏ニ過日ノ礼ヲノベスシヲ喰ヒニ行キ分レル。器材ニヨッタガ誰レモ居ラズ舟崎社長ニ明日來ラレタラ來テ貫フ様依頼シテ、氣象台ニ行キ大友氏ニ會フ 一兩日中ニ根岸君上京 横須賀ヘラノコトデアツテ來ル筈トノコト 尚見積書書キ直シテ出シテ呉レトノコト

航空學會ノ見学ニ参加シ四時終ル 三越ニ寄り小鳥ノエト丁度思ツテ居タ様ナ水差シガアツタノデ井上大将へ送ルベク求ム。便所ノ手洗ハツヒニカッタ

六時船橋ニヨル 清平マダ帰ツテ居ナカッタ。高木村長來テ兄ト話シ中

帰宅入浴 トテモ腹ガヘッタ

▲▼27ページ▲▼ 昭和16(1941)年1月24日(金)

天気 晴夜雨

今日モ温イ日デアッタ 朝散髪ヲシテ九時工場出

十時過ギ舟崎氏來 十二時半帰ル 其間宿題ノ一二三四解決ス 即チ(四)ノ会社方針ヲ決定 機体五、發動機十、グライダー三〇ト予定シテ人員ノ設備ニカゝルコトトナル

一時頃森川氏來 舟崎氏ノ話シデハ本年度社三二十万円ヲカケ五万円ノ損ヲ見込ミ十五万円ヲ設備其他ニカケル予定 其二十万円融資ノ認可ヲ得ル爲メ森川氏今朝局へ行ツテ貫ツタトノコトデアッタガ森川氏ノ話シデハ誰レニモ會エナカッタトノコト 舟崎氏決定事項ノ報告シ承認ヲ得テ井倉、清平ニ示ス 一人ハ主任以上ヲ集メ會議ヲ開ク 三時ヨリ千葉ノ徳永氏訪問 揮毫ヲ乞ヒ早速書イテ貫フ お娘サンが大変大キクナツテ居タ 奥サンハ留都(ママ)デアッタ

▲▼28ページ▲▼ 昭和16(1941)年1月25日(土)

天気 曇り

今ニモ降り出シソウナ一日デアッタ 定刻出朝礼 森川氏來 八時十五分ニテ上京  
裁判所書記ニ行ク マダ出來テ居ラズ廿八日ノ午前中ニ行クコトニ約束ス。文部省ニヨ  
ル 福田ノ小田君來テ居タ 模型屋ガ來テゴムノコトデ大分ヤカマシイ問題ニナツテ居  
ル様デアッタ 土井氏ヨリマダ通知ナイ由

協会ニヨリ廿八日総会会場星ノ間借用ノ件キメル 北尾君ト同道シテ山水樓ニ行ク  
假稱敬老会ニ参加 今後会名ヲ翼友会トキメ会費等モ定メズ幹事若干名ニテ事ム所ハ  
當分少年團ヘ置クコトナル 日野、伊賀サンガ見エテ居タノデ揮毫シテ貰フ 終ツテ朝  
日ヘ奈良原氏ト同道挨拶ニ行キ四時伊東氏ノ事ム所ニ行ク 伊藤氏本庄氏ト會見 廿  
八日總會ニ対スル本庄氏ノ意見ヲ聞イテ置ク

▲▼29ページ▲▼ 昭和16(1941)年1月26日(日)

天気 晴

ヨイ日曜デアッタ 八時起床 九時工場ニ行キ、クラブノ受取リナド書キ組合ニ手紙ヲ  
見ル クラブカストル上岡ヨリ十二カン求メ三百円持タセテヤル ガンリン桐生ヘ二本船  
橋ヨリ汽車便ニテ送ル

清平佐藤大分張切ツテ居タ 今日モ二人共ソレ、横浜ト羽田ヘ人ノ問題デ出カケル  
十一時帰宅 昨日ノ日記ヲツケ晝食ハカキモチデカンタンニスマセ村山ト縁下ニ鳥小屋  
ヲ作ル ニツ入レモノガ出來タ 夕方早速チャボトレグホンニ匹ヲ二ヶ所ニ入レル。此間  
作ツタ鳥小屋ニ卵子ヲ生ム處ヲ作ル 此頃ハ毎日三四個生ムノデ樂ダ

明日駒林氏招待ニツキ木村氏ヘ自ラ電報ヲ出シテ居ク

昨日約束シテ待ツタガ中君ツヒニ來ラズ。御馳走ハ兄ト一所ニ食ス

青木正国カラ出テ來テ徳治ト成田ニ行ク 今夜泊メル

▲▼30ページ▲▼ 昭和16(1941)年1月27日(月)

天気 晴

定刻出社 森川氏少シ遅レル 舟崎氏本日來ラレズ。明朝早く來ル由 美津濃ヨリ速  
達ニテ福田ト生田千反ノ羽布平等ニ分ル様ナラ組合ヲ脱退スルト云ツテ居タ由。明日  
ノ總會波高シノ予感アリ 晝食後上京 局工政課ニ行キ村上氏、係長守屋氏ニ會ヒ組  
合強化ニ協力ヲ乞ヒ尚課長ヲ顧問ニ推奨ノコトヲ話ス 引受ケソウナ氣振りデアッタ。  
泊氏ニ福田ヘ発注シタカラ調べル マダシナイガ五月カラ使用スルトノコトニ佐田サン

カラ福田ヘアラカジメ申渡シタモノト思ワレル 最モ機体が全部光式デアルカラ當然福田ニ行クモノト見テ差支ナイガ一應発注ハ組合ヲ通ス様ニサレタイ旨工政課長ニタノシテ帰ル

▲▼31ページ▲▼ 昭和16(1941)年1月28日(火)

天気 晴

六時半起床 定刻七時四十分森川氏 八時半星野氏來 九時舟崎畑氏來 早速会議ヲ開ク 主任以上ヲ集合 工場増員ニ関シ作業確立ノ件 滑空機ヲ止メテ海軍機ヲ主体トスルコトニ変更ス 但シ海軍ノ仕事來ル迄ハ現状デアル 増員ニツキ募集費ヲ認メルコトヲ提案 承認ヲ得 十時四十五分自動車ニテ舟崎氏ト津田沼駅ニ行ク 会議ハ尚アト森川畑氏ニヨリ續行 車中舟崎氏ニ土地問題ヲ聞ク 松戸一万坪程買ッテお茶ヲニコス口振リデアッタ

十二時五分飛行館ニツク 十一時ノ予定オクレテスマナカッタ 河合樂器社長自カラ來テ居タ 飯田氏生田氏宮原氏美津野ハ代理ガ二人 間モナク南波航空官來 スグ晝食ニカ、ル 堀閣下來テ居タガ旅行ヨリ帰ッタバカリ 会議中デアッタノデ出ラレナカッタ 会議ハ予期シタ波ランナク円満ニ四時半終了ス 日本小型ヨリ本庄伊東、吉原氏皆來ル 帰リハホガラカデアッタ 頭ノ中ガストシタ様ナ氣持チ 舟橋ニ一寸ヨリ帰宅夕食 青正來ル

▲▼32ページ▲▼ 昭和16(1941)年1月29日(水)

天気 曇リ

終日曇リ夜晴レル 七時迄寢ル 八時半工場出

組合ノ用事ガイソガシク十一時五十分デ漸ク醫者ヘ行ク 注射シテ帰ルト森川氏スデニ帰り、有馬サンガ來テ居タ 二時半帰ル 後尚組合用件ヲ進ム 昨日ノ決議録ヲ作ラセル。香川縣々庁ヘ返事出ス

夕方青木正ノ入営壮行會アリ 出席シテ壮行ノ辞ヲ述ベテ一足先キニ帰ル 徳治ハ船橋デ青木君ヲ待ッテ居ル由

▲▼33ページ▲▼ 昭和16(1941)年1月30日(木)

天気 晴夜風

六時起床 昨夜青正青仙泊ル 朝食後青正今夜帰國スルトノコトニ饒別ヲ送ル 七時半出 途中町長宅ニヨリ町営住宅ノ件相談 最近ニ予算ヲ作ルトノコトデアッタ

九時三十五分横浜着 十時丁度星野氏來 幸ヒ横浜航空隊草鹿司令ノ出勤自動車

二同乗ヲ許サル 草鹿氏ハ星野氏ノ同期ノ由。十一時航空廠着 十二時前栗屋氏会见 昨年ノ札ヲ述ベル 星野氏ヨリ日本飛行機トノ件話シ復活ニツキ栗屋氏ノ尽力ヲ依頼ス 相當心藏ノ強イ話シデアッタガ栗屋氏モ一寸困ツタ形デアッタガ承知サレタ。杉田ニテ星野氏ニ分レ一人日飛行ニ行ク 弓削氏ニ會見申込ム 山本氏ト二人出來タ 森川氏ハ相當ハツキリコトワツテ來タラシイ。自分ノ方トシテハヤツテヤルコトニ變リナイカラ必要アレバ、イツデモ協力サセテ貰フコト、ヲ述べ堀社長ニモ挨拶シテ歸ル 四時半 帰宅 風強クナル

キン友達岡本氏ト來 結婚相手ガアルカラトノコトニ話シヲ聞ク 以前ハ相當ノクラシヲシテ居タラシイガ競馬デ財産ヲナクシタ由 年三十四 四人ノ女兄弟ガアル一人息子トノコト 三月ハルピンニ行ク由 姉ムコノ處ヘ行クトノコト

▲▼34ページ▲▼ 昭和16(1941)年1月31日(金)

天気晴

定刻出 森川氏スデニ出社 社長來社ノ由ニツキスグ組合ノ請求書作製ヲナシ速達デ出サセル。九時頃舟崎氏畑氏來 スグ會議 正午終リ晝食後歸ル 森川氏同道シテ歸ル アトデ聞クト今日ノ職人ノ支拂ヒノ金ヲ出シテ居クノヲ忘レテ行ツタトノコト 尚明日松戸高木村ヘ行ク由 ドンナ話シニ行クカ

午後花嫁學校生徒百式十名來場

永坂進一氏ベントツ發動機見ニ來ル 火曜日更ニ來ル由

明日奈良原、野口、宇賀、神崎神社ヘ行ク。四郎平氏カラ送ツテ呉レタ神木デ作ツタ達磨ノ□一ケヲ奉納スルコトトシ宇賀ニ事附ル

大口以下七名日飛ヨリ歸ル 非常ナ不氣嫌 ケシカラン風デアッタノデタシナメル

徳治写真初ノ試験七十五点

▲▼35ページ▲▼ 二月

資材確保  
増員方針確立  
作業方針確立  
住宅問題解決

▲▼36ページ▲▼ 昭和16(1941)年2月1日(土)

天気晴

今朝ハ〇下四度 本年初ノ大寒 朝礼ノ時新時局ニツキ戦時体制ノ覺后ヲ工員ニウナガシテ居ク

八時五十五分ニテ上京 局ニ行ク 駒林氏會議デ会エズ 新任三木乗員課長モ事ム引ツギ中ニテ会エズ。日本磨帯鋼組合ニ行ク 十二月分目下査定中ダカラスグ出シテ呉レトノコトニテ書類ヲ貰ツテ帰ル 高島屋三越ヨリ船橋ニヨリ工場ニ行キ磨鋼へ提出書類ノ下書ヲ命ジニ三用件ヲナシ終業後帰宅

昨日家内布施サンヨリ安静ニスル様話サレタトノコトニ電話デ聞ク 肺臓ノ下ノ方ガハレテ居ル、キケンハナイガ要(ママ)心シタ方ガヨイトノコト

玉木幸次郎〇時何分カニ死亡ス

▲▼37ページ▲▼ 昭和16(1941)年2月2日(日)

天気晴

七時起床 八時工場ニ行キ舟崎氏へ木村新入社員ノ件ト井倉君ノ件ニツキ電話シタガマダ鹿島カラ帰ツテ居ナイカッタ。十時ヨリきんが成田山初メテトノコトニ連レテ行クイツモノ通り参拝 公園ヲ見セ裏通ヨリ帰ル 途中ドコモナイ米屋ノヨーカンガ成毛食堂ニアルノデ買ヒニヨルト食事ヲシテ呉レトノコトニ丁度十二時デアッタノデ天ドンヲ取ル 處ガ昨日カ一昨日ノ残りモノノ天プラデア喰ワレズ。シカモ一人當リ二本シカ賣レナイトノコトデアッタ 之レモ戦時ノ風影ノ一ツカ

一時半帰宅 二時半おきんヲ貰ヒタイト云フ板垣ノ姉大矢氏夫妻來 ホントウノ其マ、デヨイカラ最(ママ)非貰ヒタイトノコトデアッタ。大体本人ガスデニ承知シテ居ルノデお婆サンニ話シテ二三日中ニコチラカラ返事ニ行ク旨答ヘル

▲▼38ページ▲▼ 昭和16(1941)年2月3日(月)

天気晴

七時起床 八時工場出 何ニカシラ急(ママ)ガシカッタ 永富君今日モ來ラズ 組合ノ羽布代不足 一時工場ヲ借りテ拂込ム

ガソリン券來

三時半ノバスデ森川氏ト同車ス 自分ハ国技館ニ行ク ヤット席ニツイタラアト四番デオシマイ 三役ノ相撲ダケ見ル

森川氏ニ木村氏ノコトヲ聞ク 五日ニ退社スルソウダカドウダカナント云ツテ居タ 入社前ニ地位ヲキメ皆ニモヨク話シテ居ク方ガヨイト云ツテ居ク

井倉君來 久シ振りデアッタ 夜清平宅ニテ退社ノ件申出アリ。保留ヲ話シテ居ク

帰宅後トロロヲ作り夕食ス ウマカッタ

◆▼40ページ◆▼昭和16(1941)年2月5日(水)

天気 晴

終日左半面が痛ム

畑氏八時頃出社 二時頃迄計理並ニ明日ノ支拂ニツキ調査シテ帰ル

終日ゴタゝ急(ママ)ガシイ日デアッタ

萱場ヨリ鷺見君、來 ベンツノ件ニテ永坂君來 三台デ五万円ニテキメル 四五日中ニ

取リニ來ル由

井倉君ヤハリ止メタイ辞表ヲ持ツテ來タカラ預カツテ呉レナイカトノコトニ兎ニ角木下

氏ニ一度會ツタ上ニシテ呉レト云ツテ居ク

星野氏海軍監督班へ行ツタ報告アリ 日飛ノ件ニツイテハ非常ニ感情ヲ害シテ居ルカラ

一寸見込ミナイ。日立ノ方ハ尚多少ノ見込ミアル由

三時三十分ヨリ上京 乗員課ニ行キ安岡ノ体格検査通知來ナイコトヲ調ベル 十四日

千葉デヤル爲メ延ビテ居タコトガ分ル ヤット安心 新課長三木氏ニ挨拶シ後チ新局

長手塚氏ニモ挨拶ス 監理部長ハ席ニ居カナツタ(ママ)

◆▼41ページ◆▼昭和16(1941)年2月6日(木)

天気 雪後雨晴

朝六時頃雪 間モナク雨トナリ十時頃ヨリ止ム

八時工場出 森川氏來テ居タ 廻間來ラズ 局へ連レテ行ク予定ガハズレル

福西ヨリきんノ縁談ノコトニツキ相談ガアルカラスグキテ貫ヒタイトノコトニ一度帰宅

家内トきんと二人デ行クコトニサセル ドウモ福西ニモ相談スル必要ノアルコトダカラ

角ノ長男肺炎トノコトデアッタ 夕方帰宅シタラ君モ又熱ガアル由

十時出 組合ノ見積書提出 摺沢大佐ノ諒解ヲ得。同大佐ヨリ組合ノ事ム所ヲ協会

内ニ於イタラトノコトデアッタ

一時半平塚着 タクシーデ行ク 玉木幸次郎ト永遠ノ別レニスデニ讀經中デアッタ 焼

香シテ帰ル 亀サンニ會ヒ馬入川迄行クコトニキメテトウゝ茅ヶ崎迄ハイキングシテシマ

ッタ 丁度汽車ノ時間ニハヨカッタ。船橋ニヨリ清平ニ會テ帰ル

◆▼41ページ◆▼昭和16(1941)年2月6日(木)

天気 晴南風強シ

朝廻間ト資材購入方ニツキ調査表ヲ作製ス

正午注射ニ行ク 先月分金支拂ヒヲナス

午後組合ノ用件ニ夕方迄カゝル

家内トきん艶子主人ニ行ク 五十円下ゲテ持参サセル。箆筒ヲ買ツテ貰ヒタイ希望デアツタ由 大口カラフトントノコトデアツタガ大口ガ自発的ニシナイカギリ、希望スルコトハダメ 其爲メニ初メニ金ガ分ケテヤツテアルノダカラソレデ仕度ヲスルベキデアル

◆▼42ページ◆▼ 昭和16(1941)年2月7日(金)

天気晴

風ナク暖イ日デアッタ 夕方ナド四月頃ノ感ジガシタ

今日乗池君ト日本小型へ行ク予定ヲ社長來ルトノコトニ中止ス 出社前七時過ぎ大矢氏來ル 宮崎氏トコゝへ來タ翌日會ツタ處昨日行カナイ電報ヲ打ツタノデ、テツキリ宮崎ガお茶ヲサシタモノト思ヒ來タラシカッタ。おきんノコトモ賣残リダト大分悪ク云ツタラシカッタ

午前中組合ノ決算ヲ終ル。小宮へ家へ買フ旨返書ヲ出ス

晝過ぎ舟崎氏來。吉田ノ土地三角ノ處二十円云ヒ値デア買フコトニキメル。其他舎宅ノ件他二三マトメ四時帰ル

◆▼43ページ◆▼ 昭和16(1941)年2月8日(土)

天気晴

八時船橋警察ニ行ク 工場事務遅待(ママ)勝ニツキ注意スベキコト、始末書ハ今回ハユルストノコト スグ宇賀ニ電話シテ差當リ工場監ノ書類本日提出ヲ命ズ

十時乗池氏ニ日立大森工場ニテ會フ クラブノ部品タノミ局神風部品拂下方要望ス 三月一杯ハマダ作ル由

羽田ニ行ク 木下氏不在 宮本氏ニ會フ 今夜、井倉君ニ會フ由。井倉君引留メニハ井倉君ノ氣持ヲ直ス前ニ先ヅ森川氏ノ井倉君ニ対スル態度ヲ、アラタメテ貰フ必要アリ。ソレニハ木下氏ト自分デ舟崎氏ニ會ツテ話シタイ旨述ベテ居ク

日本小型ニヨリ伊東吉原両氏ニ會フ 計算ハヨク分ラナイノデアトカラ知ラセテ貰フコトトス。協会ノ注文見積依頼。二三会谈 福田ニ対シ挑戦スル旨話シテ居タ。之レニハ回答ヲ與ヘナカッタ

四時帰宅ス

ツル姉昨夜ヨリ大腹(ママ)カタルハゲシク苦シム 角ノ宅全メツ。夜きんニ帰ル様打電ス 生田氏ヨリ十日羽布引取り予定六千五百余円送金方打電シテ來タ

◆▼44ページ◆▼ 昭和16(1941)年2月9日(日)

天気晴

七時起床 散髪後朝食 工場出 九時清平ニ電話ス 十時二十分デ出ル由 今夜ノ坐談会ノ材料ヲ古イ切抜帖デ調べル 三時過ぎ終リ急イテ三時半ノバスニテ上京ス 奈良原氏來 清平ニ原價計算調査サセル 日本小型ヘ電話スル 福田ヨリ千余円請求アリタル由。ヤハリ初メノ通り四半額立替ノ計算ラシイ 土井氏ニ電話スル 大坂府ヨリ認可ノ通知アリ一名出張 昨日取引シタ筈ダガトノ事デアッタ 商工省ヨリ大坂府ニ認可ノ通知ニヨリ品ハ文部省ヘ引渡スコトニナツテ居ルトノコトデアッタ 五時丁度山王下待月荘ニツク 博文館譚海ノ創始時代ノ坐談会 飛行機、戦車、潜行艇、ラジオニツイテデアッタ 飛行機デハ自分ト福知氏ノ二人 九時半終リ十一時前帰宅ス

▲▼45ページ▲▼ 昭和16(1941)年2月10日(月)

天気 雪後晴

三寸程積ツテ十時頃迄降ツテ居タ

九時器材ヘ電話シ福田ヘ六千二百二十五円送金方森川氏ニ依頼ス 森川氏出社ナイノデ夕方再電話シタラ電送シタトノコトデアッタ

組合、クラブ工場ノ雑務デカナリ急(ママ)ガシカッタ 星野氏出社 シキリニ森川氏ニ常務ヲ担任スル実力ナシ 舟崎氏ノ反省ヲ必要トスト自分ニダケ話シテ居タ 聞キ居ク

清平宮本氏ニ會ヒニ羽田ヘ行ク 佐藤午後ヨリ同ジク発動機工会見ノ爲メ羽田ニ出張 兄出社セズ

夜十時頃布施醫師下ヘ來ツイデニヨル ツル姉昨日ヨリ宅デ養生ス 順潮ニヨクナツテ居タ ツヒデニ種トウヲ皆ヤツテ貰フ

▲▼46ページ▲▼ 昭和16(1941)年2月11日(火)

天気 晴

風アツタガ後止ム 八時半工場祭式ニ行ク 奈良原氏ト自分デ挨拶ヲナシ九時十五分終ル 九時半帰ル 清平來 井倉ノ辞表見セル 昨日宮本君ト会見ノ結果ハ辞意固イトノコトデアッタ。木下耶麻次氏大坂出張 明日帰ル由

十一時ヨリ盆栽屋ニ行キ黄梅石付ニスル爲メケト土ヲ譲ツテ貰フ ツヒデニ船橋ノ土地会社ヘ寄ル 例ニヨツテ不在 名刺ヲ出シ返事ヲタノンデ、船橋宅ニヨル 清ニ二分ヨクナイ様ニ思ワレル。三時帰宅 昨年春佐倉カラ持チ帰ツタ、赤松ヲ鉢上ゲス 恵美子船橋ヘ手傳ヒニヤル

▲▼47ページ▲▼ 昭和16(1941)年2月12日(水)

天気 晴

六時半起床 定刻出社 學校廻リノ予定ノ處木村病氣欠勤 十五日迄休ミタイトノ  
コトデ中止

組合ヨリ局へ提出スベキ原價計算書作製下記(ママ)キヲ作り上ゲ

午後森川氏出社 二時間程デ帰ル 借入金ノ件聞ク 局ノ証明ヲ貰ヘナイトノコト工  
政課長ニ話シテ居ル由 其爲メ器材ト局ヲ往復シテ居ルラシイ

夕方福田ヨリ金受取ツタ取引延ビルトノ入電アリ

今日船橋小学校ノ學生二名來場 入社決定ス

夕方清平宅マデ來ル 井倉君ハ明日行ク様打電シタル由 木下氏ニ明日會フ様電話カ  
ケサセル

清二モツル姉モ下ノモノモ皆大分ヨクナル

夜いろはノ手習ヒヲナス

▲▼48ページ▲▼ 昭和16(1941)年2月13日(木)

天気 曇晴

北東風ヤ、強シ

八時工場出 森川氏出テ居タ

値上ゲ申請書ヲ作ル 午後購買材料調査第一回會合ヲ行フ

正午布施サンニ行ク

清平午後井倉君へ行ク

青木仙ノ助明日カラ教育召集ニツキ一週間休ムコトトナル

▲▼49ページ▲▼ 昭和16(1941)年2月14日(金)

天気 曇リ

定刻出社 九時頃舟崎社長來 森川星野氏モ居タガ工場視察中ノ二人ニナツタ時井

倉君ノ件森川氏態度ニツキ話ス。清平昨夜井倉氏宅ニ行キ十一時頃帰社 ホトンド同

時ニ井倉氏ヨリ電報ニテ退社ノ件申出テ來タ。舟崎氏井倉ニ會ヒタイカラ火曜日夕方

來ル様手配シテ呉レトノコトデアッタ 木村氏ノ件舟崎氏ヨリ話シ出シテ貰フ 森川氏

履歷書ヲ出シ百八十円ヤツテ貰ヒタイコト 現場關係ヲヤラセルコト、明日來ル筈トノ

コトデアッタ 百八十円入社ハ承認 現場關係トスルニツキ舟崎氏作業課長トスルコト

工務課長ヲ清平ニ、営業課長ヲ井倉ニ 經理課長ヲ森川氏ニ、購買ヲ課トシ課長ヲ自

分ニヤツテ呉レトノコトデアッタ 部ヲ無クスルトノコト。大体清平、佐藤、太田ニ話ス

佐藤、不満デアッタ

養生所高原氏來

夜青年學校修養坐談会ニ出席ス 大辺ヨカッタ

◆▼50ページ◆▼ 昭和16(1941)年2月15日(土)

天気 快晴

定刻出 朝礼ノ時木材ト炭ヲ大切ニスベキコトヲ話ス  
午前太田廻間ト文部省型材料調査ヲナス  
木村新氏初メテ來社会見 余リ感ジハヨクナカッタ  
正午森川出社 皆ニ照(ママ)介ハ職制ガキマツテカラニスルコト ソレ迄ハ単ニ技術者トシ  
テ照(ママ)介スル様話ス 同氏モ同感ヲ表ス  
十二時四十分ニテ千葉工業ニ行ク 父兄會ニ出席 四時帰社 組合ノ用件ヲスマセ五  
時過ギ帰宅  
夜金太郎來 明日きんノムコ聞合セト本人ヲ見ニヤル  
稲ノ老母ヲ家内今日見舞ニ行ク 大シタコトハナイ由

◆▼51ページ◆▼ 昭和16(1941)年2月16日(日)

天気 晴

六時半起床 朝食後清平ニ行キ小宮へ住宅ノ件交渉ニ今日行ク様タノミニ行ク 兄同  
道 帰途舍宅ヲ見テ十一時帰宅 晝食後白髪ヲ抜カセル  
仁三郎、昇二人ニ砂ヲ海岸カラ運バセ小鳥トニワトリノ小屋掃除ヲナシ新砂ヲ入レテ  
ヤル  
昨夜金太郎ノ小供ガ捨(ママ)ツテ來タ、ノリヲ乾ノリシテ、ヤ、出來ソウナノデ夏ノ古  
イスダレヲコワシ、ノリ乾ヲ作ル ノリヲノバス枠ヲ作ツテヤル 作業中右ウデニサツパリ  
カガナクナッタコトヲ感ジ(ママ)ジル  
夕食後七八年前ニ居タ藤田、太田ガ連レテ來テ入社シタイトノコト 死ンダト思ツタ  
本人ガ達者ニナツテ來タノニ皆嬉(ママ)ンデ迎ヘル  
菊岡君來 練習生ノコトガアッタノデ、現下ノ事情ヲ話シテヤル。艶子來ル

◆▼52ページ◆▼ 昭和16(1941)年2月17日(月)

天気 雨

曇リ後小雨 降リツヅク  
定刻出 購買ノ予定表ヲ作製 廻間ニ渡ス 綿糸ノ申請書縣庁カラ返ツタ分渡ス 十  
一時ヨリ上京  
局ニ原價計算書トセコンダリーソアラノ値上ゲ申請書ヲ出ス 局長ノ名ガ間違ッテ

居タノデ願書ダケ持ち帰ル。建物ノ消印モ出シテ呉レトノコトデアッタ。東日ニヨル羽太氏一昨日除隊ニナツタ由 會フ 吉田モ居タ。協会ニ行ク。三時丸ビルニテ伊東氏ニ會ヒ協会ノ納品ト見積ヲタノム 工政課長ト南波氏顧問ニタノム件諒解ヲ得。文部省ニ行ク 山崎関口氏ニ會フ 結局大坂カラ文部省宛綿布処分方法ニ関スル報告書ガコナイノデ文部省トシテ手ノ出シ様ガナイトノコトデアッタ  
土井氏へ電話シタガカ、ラズ自宅へ行ク 熱海へ行テ不在 今夜帰ルトノコトニ明日午後會ヒタイ旨タノンデ居ク 井倉君へ明日午後四時東京駅ニテ會ヒタイ旨速達出シテ居ク

▲▼53ページ▲▼ 昭和16(1941)年2月18日(火)

天気晴

午前中工場 午後帰宅 仕度後上京 土井へ二度モ行ツタガ會エズ 細君ノ話シデハ大坂へ廿一日頃行キマスノコトデアッタ。局へ原價表提出。大塚駅ニテ清平ト會フ 井倉ノ家戸へデ會ワナカッタトノコト 舟崎氏ニ會フ。職制ハ自分大坂カラ帰ツテカラ、キメルコト 各課ヲ余リ増サナイコト。更ニ今後ハ職工以外ハ職員ヲ入レナイ事等同氏ニ諒解ヲ得 尚自分住宅問題決定ノ上六五千円借入方申込ム 同氏個人トシテ出ス買ツテ居キナサイトノコトデアッタ。清平ト時間ガアッタノデ映画ヲ見十時四十分ニテ出発ス

▲▼54ページ▲▼ 昭和16(1941)年2月19日(水)

午前二時半着 駅前清水屋ニ泊ル 温泉ハ丁度自分ニ合ッテヨイ湯デアッタ 三時頃床ニツク

七時起床 八時ノ電車ニテ玉幡ニ行ク。梅沢兄上京中 弟ニ會ヒ、卒業生ノ件、神風発動機ノ件、工員ノ件タノンデ十時ノ電車ニ乗ル

ひばりの音を聞ク 本年初メテデ且ツモノノ高原ナノデ、後等十一時発ノ列車ニ乗ツテカラ俳句ヲ讀ム。木曾ノ山中モヨカッタ

十時京都駅着 駅前ステーションホテルニ入ル 洋風ノホテルニハ初メテノ経験デアル七時十分起床 バス後宮崎君ニ電話シ朝食 オートミルハ理想的デアッタ。正田氏ニ電話ス 正田氏間モナク來 宮津中學ハ大坂ヨリ送ルコト 第二中學ノ胴体ダケハ運賃ガ貨車買切りニナルカラ頭ヲ取ル様ニナス外ナイコトヲ話ス。夕方會ツタ時今一度再調査シテ修理出來ルモノナラコチラデヤルトノコト 否ヤハ手紙デ津田沼へ知ラセテ貰フコトトス。文部省型ニ対シテハ以前△ノ様ナ報酬ハ全然出セナイコトヲハッキリ事ワル 氏モ期待シテ居ナイトノコトデアッタ

国産会社ノ問題ニハ全然フレナイコトトスカッタ十時頃宮崎外二名來 丸物ニテ晝食

ヲ取り一時五十分ニテ亀岡ニ出張 敷地ヲ見分 工場建物ニツキ問ワレルマヽニ指示ヲ  
ナシタ方京都ホテルニ入ル。宮崎君の日本軽飛行機会社役員ト正田氏ヲ加ヘ宴会ヲ開  
カレ九時迄グライダーニ関シ会談 皆カラ自分一人ヲ頼リニスル様ナ誦シモテナシ振  
リニ恐縮ス 但シ自分ハ金モウケハタダカラ御指導ハスルガ、モウケル事ハ皆サンノ努力  
デ御勝手次第トニゲテ居ク  
今夜泊ルコトトス 南波氏ヘノ引合セハ廿二日トシテ居ク

▲▼55ページ▲▼ 昭和16(1941)年2月20日(木)

▲▼56ページ▲▼ 昭和16(1941)年2月21日(金)

▲▼57ページ▲▼ 昭和16(1941)年2月22日(土)

▲▼58ページ▲▼ 昭和16(1941)年2月23日(日)

天気晴

六時半起床 南波政吉氏へ昨夜二百円貰ッタ礼状ヲ出ス 宮崎へモ手紙ヲ書ク 八時  
十分出 九時出発 清平へ広連レテ行ク旨打電ス  
五時二十分東京着 清平トツル姉ト向ヘニ出テ居タ 清平宅ニテ夕食ヲ取ル。森川氏  
木村君ノ作業課長ノ辞令ヲ出シタ由 兄ト二人デ少々ウルサカッタ  
帰宅 寺ノ裏デキンニ会フ 之レカラ東京へ行クトノコトニ小遣ヒトシテ十円ヤル。帰宅  
シタラ廿五日(明後日)結婚式ヲヤルコトニキメテ來タ由 驚イタ超スピードデアッタ。  
戸籍謄本ハマダ來ナイシ大坂ノ生田君ノ話シデハヤマトホテルハ第一ホテルニ変ツテ居ル  
由。  
十一時床ニ入ル

▲▼59ページ▲▼ 昭和16(1941)年2月24日(月)

天気晴

六時半起床 七時四十分工場出 雑務ニイソガシカッタ 十一時醫者ニ行ク

図工昇給問題デ森川、清平ノ意見対立ニ対シ中ヲ取ツテサバク。出勤時間変更ノ件  
森川氏ノ意見ヲ立テル ヨツテ明日ヨリ午前八時初マリトス  
二時四十分ニテ上京 局ニ行ク途中星野氏ヨリ井倉君ノコト聞カレ今日迄ノ経過ヲ話  
ス 木村君ノ辞令出シタ件困ツタ者ダトノコトデアッタ

局ニ行キ器材課長差支アリ會エズ 榊原サンニ會フ 乗員課伊東氏ト会見 試験ノ件  
結局一名シカラ(ママ)受ケラレナイコトニ対シ、ソレデハ皆二十日頃ニスルトノコトニナル  
五時晩昇軒ニ行ク 羽太氏ノ除隊祝賀會。出席奈良原、松下、井倉、山崎、利根川、  
清水、渡辺代理等 八時會談終ツテ第一ホテルニ行キきんノ聞合セラ仕様ト思ツタガ  
人事係居ラズ 明朝ナラ居ルトノコト。山崎氏ニ大坂ノ羽布ノ件話ス。ソシナコトナイ  
筈ダカラ明日早速シラベテ見ルトノコトデアッタ

▲▼60ページ▲▼ 昭和16(1941)年2月25日(火)

天気晴

今日カラ工場始業七時五十分 事務所モ全部朝礼ニ参加ス 九時畑氏來場 晝前帰  
ル バス送迎ノ件話ス 晝食後上京 第一ホテルニ櫻井ノ事聞キニ寄ル 第一ホテルト新  
京ノ間違ヒデアッタ 生田ノアワテモノデ変ナコトニナツタ 協會ニヨル 利根川不在  
清水君ニ一日完成ノ旨返事ヲ依頼ス。正式注文書ヲ請求シ、文部省ニ行ク 山崎氏ノ  
照(ママ)介デ高田体育官ニ會ヒ羽布ノ件初ヨリ一切ヲ聞ク。トウテイダメト見込ム。  
航空局ニ行キ駒林氏ニ會ヒ技術者會議ノ件榊原氏出席トキマル 圖面軍部へ交渉シテ  
呉レル由。試作六十馬力ノモノヲヤッタ方ガヨイトノコトデアッタ 適性價格モ諒解ヲ  
求め、三式奨励金願書ヲ提出。菊永ニテ日比氏ニ會ヒ増資ノ件諒解ヲ得其他二三用  
件ヲスマセ、スエヒロノビフテキデータ食ヲ取り八時半船橋ニ帰ル  
五時半赤ン防(ママ)又男生レル きん本日結婚ヲナス 二百円祝フ 布施ト吉行ク

▲▼61ページ▲▼ 昭和16(1941)年2月26日(水)

天気晴

定刻出社 昨日ノ出欠ニ対シ一同ニ注意ヲウナガシテ居ク

午前中雑務多シ 小島某外一名特種鋼会社ノ人々滑空機製作ヲヤリタイノデ最(マ  
マ)非共タノムトノコトデアッタ 今日ノ處ハコトワツテ居ク

大坂ノ中山氏上京 電話アリ午後二時ヨリ出カケ三越ニテ小鳥ノエヲ求め、四時千代  
田旅館ニ行ク。大坂ノ佐渡島へ電話ヲカケルノデ六時迄待チ終ツテ〇屋へスッポンヲ喰  
ヒニ行キ八時過ぎ出 大塚巧藝畫ヲ見中山氏大觀ノ八太鳥ヲ三十五円ニテ求ム 九  
時船橋ニヨツタラ寢テ居タノデスグ帰ル 小林亀ノ助夜學ノ帰りニ會フ

▲▼62ページ▲▼ 昭和16(1941)年2月27日(木)

天気 晴

六時起床 定刻出 朝礼ノ時青年校生ニ昨日試験官ヲ注意セラレタ、規率(ママ)ニツキ注意ヲ與ル

九時サンパツニ行

協会篠原氏ニ電話デ來月十日飛行館借リルコト 白石氏出席シテ貰フコトヲ諒解ヲ得 山崎氏ニモ電話デ出席ノ諒解ヲ得

晝頃森川氏出社 星野、木村休ム 森川氏ニ星野氏ノ件仕事ヲサセタラト相談ス。一月初メニ勞務ヲヤルコトヲ話シタ處考ヘルトテ其マヽニナツテ居ル由

吉田甚左衛門氏死亡ノ由(キヨウ心シヨウ)鋼(ママ)野ヨリ電話アリタリ 夜佛壇ニボダイヲ祈ル。兄、家内ハ嬉(ママ)ンデ居タ

▲▼63ページ▲▼ 昭和16(1941)年2月28日(金)

天気 雨

定刻出 九時迄ニ用件ヲスマス

森川氏ニ星野氏ニ職ヲ與ヘル相談ヲシタ處先月星野カラ森川ニ話シガアッタノデ勞務ヲヤル様ニ云ツタラ考ヘテ返事スルト云ツタラ其マヽニナツテ居ルトノコト ソレニツキ舟崎氏ハ捨アテ與レトノコトデアッタ由自分初メテ聞ク。勞務デハ當然ソウ云フ結果ニナルダロウ 目先キノ見エナイ人ダ

上京 国産ニテ章氏ニ会ヒ吉田氏死去ヲ知ラセ福西ヘ電話ス 新聞デ知ツテ居タカ葬儀ニ一所ニ行キタイトノコトデアッタ

東部特免ニ行キ朝日新聞、飛行協会航空局ト相當有効ニ働イテ帰宅 夜宮崎來 火災ノ謝礼ニ來タノデアッタ

▲▼64ページ▲▼ 三月

資材確保  
増員方針  
作業方針  
住宅問題

▲▼65ページ▲▼ 昭和16(1941)年3月1日(土)

天気 曇り

定刻出 久シ振リニ森川氏定刻スデニ來テ居タ

第一日航空神社ニ供物ヲサ、ゲル

今日ハ組合ノ通知ヲ出シタリ、原價計算デ急(ママ)ガシカッタ 佐藤少将産業報國會へ講演ニ來ラレル筈ノ處急用デ來ラレナクナル 舟崎社長來 二時半ヨリ会ヲ始メル 舟崎氏會長ニ就任 自分副會長ヲ引受ケル 舟崎氏ノ就任アイサツニ和ノ講演アリ 井倉君ノ件話ス 止ムヲ得サルモノトシテ退社ヲ認メルコトナル 夜兄ノ夕食ヲ共ニス

高後氏來場 二十円残ツテ居ルトノコトデアッタガ帳面ヲ見セル

▲▼66ページ▲▼ 昭和16(1941)年3月2日(日)

天気 雪雨

六時半起床 朝食後船橋ニ行キ清平ヨリ昨日ノ東日ノ模様ヲ聞キスグ蒲田ノ大槻病院ニ入院中ノ加藤外諸氏ヲ見舞ヒ自性院ニ行キ布施外二氏ノ靈前ニ焼香シテスグ上野ニ行ク 丁度十一時十分 晝食ヲナシ仙台行キ列車ニ乗り柏ニ行ク ○時四十二分着 福西氏ト會ヒ送迎自動車ニ行ク 雪マジリノ小雨止ミ間ナク降ル 野口氏門内ニテ行キ帰り共挨拶アリタリ 門前ニテ佐藤辨士ニ會フ 少シヤセタ様ダガ元氣デアッタ。今福西氏カラ中風デタオレテ居ルト聞イタバカリデアッタ。福西氏ニ建築延期ノ話シヲナス。プラグニツキ相談シタイトノコトデアッタ 東京へサソワレタガ事ワツテ帰ル 四時半帰宅 入浴夕食

▲▼67ページ▲▼ 昭和16(1941)年3月3日(月)

天気 曇後晴

定刻出社 午後一時頃迄雑用多事

森川氏午後出社

十一時頃例ノグライダー会社ヲヤリタイ男來 会社創立ノ發起人ニナツテ呉レトノコトデアッタガソレハコトワル 下請云々ノコトハ他重役ト相談ノ上返事スル旨考ヘテ返ス 二時半ヨリ布施サンヘ注射ニ行ク。家内同道 四時半帰宅 今朝木村氏ニ机ヲマダキメナイコトニ対シヨク和ニツイテノ處見ヲ述べ協力ヲ述べ合フ 一昨日舟崎氏ヨリ二十万円借りタ旨聞ク

▲▼68ページ▲▼ 昭和16(1941)年3月4日(火)

天気 晴

今日ハ朝眠レルノデ七時半起床 ホットケーキ朝食ヲスマセ八時半工場出 森川氏一人金融ノ件聞ク 二十万円ノ内カラ一月以後ノ分ダケ器材へ返シ十三万円晝夜銀行銀坐支店ニ入レテアル由  
組合決議録作製 増資拂込通知ヲ發送 適性價格用源價消却表作製 設計部デ清書ヲ命ズ

廻間ベニヤ板、日本広帯、協会等ニ行ク  
購買請求傳票ヲ整理シ記帳ス  
井倉君ニ舟崎氏へ辞表提出シタ旨返事ス

▲▼70ページ▲▼ 昭和16(1941)年3月5日(水)

天気 晴

定刻出社 十時築地本願寺へ東日三氏ノ葬儀ニ参列 森川氏ト同道シテ器材ニ行ク 社長、畑、今里三氏居リ森川氏畑氏ニ要事アツタ筈ダノニ其マ、室ニモ這入ラズ津田沼へ行ク 自分金融ノ礼ヲ述ベル 井倉君退職金百八十円出スコトニナリ八十円ハ伊藤工場負担スルコトトノコトデアッタ ドウ云フノガ少ナイ様ナ氣ガスル パイロメーター借ヒ(ママ)タイ話シハアツタガ、明イタノハナイトノコトデアッタ 飛行協会文部省ニ行ク 高田サン居ナカッタガ土井其後一度來タソウダガドウモハッキリシナイトノコトデアッタ 事情ハ聞イタガ変ナ話シダ。日本広帯ノ横山氏ニ會フ。少シ遅クナルガ配給スルツモリダトノコトデアッタ。大日本航空ニヨリ恵美子ノ就職ヲタノンデ帰ル 三越ヲ見ル

▲▼71ページ▲▼ 昭和16(1941)年3月6日(木)

天気 晴

定刻工場出 森川氏スデニ來テ居タ 木村君昨日モ今日モ出社セズ  
八時工場出 局へ寄り消却費計算書提出 九時半器材ニ行ク 船崎畑氏居リ間モナク今里氏來 十時半頃小野氏ニ電話ス 有野氏出張中トノコトニ今里氏同道ヲ明日午前十時ト約シスグ帰ル  
宅ニテ晝食 十二時半工場出。電報ニヨリ待ツタ梅沢來ラズ 白石君三時頃來 四時半自動車デ送ル 今日船崎氏ニ職制ノ件製造部長ニ自分就任 作業課長ト工作課主任トノ調和ヲ取ルコトノ必要ヲ話ス 賛成ヲ得

▲▼71ページ▲▼ 昭和16(1941)年3月7日(金)

天気 雨

定刻出社 スグ上京 器材ニ行ク 今里氏多忙ノ爲メ十一時半小島氏事ム所ニ行ク

有野氏小島氏ニ會ヒ主トシテ今里氏ノ溶鋳爐問題ヲ話シ辞去ス 器材ニヨリスグ帰社  
ス 舟崎氏マダ見エテ居ナカタ 東洋金屬ヨリ二名來名(ママ) 羽布ノ件經過ヲ話ス  
舟崎氏來社 星野、森川二氏ト間モナク帰ル

▲▼72ページ▲▼ 昭和16(1941)年3月8日(土)

天気 晴

朝顔ソリ 八時二十分工場出

生田君午前中來 羽布ノ件 土井ノ方ハ捨テテ文部省カラ直接昨日商工省へ行ツテ貫  
ツタ 生田モ同道シテ月曜日ニ何等ガ回答ガアル筈トノコトデアッタ。ソコヘ有野氏來  
生田君ニモ照(ママ)介ス 晝食後二人共帰ル  
明後日ノ準備フトトノエテ居ク

協会文部省型二機ノ件東洋間ニ合ワズ河合間ニ合フ、トノコトニ河合へ振り替エル  
夕方工場作業場下方針決定ニ立會フ 養生工ニツキ大分意見アリタリ

▲▼73ページ▲▼ 昭和16(1941)年3月9日(日)

天気 快晴

七時起床 朝礼ニ出社 明日組合ノ会合ノ議案タイプライ命ジ朝鮮総督府へノ返書ヲ  
出サセ帰宅 スグ盆栽ノ植替ニ着手 夕方四時半終了 マダ大分残ツタガ待望ノ黄  
梅ノ石付キヲ作ル 其他モ大分思フ様ニ出來テ愉快デアッタ

▲▼74ページ▲▼ 昭和16(1941)年3月10日(月)

天気 晴

定刻出社 八時半太田、肥田木ヲ連レ飛行館ニ行ク

各社並ニ山崎氏松下氏榊原氏白石氏等十時半頃全部揃ヒタゞチニ會議 晝食約一時  
間 夕方同ジク食事シ八時半迄續行 (一)(二)議案ハ全部終了 三ノ材料販賣ノ件  
ダケ調査報告ヲ取ルコトニシテ本日一日デ散會ス

大場藤二郎君來 仙台ノ修理下請ヲヤリタイトノコト 局ト相談ノ上返事スルコトト  
シテ返ス

今日職制決定スルノデ社長工場へ來ル予定ノ處コラレナイカラ畑氏代理ニテ來タトノコ  
ト。ソナ話シハ全然ナカタノデ変ダト思フ

▲▼75ページ▲▼ 昭和16(1941)年3月11日(火)

天気 曇小雨

七時起床 八時半工場出 森川氏胃カイヨウニナツタノコトデ静養ヲス、メル  
満州空務協会ヨリ二名來  
十一時ヨリ醫者ニ行ク 血液検査ヲタノム  
帰途宅デ晝食 工場ニ出ル 森川氏スデニ帰ツテ居タ。昨日ノ會議ノ議事録ヲ作ル

▲▼76ページ▲▼ 昭和16(1941)年3月12日(水)

天気 風雨夜晴

出社時刻ハ風雨ハゲシカッタ。舟崎氏十一時會フトノコト二十時前出カケル 十一時丁  
度器材着 職制ノ件ヲ早クキメタイ旨述ベル。ソレハト云フノデ森川氏ヲ電話デヨブ  
コトトス 午後二時來ルトノコトデアッタ 畑氏ト三人デキメテ與レトノコトデアッタ  
其間自分ハ協会ト文部省ニ顔出シシ時間ガアツタノデニ越ニ一寸ヨリ小鳥エヲ買ツテ再  
度行ク 一三十分待ツテ森川來 五時頃迄ニ一通リ決定ヲ見ル 舟崎氏土曜日來ルト  
ノコトニ其時決定シテ貰フコトトス  
舟崎氏其時家ヲ見テ貰フコトトス

▲▼77ページ▲▼ 昭和16(1941)年3月13日(木)

天気 曇リ

定刻出社 間モナク森川氏來 病氣ハ単ナル單(ママ)酸過多ラシイトノ事デアッタ。職  
制中經理課長ニ山東ヲ心得係ニスエハトノ自分ノ案ニ森川氏モソウモ考ヘテ居タトノコ  
トデアッタ  
試験十八日カラヤルトノコトニガソリン間ニ合ワズコトワラネバナラヌトノコトニ午後ヨ  
リ協会ヘ行キ摺沢大佐ニ相談 洲崎ノ利根川氏ト打合せ二百五十ガロン借りルコトニ決  
定ス 帰途大日本航空三立寄ル  
夜明日ガソリンカン運込方法ニツキ庄司ト打合せ明日讀賣行キノトラックニ積込ムコト  
ニキメル

▲▼78ページ▲▼ 昭和16(1941)年3月14日(金)

天気 雨

終日雨 八時過ぎ出社 雑務 十一時京都ノ谷田ヨリ電話アリ 鈴木館デ御待チシ  
テ居ル 自動車ヲ迎ヘニヤルカラ來テ與レトノコトニ迎ヘニ應ジテ行ク  
谷田ノ外武田、谷口、梶田ガ來テ居タ 宮崎ハ一週間程前ニ父ガ死ンデ來ラレナイト  
ノコトデアッタ 用件ハ自分ニ新会社へ入社々々長ニナツテ貰ヒタイトノコトデアッタガ相

談役位ナラナルガ社長ヤ取締役ハ目下ノ當会社ニ對シテ自分ノ立場上出來ナイ旨ヲ述ベ皆一所ニ工場見学ニ來ル。午後一時半頃デアッタ。スデニ森川星野帰ツテ居ナクッタ。

▲▼79ページ▲▼ 昭和16(1941)年3月15日(土)

天気 晴

氣持チヨイ上天氣デアッタ 定刻出社

社長、畑兩氏來 本日職制ヲ發表 社長ヨリ職制ニトラワレズ横ノ聯ラクヲヨクシ、少々ノ不滿ハ將來ノ發展ニ免ジ我マンスル事トノ訓示アリ 辞令ハ火曜日頃出スコトトス 自宅ニ社長ヲ案内 見セル 土地付キナラ安イカラ氣ニ入ツタヲ買ツテ居キナサイトノコト 金一兩日前ニ三ツテ呉レタラ器材ノ林ガ自分ノ財産ヲ差配シテ居ルカラ林カラ渡ス様ニシテ居ク。報酬カラ年ニ五百円位ツ、返済シタヒ旨述ベルト自分ノ主義トシテ貸スコトハシナイカラ借用証ハイラナイ 差上タモノト思フ 返ス返サナイト云フコトハ問題デアイトノコトデアッタ。ガ返ス方針ヲ取ルコトニ内心デキメル  
午後ヨリ上京 三時過ギ京都ノ連中ノ居ル佐々木旅館ニツク。相談役ノ諒解ヲ與ヘル先方デハ社長ノ席ヲ明ケテ居クカライツデモ先生ノ都合ノヨイ時ニヤツテ貫ヒタイトノコトデアッタ。盆栽展ニ皆ヲ連レニ行キ丸万デタ食ヲ共ニシ七時分レテ帰ル  
血液検査ノ決(ママ)果マダ残ツテ居ルトノコトデアッタ 徹底的ナ治療法ヲ考ヘネバナラナイ

▲▼80ページ▲▼ 昭和16(1941)年3月16日(日)

天気 晴

六時起床 此頃夜小便ガ近イノデ閉口ス

七時半工場ニ行ク ラジエターマダ、ツイテナイノデ清平ニ電話ス 後チ庄司ヲ見ニ行ク 船橋へ早ク行ツタ由 昨日ガソリンヲ貫ツテ來ナカッタトノコト ラジエタートガソリンデ半日ヲツヒヤス 一時帰宅

乙竹木村辞令書ク爲メ出社ス

午後盆栽植替初メテ根ヲテイネイニ整理シタノデ、佛手カン、シタン、イチヨウニ鉢ノ四鉢ダケシカ出來ナカッタ

夜久シ振リデ豚ノスキ焼キ 近頃當地名物ノ豚モ一寸喰エナクナッタ

▲▼81ページ▲▼ 昭和16(1941)年3月17日(月)

天気 曇リ

定刻出社 本日羽田へ飛行ノ日軽ガソリン養成所ノ九二カラ抜イタノガ一本半程アル  
ノヲ十年ニ入ルコトニシアト残りト飯田所有ノモノヲ借り受ケ漸ク間ニ合ワセル 船橋  
警察カラ又呼び出サレ一時行ク。三ツ四ツ不履行ノモノアリ今日中ニ出セトノコトニス  
グ帰社 全部ヲマトメタ 夕方宇賀ニ持参セシム

森川氏今日出社ノ途中ヨリ引返シ床ニツイタトノコトニ木村新ヲヨコシテ呉レトテ行ク  
自分電話ヲカケル 森川氏電話口へ出テ來タ 明日ハ出ラレルトノコトデアッタ  
夜布施ヲ呼び今後ノ心構ヘニツキ注意ス

◆▼82ページ◆▼ 昭和16(1941)年3月18日(火)

天気 風雨

六時起床 七時半工場出 組合トクラブノ事務ヲ取り九時タクシーヲタノミ上京ス。  
乙竹ニ辞令中佐藤、太田、山東、角、ノ件梅津ノコトナド森川氏ト話ス様命ズ  
十時局着 村上氏、工政課長ニ會ヒ小島ノ件話シ合フ 山川氏、榊原氏横浜へ同道ス  
ルトノコトニ器材へ行ケナクナッタノデ電話ヲカケタガ局ノ方ガ話シ中デツヒ二間ニ合ワ  
ズ不本意ナガラ、コトワルコトガ出來ナカッタ 東京駅デ晝食ヲ取ル 食堂デ電話ヲカ  
サナイノデコ、デモハタセズ。日飛□久保サンニ會ヒ旅客機用木材組合ノ模様クワシク  
聞キ山川氏横須賀ニ行キ榊原氏ト横浜駅デハカレ五時船橋着 六時迄清平ト話シ風  
雨ガハゲシイデ六時二十分頃駅デ徳治ヲ待合セタクシーデ帰ル

◆▼83ページ◆▼ 昭和16(1941)年3月19日(水)

天気 快晴

定刻前出社 事務ヲ取り森川氏出社シタ場合セヌ場合ノ用件ヲ乙竹ニ示シ満州行荷  
造ノトラックニ同乗 船橋迄行ツテ、先刻野ロカラ銚子方面へ行ツテカラ金ヲ届ケテ呉  
レトノ電話ガアッタトノコトニ思ヒ出シテ電車デ津田沼ニ降り二十五円妻君ニ渡シテ上  
京 器材ニ行キ新入予定ノ野中君ノ給料ヲキメル 森川氏少シ前ニ帰ツタトノコトデア  
ツタ。局ニ榊原氏ニ挨拶シ、村上氏ト話シ飛行協会ニ行キ武田氏ヨリ受注シ篠原君ト  
事ム所並ニ発注ノ件相談 尚武田氏ヨリ試材ノ都合上注文書ヲ貰フコトヲタノミ朝日  
新聞ニ行ク 木村氏ニ會ツタガ要領ヲ得ズ 三越後刻ヲ期シテ日本広鋼帯ニ行キ横山  
氏ニ會フ 廿五日頃決定スルトノコトデ氣ヲヨクシ三越デ時間ヲスゴシ五時過ぎ朝日ニ  
行キ中野君ニ會ヒ朝日寄附ノ分本年度ハ五百台程ノ予定ヲ聞キ設計ハ駒林氏ニ任シ  
タル由

帰宅六時半 佐藤ニヨリクラブノ十年仙台ノ帰りヲ見タ由 ヤ、安心ス

◆▼84ページ◆▼ 昭和16(1941)年3月20日(木)

天気 晴

終日在所 朝各辞令ヲ渡ス 清平ト佐藤文句アリ 夕方清平、佐藤夜宅ニ呼ビヨセ大乗の見地ヨリ国家本位ニ行動スルコトヲコン、話ス  
森川氏晝前來 三時頃帰ル  
晝布施サンニ行キマダ毒ガ残ツテ居ルトノコトニ相談ノ上今一段ツヨイ薬ヲヤルコトニキメ來週土曜日ヨリ夜宅へ來テヤツテ貰フコトニキメル

▲▼85ページ▲▼ 昭和16(1941)年3月21日(金)

天気 晴

五時半起床 成田山参拝 八時四十分船橋着 小宮待ツテ居ル。舟崎氏旅行中トノ返事ヲ聞キ九時四十分小宮宅ニ行ク 妻君ダケ出テ來タ 四千円デ買ヒタイ理由ヲ述ベル 五千円カケテハ賣ラナイトノコトデアッタガ尚相談シテ居イテ貰フコトシテ帰宅 朝晝食ヲ共ニ取り工場出 組合ノ用件ヲスマセル 三時終ル  
野口君照(ママ)介ノ丹野少年來 廿五日ヨリ出社トキメテ帰ル  
帰宅シタラ徴用令デ霞ヶ浦へ行ツタ福田來テ居テ色々話シヲ聞ク 夕食ヲ馳走シテ帰ラス 金十円永野ト二人デ分ケル様ニ持タセテヤル  
兄、参吉モ共ニ食事ス  
太田二本日辞令渡ス

▲▼86ページ▲▼ 昭和16(1941)年3月22日(土)

天気 曇夜雨

定刻出社 組合事務昨日ヤツテ居イタガ雑務多ク十時漸ク出カケルコトガ出來タ  
三越デ小鳥ノエヲ買フ ヤハリ午前中ニ來ナクデハダメダ 水交社へ直行 五分前ニツク  
マダニ三人シカ居ナカッタ 一時ニナツテ漸ク十七八人ニナリ食事ニツク 都築サンガ來ラレタノハ珍ラシカッタ 磯部、日野、奈良原、伊賀ノ明治時代ノ元老ガソツタ(ママ)ノデ写真機ガアツタラト思ツタ 食後ドイツへ行ク安達氏ノ講演ガアツタガ中バデ失礼シテ松戸へ行ク 三時過ギタ ツル姉ト二人デ待ツテ居タ 二時間程待ツタラシイ 墓参ヲ終ツテ帰宅ハ七時ニナツタ

夜佐藤來 今後引續キ勤務スルコトニツキ工場方針ヲ調査シテ貰ヒタイトノ申入レアリ  
月曜日ヨリ会議ヲ開クコトトス

▲▼87ページ▲▼ 昭和16(1941)年3月23日(日)

天気 雨

終日自宅二居ル

來客 葉方廿七日頃山口縣へ二週間程ノ予定デ帰りタイトノコトデアッタ  
午後袋戸棚ノ整理ヲナシ軸類ヲ方付ケル

昨夜來おばあさん泊ル 艶子ノ結婚ニおなほガフトンヲ買ツテヤリタイノデ松江ノ金  
ヲ貰ヒタイトノコトデアッタ 家内ハ絶対ニヤレナイト云ツテ居タガ大坂カラ來タ金ナラ  
渡シテモ差支ナイトノ見解カラ利子ヲ年五分ノ割合ニ計算シテ渡ス 但シ豊作ヤキミニ  
松江ニ將來返シテヤル様話シテ居クコトヲ事傳ル  
夕方清平來 梅山解雇キメタコト。大分骨ガ折レタラシイ

▲▼88ページ▲▼ 昭和16(1941)年3月24日(月)

天気 雨

今日モ終日降り續ク カナリ寒カッタ 夕方止ム

定刻出 午前中雑務。午後、新作業課長ヲ主任以上ニ紹介 清平ヨリ事ム引ツギヲナ  
シ今後ノ方針ニツキ協議会ニ入り五時半終ル

飛行協会ノ文部省型夕方發送

森川氏本日出社

尚午後奈良原宇賀デ青年學校ノ方針附定ノ會議ヲ開ク

▲▼89ページ▲▼ 昭和16(1941)年3月25日(火)

天気 晴

北西ノ風強ク寒イ日デアッタ

十時過ギ舟崎氏來社 松戸土地買収ノコト 發動機部即時移轉ノコト、ソルトバス中  
小二基發注ノコトヲ決定 二時半頃帰ル ガソリンニカン入レル

尚坂東君ヨリ陸軍ノグライダーヤレト進メテ來タコトヲ報告 ヤルカ、ヤラナイカラ計  
ル 言下ニ舟崎森川二人共最(ママ)非ヤルトノコトニ明日清平ヲ連レテ行クコトニ決ス

▲▼90ページ▲▼ 昭和16(1941)年3月26日(水)

天気 晴

兎角ニ用件ヲタノミ七時半ヨリ船橋ニ行き清平同道坂東氏訪問 福知氏居リ坂東氏  
遅レ十時半出社 十一時半同道シテ航本松田少佐訪問 坂東氏ト松田少佐話シ吾レ  
等ハ別室ニテ待チ十二時帰りA1ニテ晝食ヲ共ニス 松田少佐ノ話シハ日航工ニテ受注  
伊藤ヲ下請工場トシテヤレトノコトデアッタ由 ソレヲ當方モ望ム旨答へ促進方ヲ依頼  
ス。考フルニ更ニ進ンデ伊藤モ國際ニ合併シテハ如何ト云フ處へ行クラシイ。器材ノ林氏

ヨリ舟崎氏へ頼ンダガ五千円小切手ニテ受取ル 借用証ヲ渡ス 日特二小寺氏訪問 飛行協会ニテ竹田氏ニ注文書ノ件依頼 スグ出ストノコトデアッタ。局ニ行キ村上氏ヨリ 直上ゲノ件差支ナイカラ販賣シテヨシ 別ニ認可ノ要ナイトノコトデアッタ。駒林氏ニ 會フ 朝日機六月頃製作ニカルトノコトデアッタ 松戸行ク時間遅レ取引出來ナカッタトノコトデアッタ

◆◆91ページ◆◆ 昭和16(1941)年3月27日(木)

天気 晴風雨

朝カラ降ツテ居タ 兄ヲ待ツ間ニユスラ梅ヲ鉢ニ上ゲル 一段トヨクナッタ 今年ハ花ツキモヨカッタ 清平ト三人デ行ク 松戸駅デ局ノバスニ間ニ合フ 中央養生所正門前デ 舟崎氏ニ會フ 第一回卒業式 十時ヨリ飛行 十一時二十分ヨリ免状授與式 ○時二十分ヨリ祝宴 終ル頃猛烈ナ南風吹ク 工場敷地ヲ見ル 昨日ニワカニ立テタ立カバンガ馬鹿ニ目ニツク。バスノ中デ堀閣下ニ注文書ノ件ト事ム所ノ件諒解ヲ得

森川舟崎ニ昨日ノ件報告ス 本日土地ノ金支拂ヒノ爲メ森川氏ト兄ノコル 舟崎氏ト清平三人デ工場へ帰ル

組合ノ用件デ六時頃迄カ、ル

勝野君戦地ヨリ帰ル 祝賀茶話会ヲ開ク 出席ス

◆◆92ページ◆◆ 昭和16(1941)年3月28日(金)

天気 晴北西風

朝兄ト會フ 昨日松戸ノ取引振リ森川小切手ヲ書イテニ割支拂ツタ由 兄ヲコドモアツカヒニシタトテ、フンガイシテ居タ 工場ニ出ズスグ上京 坂東氏訪問 月曜日正午 交詢社デ会见ノコトニ取キメ器材ニヨル 畑氏ニ右ノ旨事傳ケテ十時五分前糖業協会ノ工業組合中央会ニ出席一時過ギ終ル 三和銀坐支店ニテ舟崎氏ノ小切手五千円ヲ現金ニ替エ協会ニ行ク 金子覺元氏來テ居タ 朝日新聞ニ行ク ダメデアレバ讀賣ニ行ク様紹介ヲ書イテ渡ス。竹崎君ニ會フ 十年式結局三百円入ルトノコトニ渡シ五月末ツヲ期限トシテ整備費共弍千五百円受取ルコト 出來ナイ時ハ機体ヲ引渡スコトノ覺書ヲ取ル。スグ帰ル 市川ノ家主ニヨツタガ不在

夜飯田、庄司ヲ呼び兄ト夕食ヲ共ニス 今日中央会ヲ企画院ノ人ノ生産力拡充ニツイテノ話シヲ聞ク。国民全般ニ政府ノ裏ノアル處ヲ聞カセル必要ガアル。スレバ闇取引ナドモナクナルコトト思フ。ソレニハ小學校ヤ寺、神社ヲ利用シテ毎月一回位話シヲ聞カセルノガ一番ヨイト思フ

◆◆93ページ◆◆ 昭和16(1941)年3月29日(土)

天気 曇後雨

今週初ノ在社 晝頃森川來 三時過ぎ帰ル  
青年學校ノ方針決定。工場工員ノ割増金制度ノ支給法ノ研究ニ六時頃トナル  
今夜布施サンニ注射ニ來テ貰フベク朝家内ニ小便ノ研(マゴ)査ト共ニタノミニヤル 來ル  
トノコトデアッタノデツヒデニ内田ガ赤痢ノウタガヒガアルトノコトデ見テ貰ヒ入院ヲ  
タノムツモリノ處ツヒニ來ラズ 内田大學ニ入院ス  
坂東氏ヨリ明後日午後二時カラ三時ノ間ニ會ヒタイトノ通知アリ。清平ニ舟崎氏へ電  
話スル様タノム  
内田赤痢ノウタガヒアリ布施サンニ來ルノヲ待ツタガツヒニ來ラズ 八時頃大學ニ入院  
セシム

▲▼94ページ▲▼ 昭和16(1941)年3月30日(日)

天気 曇後晴

六時半起床 昨日ツイタ奈良ノ苗木屋カラ來タ、アザレヤ、梨、藤等ヲ鉢植ヲナシ、  
終ツテ小宮へ行ク 妻君ニ會ツタガ色々話シタガドウシテモ五千円ヨリマケナイトノコト  
尚考慮ヲウナガシ當方モ考ヘルコトニシテ帰ル 來週中取引ヲシタイ旨話シタ處權利書  
ガ震災ノ時焼テ其マヽニナツテ居ルトノコトデアッタ。帰宅一時 晝食後工場ニ行キクラ  
ブノ奨励金受領書ヲ書キニ時帰宅 家内ガ下ノ土地ヲ、タガヤシテ居タノデ少シ手  
傳フ 忘レテ居タ松戸カラ、ヒロツテ來タ杉ヲ植エル  
今日モ布施サン來ルトノ電話デアッタガツヒニ來ラズ

▲▼95ページ▲▼ 昭和16(1941)年3月31日(月)

天気 晴

北風寒シ

定刻出 組合、クラブ雜務後森川氏ニ大工へ支拂今日スルコト、組合ノ金支拂フコトヲ  
命ジ上京 局ニ行ク 駒林氏ニ朝日式设计ニ文部省型下部品ヲ共通ニサレタイコトノ希  
望ヲ述べル 前川氏ニスプルスノ証明ヲ依頼ス 今泉氏不在ニツキ元霞ヶ浦ニ居タ人ニ  
大藪君ノコトタノム 辞表ヲ出シタ方ガヨイトノコトデアッタ。佐田航空官トモ會談  
終ツテクラブノ維持奨励金呉レトノコトデ判ヲ持タズ工場へ電話ス 廻間行ツタトノコ  
トニ安心シテ、交詢社ニ行キ舟崎坂東會見ニ立會ヒ、四時東京府ニ小泉奨励金貰ヒニ  
行キ六時帰ル  
九時十分布施サン來 今日カラ少シ強力ナノヲ注射ス

▲▼97ページ▲▼ 昭和16(1941)年4月1日(火)

天気 快晴

六時起床 定刻出 朝礼ニ能率増進ト新入社員ニ対スル心掛ケヲ話ス  
組合ノ帳簿記帳ヲ終ル

大藪利三郎へ辞表提出方手紙ヲ出ス

新入社兒供三十三名アリ。二時半森川氏ニ挨拶ヲシテ貰フ 余リ上手デナカッタ 奈

良原サンカラモ一場ノ話シアリ アトデ星野氏カラ又兄ニモ話シタ由

庄司上京 局ト小泉ノ小切手現金ニサセル

◆▼98ページ◆▼ 昭和16(1941)年4月2日(水)

天気 晴

定刻少シ遅レル 庄司ノ大日本航空入社ノ推撰(ママ)状ヲ書キ、散髪ヲナシツヒデニ宅

ニ帰り家内ヲ大坂へヤル急行券ヲ買ヒニ恵美子ヲ東京駅へヤル

昨日着イタバヲ植エル

組合事務ヲナシ美津濃、日本小型ノ拂込金ト羽布代立替エヲ銀行ニ入金ス 之レニテ

増資ノ登記ヲ運ブコトトス

三時半ヨリ舟崎社長出席 新入社員ト青年學校ノ卒第一回卒業式ト第五回入学式

ヲ行フ 終ツテ鈴木館ニ行キ社長招宴ニ主任以上出席ス 森川氏星野氏欠席 東京ヨ

リ今里、畑両氏出席ス 中バニテ奈良原サンノお嬢サン悪イトテ迎へアリ帰ル

◆▼99ページ◆▼ 昭和16(1941)年4月3日(木)

天気 晴後風

七時起床 食後新聞ヲ讀ム内高見氏清平同道ニテ來 電車デ一所ニナツタトノコト

高見氏ノ用件ハ次男ガ高等商船ニ入学シタノデ金ガ入ルノデ式百円貸シテホシイトノ

コト。投網ヲ買ツテ貰ヒタイトモ話シガアツタ 式百円貸ス 五月中ニ必ず返ストノコト

デアツタ

盆栽ノ手入レヲナス 十一時頃星野氏來 海軍ノ方六ツケ敷ガヤツテ見ル、トノコト

外ニ今ノ給料デハヤリキレナイノデ考慮中ダカレ、イヅレ相談ニ來ルトノコト。松戸ノ方

ガ出來増資スル様ニナレバ、何ニカ一部受持ツテ貰フ様ニシタイカラト話ス。三時半余リ

風ガ出タノデ盆栽ヲ中止ス

星野氏晝食後帰ル 土産ヲ貰ツタノデ玉子ヲ差上ゲル

◆▼100ページ◆▼ 昭和16(1941)年4月4日(金)

天気 曇風強

六時起床 定刻出社 相當増員が目ニツイタ  
クラブト組合雑務

千葉へバスノ賣物調ベニヤル

井倉君來 事務引繼ヲ終ル 夜送別会ヲヤルトノコトデアッタガ自分ハ別ニスルコトニテ  
コトワル 三時頃船橋警察ニ呼バレテ行ク。飛行スル場合ニ届出ル様トノコトノ受書ヲ出  
セトノコト ツマラヌ事ニ一々呼出スモノダ

福西泰一郎氏ヨリプラグノ事デ會ヒタイトノコト 明日午後行ク旨電話サセル

▲▼101ページ▲▼ 昭和16(1941)年4月5日(土)

天気 雨

家内四時起床 自分五時半起床 船橋ニ行キツル姉ト広志同道 仁三郎徳治モ東京  
駅迄行ク 九時発ニテ出發ス 見送ッテ徳治トオリエンタル写真展覽會ヲ見ニ行キ局ニ  
行ク 榊原サンニ會ヒ今泉氏ニ會ヒ大藪ノコトヲ話シ諒解ヲ得。大日本航空三片岡理事  
ヲ訪ヒ揮毫シテ貫ヒ協會ニ行キ武田大佐ニ會フ 大量注文ニツキ月曜日更ニ會見ノコト  
ニナリ長山氏待チ合ス 工場見学シタイトノコトニ火曜日待ツコトニス。終ッテ日比谷ニ  
桜ノ盆栽ヲ見三越デ小鳥ノエヲ求め、二時四十分福西泰一郎氏訪問 プラッグノ會  
社プラグ出來ズコックヲヤルト陸軍カラ教ヘラレ技術者モ派遣シテ呉レルトノコトデ伊  
藤ノ会社デー所ニヤツテ呉レヌカトノコト 百万円入ルトノコトデアッタガテイヨクコト  
ワル 但シ余リスゲナクモモ(ママ)出來ナイノデ月曜日舟崎氏ニ話シテ見ルト云フコトニ  
ス

▲▼102ページ▲▼ 昭和16(1941)年4月6日(日)

天気 雨後曇リ

七時起床 終日在宅 盆栽書、俳句、鳥ノ本ヲ讀ム 夕方バラヤ、アザレヤノ名札ヲツ  
ケル

夕食後六時過ぎ艶子夫妻挨拶ニ來ル 丁度組合ノ決算ニツイテ本ヲ調べテ居タ時デア  
ツタ

三時頃佐藤孝吉來 發動機移轉ト設備ニツイテ意見ヲ述ベニ來タノデアッタ

富士航空ノ連中又來ナクナッタトノコトデアッタ 何ソノ事ダ 最(ママ)非入レタ方ガヨ  
イガ

▲▼103ページ▲▼ 昭和16(1941)年4月7日(月)

天気 晴

久シ振りデ晴レタガシユウ雨アリ

定刻出社 八時半ヨリ上京 十時二十分協会着 本年度協会注文五百十台アリ 生田君君(ママ)ト会ヒ同道 文部省ニ行キ生田秋田両氏ヨリ商工省諒解ノ話シヲ聞キ提出願書ニツキ協議ス 野口昇君ニ會フ 同道シテ出晝食 野口君ヨリ伊セノオワセノ木材ノ件話シアリ 海軍ノ航空機用木材組合ノ件ヲ話ス 最(ママ)非ソレニヤラセル様ニシタイ 行ツテ呉レトノコトデアツタガ、仕事ノ事ハ兎ニ角禪寺ノ話シニ一寸行ツテ見タイ様ナ氣ガシタ。二時半舟橋駅ニテ森川氏ニ會フ 松戸ノ資材ノコトデ局ヘ行クトノコト工政課ヘ行ク様云フ 舟橋清平ノ宅ヨリ福西ヘ電話シタガ五時迄待ツテヒニカ、ラズ朝清平ヨリ富士ノ練(ママ)中來ナクナツタ話聞ク 夕方清平宅ニヨリ五人ダケ來ルコトニナツタトノコト 木村難色アリシモキマツタ由 先ツヨカッタ

▲▼104ページ▲▼ 昭和16(1941)年4月8日(火)

天気晴

中々寒イ日デアツタガ天氣ハヨカッタ

定刻出 兄高木村ニ行ク 十一日取引ノ予定ダガ尚確實ナ日取りハ明日知ラセルトノコト

組合ノ決定算ヲナス

長山敬君來ル予定ノ處來ラレナクナツタトノ電話アリ

朝乗池君ニ電話シタガ不在

榎本君營業へ入レタイ旨相談アリ 承認ス

▲▼105ページ▲▼ 昭和16(1941)年4月9日(水)

天気 曇小雨

気温昇ル 広帯鋼配給來ル 廻間手續キヲ聞キニ上京サセル 外ニ東亜企業其他ヘヤル久松氏ヨリ一名紹介アリ 森川ニ話シ丁度來社ヲ求ム

正午帰宅 晝食後旭航空ト松戸ヘ仕事ノ量調査ニ行ク予定デ出タガ奥山氏ト会見後時間ヲ見ルトアト三時二十分ヨリ汽車ナク松戸行ヲ中止ス 旭航空ノ事ム所六十坪坪七十円デ賣リタイトノコト。

時間ガハシニナツタノデ葛飾ノ盆栽屋石井ニ行キ一時間程見テ四時帰宅後ハゼノ寄植ノ植替ヲナス

▲▼106ページ▲▼ 昭和16(1941)年4月10日(木)

天気 曇雨

定刻出 日航ヨリグライダーノ件ニテ立川同道シタイトノコトニ早ク出ルコトス組  
合員へ出資第二回拂込ミノ通知ヲ出ス  
文部省ニ行キ學生用綿布配給斡旋ノ願書提出ス 山崎氏ヨリ三機組合へ注文アリ  
福知氏信田氏同道立川へ行ク 航空本部デハ見積書提出ヲ命セラレタニツキ仕様ト機  
種ハ立川技研ノ本田中佐三聞ケトノコトデ行ツタ訳ダ 處ガ本田中佐ハマダ機種ハ之レ  
カラ撰定スルノデ二十日頃キメルトノコト 一兩日中ニ務所機種ト仕様ヲ提出スルコト  
ニシテ帰ル 新宿ニテ夕食ヲ共ニス 九時半帰宅ス  
大坂ノ家内カラ小供達ニ手紙ガ來テ居タ

◆▼107ページ◆▼ 昭和16(1941)年4月11日(金)

天気 晴

春モアツイ位ノ好晴デアッタ

廻間ニ購買ノ件打合せ。清平、太田、肥田木ト陸軍グライダーノ件打合せ。仕様書今  
日中ニツクルコトトス 写真ハ徳治ニヤラセル

晝上京スベク出カタ(ママ)處へ高見ノ妻君來 お茶ヲ買フテヤル。

丸ノ内三和ニテ福田ヨリ來タ羽布代金受取ル 商工省纖維局綿業課皆川事ム官ニ文  
部省綿布願書提出 一般用ノ方へ喰ヒユナイ様依頼ス。飛行協会ニ行ク 五百機ノ発  
注齋藤氏朝日へ行ツテ不在 朝日へ電話スル 尚ニ三日待ツテ貰ヒタイトノコトデアッタ  
日本航工ニ行キ福知氏ニ会フ 山田大佐陸軍へ行ツタ處 只今種々ノ事情デ直接発注  
出來ナイガ、善処サセラレタイトノ話シアッタ由

清平宅ニヨリ工場へ電話シテ明日清平立川へ同道スル様命ジ尚勝野君船橋駅前デウ  
ロ、シテ居タノデ舍宅へ入レル様取計フ

◆▼108ページ◆▼ 昭和16(1941)年4月12日(土)

天気 薄曇

五時半起床 盆栽ノ肥シヲヤリ定刻出社

廻間局ノ前川氏へ資材購入方法ノ研究ニヤル。組合各社ノ受取金領収書並ニ協会學  
聯機発注ヲナス

正午終ル 有野氏來 旭航空ノ賣リ工場教ヘル

帰宅後和子ヲ連レ上京 途中土地登記ヲ済マセニ帰ル 森川乙竹二人ニ會フ

日比谷ノ櫛ノ盆栽展ヲ見ニ行ク 白木屋ニ寄り七時帰宅

夜野口君來 オハセニ木材会社設立ニ関シテ話シアリ 來月初メ頃來テ呉レトノコト事

(ママ) 考慮スルコトトス

▲▼109ページ▲▼ 昭和16(1941)年4月13日(日)

天気 曇夕ヨリ雨

予報通り午後ヨリ次第第二雲多ク夜ハ風雨トナル  
七時半迄寢ル マダ寢ラレソウデアッタ 身体モイタカッタ 少シツカレタラシイ  
九時工場出 組合へ考へテ社ノ三台小型ト東洋へ発注ス 京都ヨリ梶田谷田二氏來  
宅へ連レテ來テ話シヲ聞ク 宮崎横暴カラ分利(ママ)シテツヒニ解散ト決定シタニツイテ  
ハ宮崎ヲノケタ他ノ者デヤルコトニシタイガ從來通り免(ママ)倒ヲ見テ貫ヒタイトノコト  
デアッタガ宮崎ノ諒解ナシデハ自分ハ出來ナイ旨答ヘル 明日迄尚考慮スル由ニテ分レ  
明日東京デ會フ約束ヲナス。大分宮崎ノ悪イコトヲ云ツテ居タ 或ハソウカモ知レヌガ  
谷田ト云フト中々策士ラシイ 梶田君ハオトナシイ人格者ト思ワレル  
二時頃帰ル 兄來テ居タ 晝食ヲ共ニス  
夕方余リタイクツデ仁三郎相手ニ碁ヲヤル

▲▼110ページ▲▼ 昭和16(1941)年4月14日(月)

天気 曇リ

今ニモ降リソウデアッタガツヒニ降ラナカッタ  
工場ノモノ花見三三塚へ皆行ク 七時過ぎ工場出 居川獨リ番ヲシテ居タ。組合ノ  
決算書ヲ作製シ九時終リ上京ス 航空局ニ行ク 十二日官制ノ改正デスツカリ変ツテ  
居タ 工政課長ト村上氏ニ値上問題五月中ニキメテ貫ヒタイ旨依頼ス 佐田中佐ニ會  
ヒ、新補給課長松尾氏ニ挨拶ヲシヨウト思ツタガ席ニ歸ラズ名刺ヲ居イテ歸ル  
協会ニ行 齊藤氏ニ會フ 今日午後朝日デ機種ノ撰定ヲシテ來ルトノコトデアッタ。摺  
沢氏ニ各ノコトタノム 東部長ニ組合ノ席ノコトヲタノム

▲▼111ページ▲▼ 昭和16(1941)年4月15日(火)

天気 晴

朝工場へ出テ一部就業ノ状態ヲ見組合コト一寸調べ帰宅後九時ヨリ上京 清平ニ寄ル  
兄昨夜帰ラヌトノコトデアッタ 元氣ナ者ダ  
三越ニ行キ小鳥ノエヲ求メツヒデニ植木鉢ヲ一ツ買ヒスグ歸ル 正午帰宅 買ツテ來タ  
パンデ晝食ヲスマス  
午後三時頃迄盆栽ライジリ 上ノ原ノ石ト草ヲ鉢ニ上ゲル  
姫リンゴガ大変花ガヨクツイタ 本年ハ實ヲナラシタイモノダ  
夕食終ツタ處へ三沢塗料屋來 昔ノ金ノ件 コチラモ借ガナイトハ断言シ得ナイノデニ  
十円渡シ一切終ツタコトニス

▲▼112ページ▲▼ 昭和16(1941)年4月16日(水)

天気 晴

風弱クヨイ日デアッタ

終日在所 十時過ぎ信田君來 山縣、航空神社、工場ヲ案内シ稲毛迄タクシード送ラセル

組合ノコト工場ノコト大分事務的ノコトヲ方ツケル

計理統制金ニツキ森川乙竹二人ヲオドカシテ居ク

夕方清平來 夕食ヲ共ニス 昨日山東ニ會ツテ來タ話シヲ聞ク 結局ヤメルラシイトノコトデアッタ

▲▼113ページ▲▼ 昭和16(1941)年4月17日(木)

天気 曇小雨晴

定刻出社 九時頃上京ノ仕度シテ居ル處へ社長來社 其内朝鮮ノ赤木中佐、ト金君來場 ツヒ二十一時過ぎ一所ニタクシード出ル 社長兩國下車 赤木氏ト飛行館ニ行キ晝食ヲ共ニス 文部省ニ一時付ク 不在 月曜日ニ行クコトトシテ再ビ協会ニ帰り十六年度注文書ヲ貰フ 三時ニナツタノデ急イデ日本小型三行キ決算表ヲ見テ貰フ 伊東氏社長二代ツテ見ル 社長ハ來客アリ 宮原氏ニモ會フ

資金ノ拂込遅レテ居タガ少シ待ツテ貰ヒタイトノコトデアッタ。決算デイソガシイラシイ 五時有楽町下車 日本航空工業ニヨル モウベツテ居タノデポストカラ圖面ト名刺ヲ入レテ帰ル

八時半頃布施サン來テ呉レテ注射ス

▲▼114ページ▲▼ 昭和16(1941)年4月18日(金)

天気 曇リ小雨

時事 ユーゴースラビヤ遂ニ獨軍ノ前ニ無條件降伏ス 開戦後僅カ二十二日

朝散髪ヲシテ八時半工場出 終日廻間ト資材調辨ノ調査ヲナス 尚昨日ノ協会注文書ニヨリ割當表ヲ作製ス

森川氏モ今日ハ五時頃迄机ニカヂリツイテ居タ

朝四時頃カナリヤガサワグノデオキテ見タガナントモナソウデアッタガ床間ニ入レル 五時半起床後ヨク見ルト左ノ足ガ血ダラケデプラ、ニナツテ居タ 鼠ノ這入ツタ管モナシ 原因ハ分ラナカッタ 夕方帰ツタラ、晝間元氣ヨク鳴イテ居タトノコトニ安心ス

▲▼115ページ▲▼ 昭和16(1941)年4月19日(土)

天気 曇リ

定刻前出社

今日ハユツタリト仕事ガ出来タ 組合ノ十六年度事業計算予算迄ツクリ上ゲルコトガ出来テ愉快デアッタ

夕方信田君來 陸軍ノグライダー注文ヤハリゲ式一型、福田式二一、一型デアッタ プライマリーハ文部省型 高級機ハマイゼデアッタ。之レニツキ対策ヲ協議ス 清平木村両人立會ノ上相談 尚信田三三人デ夕食ヲ共ニスル様命ズ  
キン釜山ヨリ新京ヘ行ク途中ハガキ來ル

▲▼116ページ▲▼ 昭和16(1941)年4月20日(日)

天気 晴

五時起床 成田山参拜 八時二十分帰着 朝食後工場ニ出組合協会注文数量表ヲ各社ヘ発送ス

午後鳥小屋ニ砂ヲ入レ替エヲナス。大分クサクナツテ居タ 五時頃終ル 清平來 森川氏ガ□□ダトノ事ハ自分決シテ人ノ前デ云ワナイコトヲ命ズ  
今日ハ徳治ノ友人二人來 晝食ヲシテ夕方帰ル

▲▼117ページ▲▼ 昭和16(1941)年4月21日(月)

天気 晴曇リ

五時半起床 今日ハ君モおバアサンモ居ナイノデ小鳥ト鳥ヲスツカリ見テ自分ノ床モ上ゲテヤッタ

定刻出社 本日計算ニナル四月分カラ日給者ニ対スル加給制度ニツキ皆ニ話シヲスル終日工場ニ居テ組合ノ仕事ガ急(ママ)ガシカッタ 材料局ヘ提出スル分全部出来ル 森川氏縣庁ヘノ報告書デ昨日カラ大分勉強シテ居タ  
オリンピック型ノ書類ガナクナツテ大サガシタガツヒニ出ナカッタ  
兄ノ話シデハ明日アタリ帰ッテ來ルダロウトノコトデアッタ

▲▼118ページ▲▼ 昭和16(1941)年4月22日(火)

天気 曇リ

五時半起床 定刻出 朝礼後船橋ヘ電話シタラ今丁度二人帰リツイタトノコトデアッタ

上京ノ途船橋ニヨル

十時丸ノ内中央亭ニ工業組合中央会機械部会ニ出席 下請指名制度ニツキ講演アリ  
尚機械統制会制定ノ予定ニツイテ話シアリタリ 晝食後散会。日本航空工業ニヨリ福  
知氏山田氏ニ會フ 航本松田中佐ニ行クカラ一所ニ行ツテ呉レトノコトデ同道シタガ会  
ワナイ方ガヨサソウニ思ツタノデ内田中佐ニ會ヒ滑空機資材ノ件想(ママ)談ス 局トノ  
關係ガウマクツイテナイラシイノデ更ニ前川氏ニ行クコトニス 東日ニヨリ飛行協会ニ行  
ク 篠原君ニ電話ヲ引クニツイテ飛行館ヲ借りルコトノ諒解ヲ得 堀閣下ニ受注ノ挨拶  
ヲナス。五月十日組合總會ノコトモ席ヲ借りル  
五時半帰宅 ツル姉ト夕食ヲ共ニス

▲▼119ページ▲▼ 昭和16(1941)年4月23日(水)

天気 曇リ

今日ハ寒イ日デアッタ

定刻出社 八時ヨリ三四年ノ修身時間ニ航空歴史ヲ説ク 九時終了 舟崎氏來場  
今日ノ地鎮祭ノ件例ニヨツテ誰レモ知ラズ 清平其事ヲ社長ニ告ゲタラシイガコレハ余リ  
云ワシテハナラナイノデ、云ワナケレバ聞ク様ニシナケレバナラナイトタシナメル。今日ノ  
仕事ノコト清平ヨリ報告 自分ヨリ購買ニツイテ報告ス  
十時半社長ト木村、兄ト松戸ニ行キ佐藤閣下ニ會フ 森川氏今朝來タトノコトデアッ  
タ 一三十分話シ社長葬儀ノ爲メ帰京 残ツテ地鎮祭ト上棟式ヲ兼ネ行フ  
一寸前森川氏來場。佐藤閣下高原氏村長其他数氏ノ参列アリ  
佐藤氏ニ資材ノ件借家ノ件ナド諒解ヲ得 夜浜町園田中ニ案内 森川自分木村 七  
時頃社長モ來 十一時散会 ヨイ気(ママ)嫌デアッタ ドウモ酒ヲノムトヤハリ腹工合  
ガ悪イラシイ 佐藤閣下ノ上気(ママ)嫌ニハウラヤマシクナッタ

▲▼120ページ▲▼ 昭和16(1941)年4月24日(木)

天気 晴

終日工場 少シユックリス

森川ヨリ舟崎氏昨夜自分ノ意見デアル津田沼充實説ヲ出シタノニ対シ、津田沼ダケ  
デヤルナラグライダーモ止メタラドウカト云ヒ出シタノデ、一應養成所ノ仕事ニムラガ  
アル以上一本道ヲ行ク方ガヨイト思フ旨ノベル。氏ハ松戸へ大キクシテト張り切ツテ居タ  
ラシイノデ一寸腰折レノ姿デアッタ

山東來タガ舟崎氏ニマダ話シテナイガ別ニ意見ハナイダロウトニツツテ居ク

三時終ツテ帰ル 松戸ノ設備森川氏ヤツテ居ルノカト思ツテ居タラヤツテナイラシイノ  
デ調査ヲナス

夜八時床二入ル

▲▼121ページ▲▼ 昭和16(1941)年4月25日(金)

天気 曇り晴

時事 靖国神社春季大祭天皇御親拝アリ

五時半起床 定刻出社 クラブガソリン又昨夜カ今朝トウ難アリ二三カントラレタ由  
庄司ヨリ報告アリ ソレモ今朝庄司ガ出社ト同時ニ守衛居川アトヨリツイテ來テ初メ  
テ発見セシ由 スコシオカシイ。庶務課長ニ命ジ調査サセル。佐藤ヲ呼び松戸ノ一棟ニツ  
キヨク説明シ同部設備ニツキ意見ヲ交換ス。白戸ヨリ使來 ガソリンニカン渡ス

九時ヨリ上京 船橋ヨリ兄ト松戸ノ建設ニツキ打合セノ上今日森川ニ相談サセル

一時十五分平塚着 信田ニ會フ 木材ノ件グライダーノ件九五二型支柱ノ件スベテ話  
シダケデ調査間ニ合ワズアトカラ返事シテ貰フコトトナル

四時半時代社三行ク 六時ヨリ飯沼、渡辺兩氏ノ自分ノ社長ヲ止メタ慰安会ニカヤ場  
町ノ料亭喜可久ニ行ク 中々ヨイ家デアッタ 料理モウマカッタ 藝者モヨカッタ 酒ハ  
ノマナカッタガ愉快デアッタ

▲▼122ページ▲▼ 昭和16(1941)年4月26日(土)

天気 曇晴

定刻出社 朝礼後昨日様子清平ニ話シスグ上京ス 航空局松尾補給課長、泊係長ニ  
會ヒ地方養成所ノ仕事ニツキ工場方針カラ、スツカリ話シ諒解ヲ得 近ク工場ヲ見ニ來  
ルコトニナル。村上氏、榊原氏、ニ會フ 前川氏不在

飛行館三行ク 東氏ヨリ会社ノプライマリー不良ノ話シ聞ク 久田ヨリヨク聞ク。篠原  
氏不在 電話架設ノ件願書預ケテ帰ル

午後二時四十五分帰宅 丁度松岡外相歓迎会ノ演説アリ終リ迄聞ク 四時ニナル  
松岡氏ノ雄辯ハ實ニヨカッタ

夜兄清平ト食事ヲ共ニス 森川、木村松戸ノ方、延期ノ方針ニ対シ大分クサツテ居ルト  
ノコトデアッタ

布施サン來ル予定デ風呂ニ入ッテ待ツタガ今日ハ先生ガ病氣デ來ラレナイトノコトデア  
ッタ

▲▼123ページ▲▼ 昭和16(1941)年4月27日(日)

天気 晴

六時半起床 八時半工場出 組合ノ出荷其他用件ヲ終ル 十一時頃森川氏來 昨日

器材ニテ器材ト尚工場合併ノ問題ガ出タトノコトデアッタ  
晝頃帰宅 晝食後布施サンニ行キ注射後葛飾ノ石井ニ行 仁三郎同道 家ヲ教ヘテ居  
ク エゾ松植替テアッタ 明後廿九日取りニ行クコトニシ金ヲ拂ッテ帰ル 帰宅 少シ氣  
分ガ悪クナッタノデ一寸横ニナル 清平ヨリ皆デウドンヲ喰フ

▲▼124ページ▲▼ 昭和16(1941)年4月28日(月)

天気 曇晴

時事 獨軍ギリシヤ首都アテネ入城ス

昨夜八時頃就床後今朝八時起床 四時頃迄小便ニモ起キズ眠ッタ マダ眠カッタ。

山東來 退社カ居残ルカ尚考慮ヲ求メル 明日上京想(ママ)談ノ上返事スルトノコトデアッタ

葉方止メルトカ何ント云ッテ居ルノデ又クセガ出タト思ッテ本人ヲ呼ビヨク話シテヤッタガ結局萱場へ行キタイトノコトニソレナラ初メノ話シニ返ルコトニナルノデ嬉(ママ)ンデヤルカラ大ピラニ行ケト云ッテ居ク

昨夜野口君來 寢台券買ッテ居クトノコトデアッタガ買エナカッタトノコトデアッタ  
養成所三千七千円(ママ)余入金アリ 小切手明後日現金ニシテ取ッテ呉レトノコトデアッタ由

クラブノ山本良作少尉ニナッテ來タ 明日ノ天長節ノ飛行ノ爲メ各務ヶ原カラ下志津へ來タトノコト 自宅デ晝食ヲ共ニス

▲▼125ページ▲▼ 昭和16(1941)年4月29日(火)

天気 曇後雨

時事 天長節

午前六時起床 八時ヨリ工場青年學校遙拝式ニ出ル 終ッテ奈良原氏ト帰宅 觀兵式ノラジオヲ聞ク 雲低ク航空隊ハツヒニ式場ニ出ナカッタ。奈良原氏帰ラレテ百合ノ技手ヲ作ッテ居ル處へコレハ珍ラシイ 突然小倉中將ガ見ラレタ。萱場ノ運動会ガアルノデスグ失札スルトテ一寸坐敷ニ上ッタダケデスグ帰ラレタノデ家ノ玉子ヲ十五ケト一昨日取ッテ來タアサリヲ一アミ差上ゲ京成ノ停留所迄送ル。此頃ヨリポツリ、、雨降り出シタ方カラ本降りニナル

仁三郎エゾ松ヲ取りニヤル

夕方ライスカレーヲ作ルノニ肉ガ中々間ニ合ワズ漸ク手ニ入ル

今朝電話デ小宮取引ノ件聞合ス 主人不在デ少シ待ッテ呉レトノコト 自分一日ヨリ不在ニナルガ貴方ノ都合デハイッデモヨイカラ留(ママ)都デモ分ル様ニシテ居ク旨話シテ居ク

◆▼126ページ◆▼ 昭和16(1941)年4月30日(水)

天気 晴

六時起床 散髪ヲシテ工場ニ出ル

晝頃森川氏來 養成所ノ小切手渡ス 自身銀行へ取りニ行クトテ一時前ニ出カケタ

山東君來 ヤハリ他へ行クコトニシタイトノコトデアッタノデ明日決定スルコトトシ先方へ  
ハ諒解ガツイタト話シテヨイカトノコトニヨイ旨返事ス 夕方帳簿ニツキ説明ヲ聞イタガ  
元帳ノ記帳ヲ見タノデハサツパリ分ラナイ様ニナツテ居タ 補助帳モ不完全デアル 之  
レハ何ントカシナケレバナラナイ

明日カラ時間改正ヲ行フ

大藪へ手紙書キ引越料百円送ルコトニス 家賃十四円拂込ム

夜布施大石來 トウナン事件ニツキ大石ヨリ参考トシテ聞イテ呉レトテ居川ノコト話  
アリ

◆▼127ページ◆▼ 四月

住宅問題 自動車

海軍問題ト陸軍問題

航空局方針

木工大増員ノ件

◆▼128ページ◆▼ 昭和16(1941)年5月1日(木)

天気 晴

サワヤカナ五月晴レノ代表ノ様ナお一日。朝礼ノ後チ火災ノ時ノ賞ヲ葉方、居川ニ與  
へル 尚トウナンニツイテ注意ヲ與へル

九時頃社長、森川一所ニ松戸ヲ廻ツテ來ル。松戸工場ノ内部設備ニツキ、ヨク協議出  
來ナカツタ 晝前社長ト共ニ森川星野同道シテ帰ル

午後福知、信田君來 陸軍プライマリーノ件納期延ビル 作業課長自信ナクテ困ル

上京 協会ニヨル 組合電話ノ件承認アリ 其旨工場乙竹へガキ出ス。野口、桃井君  
ト夕食後村田ノ小供ニオモチヤヲ銀坐デ買ヒニユースヲ見テ十時二十五分発ニテ野口  
君ト出發ス

葉方萱場行き決定シタトノコト報告アリタリ

◆▼129ページ◆▼ 昭和16(1941)年5月2日(金)

天気 晴

岡崎デスツカリ夜ハ明ケヨイ日ノ出ヲ拝シダ 八時四十分山田着 内宮ヲ先キ二両宮ヲ参拝 内宮デハ第五十九回式年御造宮初メノ御祭りガ今日カラ初マル處デ丁度舞樂殿前ノ堀合ニハ今シモ梨本ノ宮殿下正面上坐 御儀式ガ初マツテ居タノヲ拝メタ 時間ガ余ツタノデ駅前デ食事ヲナシ二時十四分尾鷲着 金剛寺ノ住職鬼頭氏ノ出迎ヲ受ケ同寺行キ少休ノ後チ福山大尉ノ墓前ニ詣テ宿舎ニ入ル 入浴後鬼頭氏大藤氏ニ會フ。村田音次家内ト小供ヲ連レテ來ル 夕食ヲ共ニス 七時半ヨリ鬼頭氏ト三人 土井忠兵衛氏訪問 余リ乗氣デナサソウデアッタ。ユチラカラ進メルコトデモナイノデ一通リ航空木材ニ対スル現状ダケ話シテ九時半辞シテ帰ル 野口氏モ少シ話シガ違フト云ツテ居タ コンナモノダロウ 熱心ナ大藤氏ノ方ハ小規模ナラ出來ルラシイ

◆▼130ページ◆▼ 昭和16(1941)年5月3日(土)

天気 曇後雨

五時半起床 朝食後前山ノ公園ニ登ル 天然公園デツ、ジガヨカッタ。鬼頭氏來 中學へ行ツテ呉レトノコトニ拾時行ク 校長不在 野口氏ノ照(ママ)介デ一時間程昔ノ体験談ヲシテ十一時帰ル イソイデ晝食ヲ取り野口君ニ支拂トシテ五十円渡シ鬼頭氏、村田音次ノ見送リヲ受ケ省宮自動車デ木ノ本へ出発ス 矢ノ川峠中々ヨイ景色デアッタ。非常ニ高ク感じタガ頂上デ二千五百尺トアッタ 二時四十八分木ノ本着 三時十八分発和歌山行ニ乗ル 新宮デ四郎平へ電報ヲ打ツ。ノロイ氣車デアッタ 風光ハヨカッタ 七時四十八分白浜ニ着 バスデ八時頃着ク 電報ハ着イテ居タガ先キノハガキガツイテ居ナカッタ 十時頃迄話シテ床ニ入ル 温泉モ氣持チヨカッタ 今度ノ尾鷲行何ンノ事ガ不明ニナッタ アトデ野口君ト鬼頭氏ト相談シテ居ルコトダロウ 要ハヤリタイ者ニハ信用出來ズ、ヤラセタイ土井サンへハ余リ熱ガナサソウト云フ決(ママ)論デアッタ

◆▼131ページ◆▼ 昭和16(1941)年5月4日(日)

天気 曇後晴

五時起床 入浴朝食後海岸ニ出ル 降りソウナノデ一寸ノツモリノ處四郎平君ト権現様ニ参詣 今上天皇御乗橋ヲ拝ス 天気モヤ、ヨクナツテ來タノデ石ヲ拾フ爲メ臨海研究所附近迄行キ更ニ外ヲ廻ツテ十一時十分帰宅ス 日ガ出テアツカッタ スグ仕度シ晝食ハ汽車ノ中デタベルベクすしヲ買ツテ貰フ ○時五分發ニ乗ル 大變コンデ居タガ腰カケルコトハ出來タ 和歌山カラハ無停車デ天王寺ニ三時三十分着 姉ノ宅ニ行ク 重

二モ居リ間モナク喜代市兄モ帰ツテ來テ夕食ノ馳走ニナル 後チ恵美須町ニ行キ八時  
床ニ入り浮ビ出タ俳句ヲ書イテ八時半眠ル

◆▼132ページ◆▼ 昭和16(1941)年5月5日(月)

天気 晴

六時半起床 大蔵ニ電話シテ朝食後梅田駅ニ行 六日ノ寝台券ナク七日ノ特急券ヲ  
求ム。東洋金属ニヨリ福田へ電話ス 行クコトニス 九時半福田着 決算ノ判ヲ貰ヒ材料  
其他ノ件終リ十一時二十分出テ再ビ東洋ニ行キ飯国氏ノ招待ニテ花作料亭ニテ晝食  
十日飯国氏上京スル由 単價表ノ件其他依頼シテ大毎ニ大蔵ト会フ 若イ者カラボイ  
コトトサレタトノコトデアッタガ、ヨイ修業トシテ反省スルコトヲ話シ、第二飛行場ニ南  
波氏訪問 大毎ノ自動車デ迎へニ來テ呉レタ 一時間半程話シ大牧ト帰坂。三宅ニテ  
牛肉ヲ喰ヒ淀屋橋デ分レテ帰ル 姉ガ四時半頃カラ待ツテ居タトノコト。氣ノ毒デアッ  
タ

◆▼133ページ◆▼ 昭和16(1941)年5月6日(火)

天気 薄曇リ

六時起床 朝食後尼ヶ崎美津濃へ電話ス 梅津氏出社シテ居タ 八時十五分デアッタ  
九時梅田駅ニテ會フ約束ヲシテ出カケル 通信局ニ寄り南波サンへ砂糖五ヶ預ケテ九  
時十分梅田着 十時丁度梅津君來 九州トテモ出來ナイトノコト 大坂モダメ 東京  
デ十機位出來ルト思フカラトノコトデアッタガ九州へ東京カラ送ル訳ニ行カナイノデ協  
会ト打合セタ上十日ニキメルコトトス。十一時半京都着 ステーションホテルニ入り宮崎  
ニ電話ス。スグ來ルトノコトニ食事シテ待ツ 來 従兄ノ西垣ト二人デ三万円位ノ資本  
デヤリタイトノコトデアッタ 兎ニ角色々話スコトトシテ桃山御陵ヨリ平安神宮、嵐山、  
北野神社ニ詣デ上御霊前ノ畑角料亭ニテ夕食ヲス。ヤルナラ早クヤルコト アキラメラ  
レルナラ止メタ方ガヨイト云ツテ居ク 七時分レテホテルニ帰り入浴後駅前ニ散歩 十  
時頃宮崎ヨリ電話アリ西垣都合デ此次ギ御目ニカハルトノコトデアッタ 宮崎ヨリ自分  
ニ五十円 会社へ五十円菓子料トシテ呉レル 一應辞シタガ受納ス

◆▼134ページ◆▼ 昭和16(1941)年5月7日(水)

天気 晴

五時半起床 入浴仕度 七時十分ホテルヲ出ル 七時半富士ニ乗車 食堂車ニテ朝食  
十一時半浜松着 駅前デ晝食シテ荷物ヲ預ケ十二時半河合楽器着 社長不在 支  
配人營業部長其他式三人出テ來テ工場ヲ見セテ貰フ 能率ハヨクナサソウダ。ハーモニ

カノ作り方ヲ初メテ見タ ラジオノ函ガ沢山出來テ居タ 二時十六分ノバスデ駅ニ行キ三時一分發急行ニ間ニ合フ 四時半東京着 清平宅ニヨル 昨日星野氏ト霞ヶ浦へ行ツテ來タトノコト 十五日頃フロートヲ持ツテ來ル由 九時半帰宅入浴

◆◆135ページ◆◆ 昭和16(1941)年5月8日(木)

天気 曇リ

七時起床 ヤハリツカレテ居タラシイ

八時半工場出 終日組合事務ト總會ノ準備 森川氏ヨリガソリン盜難事件ニツキ居川ニ責任ヲ取ル様話シタトノコト。工場帳簿補助帳ヲ整頓スルコト。賣上整理ヲ行フ事ヲ進言ス

廻間ニ滑空機材料マダ出シテナイトノコトニ早く出スコトヲ命ズ。自動車千八百円ノヲ今日見テ來タ由

クラブ小泉來 病氣入院セル由 奨励金貳百円ホシイトノコト 五百円入金ノ件モアリ渡サヌツモリナリシモ入院料等金ガカ、ツタラシイノデ返シテヤル 但シ之レヲ以テ一切ノ賃借ヲ〇ニスルコトニ決定 双方承認ス  
夕方帰ツテ朝顔ヲ蒔ク

◆◆136ページ◆◆ 昭和16(1941)年5月9日(金)

天気 曇リ晴 風南

朝寒ク降りソウデアツタガ後チ晴レル。昨夜少シ喰ヒ過ギタト思ツタラ下痢シテ朝工場行キ中止シ惠美子ヲ使ニヒ(ママ)ヤル。今朝三時仁三郎ムカデニ右腕ヲ喰マレハレル 醫者ニヤル。スグ痛ミモ止ツタ。長サ五寸位アツタ スグ殺ス

十時器材着 舟崎、畑氏居リ山東止メテ外ニ行テ居ルソウダ。昨日畑サン会ツタトノコト。少シマヅカツタガ、山東モ正直ナ男ダ

器材七百万円ニ増資スルカラト松戸へ進出スルコト。之レガ準備ニ三二日舟崎氏静カナ處へ行クトノコト 右本年終ツテ來年伊藤ヲ二三百万ニシ更ニ合同シテ千万円ニシタイトノコト 從ツテ土地ハ初期ノ通り十坪買フカラ交渉ヲ進メテ貫ヒタイトノコトデアツタ。今里氏來 輸送会社へ局カラ器材ノ株ヲ持ツコトヲ話シテ貫ヒタイトノコトデアツタノデ、スグ永渕氏ニ會ヒ十五日ニ社長ト會食スルコトヲキメサセ電話デシラセル 三時十五分小型ニ行キ本庄氏伊東氏ト會ヒ四時半帰途ニツク 六時半帰宅ス  
飛行協會東サンニ會ヒ中間報告ヲシテ居ク

◆◆137ページ◆◆ 昭和16(1941)年5月10日(土)

天気 曇晴

定刻出社 宇賀ヲ連レ八時半タクシーデ津田沼駅ヨリ乗車 九時半協会着。十一時頃全部揃フ 十五年度報告十六年度予算其他、決定。自分退席後自分ニ対スル謝礼  
■ 田ツ、取ツテ呉レトノ 決定ス。会食 篠原氏出席 懇談ノ午後一時半散会。齋藤氏ニ経過報告 借入期間問題八日迄ノ分ヲ十二日迄ノ分ト一所ニ□□出來タモノカラ納入スルコトノ諒解ヲ得。帰りニミトリボーラーヲ見テカタログヲ貰ヒ、伊東屋ニヨリ、組合ノ帳簿ヲ受取り四時十五分帰宅ス

▲▼138ページ▲▼ 昭和16(1941)年5月11日(日)

天気 晴

七時起床 朝食後工場出 組合ノ決議録タイプ言(ママ)稿ヲ作り協会納期ノ件各社へ通牒ヲ出シ、各社機種價格表ヲ局工政課石島氏宛速達ヲ出ス  
十時半京都ノ梶田君來。宮崎ガヤルナラ自分等ハ手ヲ引ク 宮崎君ヤラナイ場合ニハ免(ママ)倒見テ貰ヒタイトノ話シデアッタ  
正午畑ト山縣ノ碑ヲ見廻リ帰宅 晝食後盆栽手入レヲナシ六時頃終ル 入浴。鳥飼氏來 海岸ヘカワナ乾ス場所使用方申出アリ 當方差支ナキモ工場前ハ教練ニ使用スルカラ其場合ハ、徴用スルカラトコトワツテ居ク

▲▼139ページ▲▼ 昭和16(1941)年5月12日(月)

天気 晴

六時起床 朝散髪シテ八時半工場出  
組合通信ヲ件ナシニ二時頃終ル  
星野氏ニ分解器具ノ件タノム  
廻間組合資材航空局へ提出ニ午後行ク 森川氏ニ住宅ノ件考慮ヲウナガス

▲▼140ページ▲▼ 昭和16(1941)年5月13日(火)

天気 雨

終日雨 森川星野、奈良原氏出社  
晝食ニ帰ル  
組合へ釘発送ス 右案内ト分賦金ヲ請求ス  
金子建具店へノ支拂ヒ方不良発見 取調べテ注意ヲナス  
小宮へ電話ス 妻君病氣ノ由 電話デ返事スルトノコトデアッタガハガキデモヨイカラ、ヨコシテ呉レト云ツテ居ク

▲▼141ページ▲▼ 昭和16(1941)年5月14日(水)

天気 晴

定刻出社 清平ニ昨日ノ金子建具店ノバツンノ件話シ上京 器材ニヨリ畑氏ニ会フ  
一時頃社長來ルトノコトデアッタ

文部省ニ行キ正午迄羽布商工省ヨリ特別配給ノ件六百反ト決定。後文部省型値上  
ゲノ件從來ノ経過ヨリ値上ゲノ必要性ヲ生田君ト二人デ説明 松下、松田両氏モ共  
ニ止ムヲ得ナイ旨述べル 羽田事ム官モ諒承 山崎君ニ調査ヲ命ズ

協会行 タレモ居ラズ朝日ニヨル 中野氏不在 日本航空工業ニヨル 不在 出口デ福  
知、信田、生田ニ會フ 一寸間ノ悪ソウデアッタ 信田納期ノ爲メ間ニ合ワナイカラト  
ト(ママ)ノコトデアッタ。局ニ行キ工政課二十日ノ総会ノ報告ヲナシ石島氏ト器材配給  
ノ件ナド相談 小型ノ宮原氏來 会談 補給課泊氏明日津田沼へ來ル由。器材へ行キ  
社長畑氏ニ会フ 永瀧氏ト明日会食ノ場所ヲサガシタガ、イツレモ満員デナク明日永  
瀧氏ニ電話シテ來週ニシテ貰フコトトス 七時過ギ帰宅  
十一日ノ夜カラ出タ齒槽ノウロウノ血ガ今日モマダヤマナイ

▲▼142ページ▲▼ 昭和16(1941)年5月15日(木)

天気 晴

定刻出社 木村氏ニグライダー作業予定計画ヲ命ズ 十時予定通り泊氏來 十一時  
帰ル 晝食モ喰ワナイノデ自動車デ送ル

永瀧氏電話ヲカケタガカ、ラズ 晝食後其爲メ上京 不在デアッタノデ電話ニ出タ人  
ニコトワツテ居イテ貰フ 來週廿一日頃ト云ツテ居ク 三越ニヨリ帰ル

▲▼143ページ▲▼ 昭和16(1941)年5月16日(金)

天気 曇リ

定刻出社 防諜週間ニツイテ一言御話シヲスル 今日ハ組合ノ新帳簿ヲ全部記入ス  
工場作業ニツキ清平ニ進行ヲ促ス

今日ハ又血ガ大分出タ 経過ハ

十二日 夕方出血初ム

十三日 五六回

十四日 四五回

十五日 朝二回少シ 其後ナシ 夜注射後夜中ヨリ二回大量ニ出ル

十六日 三四回出ル 夜出血ナシ

▲▼144ページ▲▼ 昭和16(1941)年5月17日(土)

天気 雨

終日雨 八時出テ上京 九時三十五分局ニツク。先方カラコトワッテ來タノデ氣ノ毒シ  
タトノコトデアッタガ今其理由ヲ聞ク爲メヨッタカラ十時ニ來ルトノコトデ其間、泊氏  
ト會談 後チ工政課長ト商事会社ノモノト會談 泰国ノ注文デ六月中頃向ニ何ニカア  
ルノデ、ソレニ一台ダケ先キニ送リタイトノコト 熱帯ヲ通ルノデカゼインガドウカナリ  
ハシナイカト心配シテ居ルトノコトデ見本トセズ一番機ハ寄附シタラドウカ、新ラシク作  
ルノハ間ニ合ワナイカラ、ソレガヨカロウト進メテ居ク 組合デ機体ヲサガシテ呉レトノコ  
トデアッタ

帰途浅草観音ニ参拜ス 久シ振リデ駒形ノドジョウヲ喰ヒ三時帰宅社 産業報國會ニ、  
産報中央部カラ來テ呉レタ高山氏ノ二時間近イ講演アリ 奈良原、乙竹食事ノ接待  
ヲタノミ帰ル

▲▼145ページ▲▼ 昭和16(1941)年5月18日(日)

天気 曇リ

五時半起床 朝ホットケーキ 晝食又キ  
夜明日大日本航空大坂支所勤務ヲ命ゼラレタ庄司操ノ送別会ヲ自宅デ魚ノスキ焼  
デヤル 会スルモノ奈良原先生、野口昇氏飯田君學生谷、劉、尾形、徳治ト青木仙  
終日盆栽ノ手入レ 朝エゾ松石付ヲ手入レ 午後外ニツイタ白浜ノ石ニ黄梅ヲ石付ケス  
イチヨウニトウロウヲ配シタラ一段トヨク見エテ來タ。上野原ノ楓モヨクナッタ 坐敷ニ  
入レテ眺ム 夕方相撲ヲ聞ク 終リニ双葉、綾昇ニ負ケル

▲▼146ページ▲▼ 昭和16(1941)年5月19日(月)

天気 晴

終日工場

夕方太田ヲ呼び作業工程調査ヲ命ズ  
今日ハ一回少シ血ガ出タダケデアッタ  
夕方カラ左ノ頭ガ時々痛ンダ 近來アマリナイコトデアッタ  
小宮へ手紙ニテ今月中ニ返事ナキトキハ初メカラ一度白紙ニカハシ引ツ、キ借リラレルモ  
ノト承知スルカラト申送ル

◆▼147ページ◆▼ 昭和16(1941)年5月20日(火)

天気 晴

定刻少シ遅レテ行ク 永渕氏宅ニ電話 日取りヲ打合ス 会社へ出ナイト分ラナイトノコトニ九時半頃会社へ電話スル マダ來ヌトノコトニ聞イテ器材へ知ラセテ貰フ様タノシデ居ク 其旨器材へ電話ス 廿四日スダラノ件キメテ藤原サン福原サン木下、宮本両氏并倉君、ト飯沼渡辺へ招待状ヲ速達デ出ス

午後前田建一君來 陸軍ノ試作ヲヤツテ居ルラシイ 大型ノモノトノコトデアッタ 三田浜デ晝食 組合加入ヲ進メテ居ク 最(ママ)非這入ルトノコトデアッタ 朝日ニモ試作シテ居ル由

養成所ヨリ高原氏外二名來 昨日所長カラ發動機手入レ高イカラ見積リヤリ直ス様トノ申渡シアリタル由

◆▼148ページ◆▼ 昭和16(1941)年5月21日(水)

天気 晴

朝大坂福田へ電話ス 明日上京スル由 正午時代社デ會フコト約束ス 後、美津濃ヨリ電話アリ 明日松井氏神田ノ店デ正午お待ちストノコト 午前十時ニ変更シテ貰フ

正午ヨリ葉方君ト鳥飼氏ヲ見舞フ 大分ボケテ居ル様デアッタ 丁度一週間程酒ヲ全然ノマナイトノコトニ其爲メダト思ツタノデ家ニ養命酒ヲ取りニヤリノマセル。一杯二杯ノム内ヤ、元氣ガ出タ様ニ思ワレタ 遺言状ヲ書イテ呉レトノコトデアッタガ何ニモ云ワナイノデ一時半葉方君ヲ残シテ帰ル。森川氏正午出社。器材ノ方増資ノ見込全然ナシトノコトデアッタ。朝畑氏ヨリ電話アリ 廿四日來ラレナイトノコトデアッタ

太田ニグライダー部模範的作業方針ヲ命ズ 養命酒ノ見積リ今日間ニ合ワズ 明日局ヨリ値上げ問題ニツキ來場スル由

◆▼149ページ◆▼ 昭和16(1941)年5月22日(木)

天気 薄曇リ

小宮ヨリ六月早々取引スルトノ返昨日來ル

五時工場ニ行キ帰りニ鳥飼氏宅ニヨル 立ツテ新聞ヲ見テ居タ イクラカヨイトノコトデアッタガ昨夜養命酒一杯シカ、ノマナカッタトノコト

上京 九時開店ト同時ニ三越三入り小鳥ノエヲ買フ ナカッタノデカナリヤノヲ一袋ダケ買フ。航空局ニ行キ村上氏ト値上げ問題ニツキ想(マ)談 十時十分美津濃着 松井氏ニ会见 尼ヶ崎ニテ工場買収 本格的ニグライダーヲヤルトノコトデアッタ 差當リソアラ、セコンダリーヲイツ納メラレルカ返事シテ貰フコト 木材ノ単價ヲ知ラセテ

貫フコトヲタノム

十二時時代社デ生田君ト会見 第一ホテルニテ晝食ヲ共ニス 商工省物價局へ組合ヨリ値上ゲ申請ノ必要アリトノコトデアッタガ兎ニ角ソノ問題ニ村上氏ニ會フ必要アリトシテスグ村上氏ト会見 生田ヨリ話シタガ結局○公ニスルカ○停ニスルカニヨツテ○停ナラ組合カラ出サネバナラナイトノコトデアッタガ○公ニシテ貫フコトヲ依頼 万事村上氏ニ一任シテ分レル 桜井氏ニ土曜日招待ス 行クトノコトデ尚木更津ノ支店へ紹介ノ手紙ニ書イテ呉レタ。東日ニヨリ、舟崎氏ニ電話デ一寸話シ又土曜日招ク 合併増資問題デ案ヲネル爲メ葉山ノ別荘へ行ク由。

五時二十分着 広子ヲ東京駅ニ迎ヘテヤル

▲▼1500ページ▲▼ 昭和16(1941)年5月23日(金)

天気 雨後曇リ

六時起床 布施ヨリ整備工場ノ現況ヲ聞ク  
十時出テ十二時協會着、日立ノ井上氏來ラズ代理來 晝食ヲ共ニシ神風發動機ノコトヲ聞ク 大ニ参考トナル。三式ノ事ハ話セナカッタ 篠原氏ニモ會フ。航空時代ニヨリ丁度生田君居タ。今朝石島君カラ聞イタ通り 今朝生田局へ行ツタラ局ノ分組合へ発注スルト云ワレタトノコトデアッタ。誰レガ云ヒダシタノダロウ 松浦アタリガ工政課長ニ云ツタモノラシイトノコトデアッタ 少々オカシカッタ 三時帰宅 組合用件ヲスマセル 明日ノ準備ヲナス 桜井氏來ラレナイトノコトデアッタ由

▲▼1511ページ▲▼ 昭和16(1941)年5月24日(土)

天気 曇後雨

五時廿分起床 七時工場出 準備ス 九時四十分頃渡辺、宮本並ニ木下氏令息等來 星野奈良原氏ト十時海ニ入ル 黒鯛四五枚 ダツ、イカ等大量漁デアッタ。終ツテ貝掘リヲナシ十二時ヨリ舟デ會食 一時頃終ル 二時上陸 渡辺氏急グノデ先キニ歸ス。宮本氏三時頃歸ル 飯沼君來タガオソカッタノデ海ニヨナカッタ 宅ト山縣ノ處ヲ案内ス

畑氏東君連レテ來ル 工場經理ノ爲メ今日ハ永富ヤニ三人來タ  
海軍カラ一人フrootノ検査ニ來ル 來客デーデアッタ  
朝木村氏ニ滑空部能率増進ノ件話ス

▲▼1522ページ▲▼ 昭和16(1941)年5月25日(日)

天気 雨

時事 午後三時二十分中山弘一氏死亡  
終日在宅

來宅鳥飼親戚ノキヨ、ミヨ二人夕方來ル  
宮崎、青木仙ノ助夕食 隊へ帰へス  
ツル姉広子夕食ヲ供ニス  
注射ノ残りデ頭ガ重カッタ 終日雨ヨク降ル 昨日ハホントニ恵マレタ  
清水六君ニ手紙ヲ書ク  
夜早く床ニツク 終日眠カッタ

▲▼153ページ▲▼ 昭和16(1941)年5月26日(月)

天気 曇雨

六時十五分起床 八時前工場出  
局ヨリ石島、亀山両氏來 適性源價ノ爲メ  
稅務署ヨリ二名來 誰レモ分ルモノ居ラナイノデ自分出テ應接ス 無事終了 正午帰  
ル

森川氏來 松戸ノ方電気其他何シモ出來テ居ラナイノデドウナツテ居ルカ聞ク ヤハ  
リヤツテナカッタ 今日請負師鈴木ニ來ル様ニ云ツテアルトノコトデアッタガ來ナイラシ  
カッタ 電気屋ノ方ハ東洋電気ノ主人ト佐藤ヲ京成ヘヤリ申込ミヲ有効ニシテ貰フコト  
ヲタノマセル

午後千葉工業ノ評議員会ニ出席 十五年度決算ト十六年度予算ヲ審議ス  
夕方ヨリ雨降ル  
家内ハ広子ヲ東京見物ニ連レテ行ク

▲▼154ページ▲▼ 昭和16(1941)年5月27日(火)

天気 曇リ

石島氏來場 適性價格調査 大分調査結果悪ソウダ  
恵美子ヲ連レニ行キ組合ノ部品單價表ヲ記入サセル  
晝前兄ヨリ電報アリ 中山弘一氏死亡明日葬式トノコトニ行コトニ決ス 晝食後帰宅  
仕度シテ二時ヨリ上京 篠原氏來テ呉レトノコトニ協会ニヨル 不在 文部省ニ行ク 誰  
レモ居ラズ。警視廳ニ行キ吉村君ニ會ヒ用ガアルトノコトニ後刻中央亭會フ約束ヲナ  
ス。五時半頃來 ガソリン、トウナン事件ヲ話シ一日來テ呉レル約束ヲナス  
篠原氏ニ會フ 夕食ヲ共ニス 台湾ノ大庭氏カラ七月十日迄二十台ホシイトノコトデア  
ッタ 東洋ノ分ヲ廻スコトニホ、腹ヲキメテ七時四十分ニテ出發ス

◆▼155ページ◆▼ 昭和16(1941)年5月28日(水)

天気晴

全然眠レナカッタ 五時顔ヲ洗ツテ食堂ニ行ク

六時四十分大坂着 地下鉄デ帰宅後八時半墓参シテ梅田ニ行ク 明日ノ急行券ナク  
三十日ノ富士ヲ求ム

東洋ニ立寄り明日中ニ協会ノ作業予定ヲ作ルコトヲ依頼ス 台湾ノ十台ハ、カゴシマノ  
十台ガアルノデ間ニ合ワナカッタ。帰宅後福田ニ電話シ葉君ガ出タノデ明日ヤハリ予定  
ヲ聞クコトヲ依頼ス

美津濃ハ朝八時頃電話シテ同ジク予定ヲ聞クト外ニ山廻リノ人ニ會ヒタイ旨タノム。コ  
チヲノ電話ヲ皆知ラセテ居ク

二時過ぎ中山氏ノ祭場ニ行キ四時終ル迄手傳ヒヲナス 四時半姉ノ宅ヘ行キ今夜食事  
ヲ共ニスルコトヲ話シタガ、留都(ママ)番ガナクテ帰ツテ來テ時間ガアツタラ行クトノコ  
ト。明バンヲ更ニ約シテ帰ル

◆▼156ページ◆▼ 昭和16(1941)年5月29日(木)

天気晴

七時起床 美津の梅津君ト電話デ話ス 七月カラ月産十台程トノコト 木材ノ人出張  
中トノコト 昨日ハ居ルトテ居タノニドウモ不心(ママ)切ダ

今宮中學ニ行ク 校長不在 グライダーノ先生ニ話シ二日ニ兄ニ行ツテ貰フコトトス。

福田ニ行ク 生田氏昨夜東京ヲ立ツタ筈トノコトデアッタ。数件ノ用事ヲスマセ大坂ニ  
帰り大毎ニヨリ西田忠右門君ニ何年振りカデ会ヒ大蔵大藪等ト一所ニ晝食ヲナス。東  
洋ニヨリ第二飛行場ニ行キ南波氏ニ会ヒ帰途東洋ニヨリ用件ヲ終リ朝日ニ立寄り帰宅  
姉コレナイトノコトニ一人映画ヲ見ニ行ツタガニュースダケニシテ帰ル

京都ノ谷田カラ電話アリ 卅一日朝津田沼ヘ行クトノコト。宮崎ヘ今夜九時電話スル様  
電報シタガカカラズ

姉來 九時頃迄三人デ話シ會ヒ十時過ぎ湯ニ入り床ニツク

◆▼157ページ◆▼ 昭和16(1941)年5月30日(金)

天気晴

六時四十八分大坂発 三時二十五分東京着 四時半津田沼駅ヨリ電話デ社ノ自動  
車ヲ呼び帰社ス

森川氏マダ居タ 今朝十時ヨリ器材デ重役会ヲヤツタノデ明朝來テ呉レトノコトデア  
ツタ由 乙竹通知ヲヨコサナカッタ。宅ヘ手紙ヲ持タセテヨシタリシテ居タ 協会局連

絡シテ、工具拂下手續キシタコトヲ聞ク 清平ヨリ、町田、藤本、ケンカシテ町田一派  
ガ皆辞表ヲ出シテ來タトノコトデアッタ  
來信ヲ見返信出スモノハ出シ、河合へ決議録判ヲ押シテ貫フ爲メニ送ル

◆▼158ページ◆▼ 昭和16(1941)年5月31日(土)

天気 晴

六時起床 七時四十分工場出 整備部ゴタ、ノ経緯ヲ聞ク内時間九時ニナル。森川  
氏來 昨日ノ重役会ノ話シヲ聞ク 合併増資ノ件デアッタ由 上京 十時十分器材着  
舟崎氏畑氏、清水氏外顧問元松氏ノ四名 後辨ゴ士來 舟崎氏ヨリ合併増資シテ千  
万円ニスルコト 三日二両社ノ重役会議ヲ開クコトノ話アリ 自分ヨリ千万円ダケデハ  
ダメ アト増資出來ルヤ。航空局ノ諒解ハ工政課長デハダメ 政治的諒解ガ必要ナルコ  
ト。試作ト職工養生ニ相當犠牲ヲ覺后ヲ要スルコトヲ説ク  
飛行協会ニ行キ東氏、其他懇談。局ニ行キ一時佐々喜ニテ京都ノ谷田ニ会见 最(ママ)  
非ヤリタイトノコトデアッタガコトワル 結局職人ハ三人預ルコト ソレラガ帰ッテ仕事  
ヲシタ場製品ヲ買ッテヤルコト ソレニ對シテハ資材ハヤルコトダケハ、認メルコトトス  
三時半帰場後六時迄社用  
夜上岡君遊ビニ來ル

◆▼159ページ◆▼ 六月

住宅問題  
木工増員ノ件  
社員精神ノ改善ノ事

◆▼160ページ◆▼ 昭和16(1941)年6月1日(日)

天気 曇小雨

七時起床 九時工場出 手紙ノ整理組合ノ記帳ナド終ル 一時  
森川氏出社アリ 舟崎氏ノ増資案ニツキ意見ヲ交換ス。クラブ器材買収方ニツキ一寸  
話シテ居ク

一時過ぎ帰宅 晝食後二時頃吉村君來 金太郎呼ビニヤッタガ不在 太田ヲ呼ビ聞ク  
居川ニ有利ナ口振りデアッタ。工場ニ行キ現場ヲ見セ居川ヲ呼ンデ當時ノ状況ヨク話  
サセル。終ッテ四時半帰宅

夕食後久々田醫院ト竹春屋へ吉村君行ク 久々田不在 竹春屋ヨッパッテ問題ニナラ

ズ人ダカリガシタノデ駐在所へ連レテ行ツタ由 結局駐在巡查モ不在デ帰シタトノコト 駐在へ一應話シテ巡査ダケニ止メテ居イテ貰フコトトシ久々田醫院へ自分カラ一ツ話シテ見ルコトトシテ八時帰ル

▲▼161ページ▲▼ 昭和16(1941)年6月2日(月)

天気晴

五時半起床 定刻出社 朝礼後人ノ和ニツイテ十五分ばかり話ス。最近ノケンカ事件ノ爲メ一應云ツテ居ク必要ヲ感ジタ爲メ

佐藤孝吉、昨夜宍倉醫師ガ顔色変ヘテ佐藤ノ宅へ來タトノコト 熊村帰リニヨツテ会ツタラシイ。ガソリンヲ持ツテ居ルコトトソレハ木下カラ買ツタトノコトデアッタ由。ソレナラ何ンノ爲メニ佐藤ノ處へ行ツタカト佐藤モナジリ、ツヒデダカラ佐藤宇賀ガ之レニ關係アルト自分ハ考ヘ心配シテ居ルノダト話ス。コンドノコトニハ絶対ニ關係ナイト云ツテ居タガ、アヤシイト思ワレタ 夕方宍倉へ今夜來テ呉レト電話ス 四時ニ來ル由 組合請求書發送 羽布百三十八反ツク

▲▼162ページ▲▼ 昭和16(1941)年6月3日(火)

天気晴

定刻工場出 九時ヨリ上京 局ヨリ工政課ニヨリ十一時交詢社ニ行ク 航空器材伊藤飛行機合同業重役会議 出席者舟崎社長、元松顧問、畑、今里、工藤、森川、自分ト新ラタニ這入ツタ辨ゴ士君トデアッタ 舟崎氏ヨリ印刷物ニツキ説明アリ 工藤氏ヨリ多ク意見出森川氏オモクロシイロデ意見ヲ述ベル 結局五日夜迄ニ各々ノ意見ヲマトメテ出シテ呉レトノコトデアッタ 之デ終ル

謝文達津田沼へ來タトノコトデアッタガ帝国ホテルへ帰ルトノコトニホテ(ママ)ニ行ク マダ帰ラズ 協会ト、東日ニ行ク 東日ヨリ天王寺君ト原氏ニ會フ。三時謝帰ル ホテルニテ會フ トテモ太ツタノニハオドロイタ 途中デー寸會ツタノデハ分ラナカッタロウ 五時頃大蔵モ來 六時迄話シ明後五日再津田沼へ來ル約束ヲナス 大蔵出發十二日ノ由 航空神社へ参詣ノ爲メニモ來ルコトトナル 夜注射

五十回目ノ誕生日 御馳走アリ

▲▼163ページ▲▼ 昭和16(1941)年6月4日(水)

天気晴

六時起床 根岸君ニオコサレル。氏ノガソリン機体ノ分ヲ二百リッターヌカレタトノコト。

自分モイヨ、警察ノ手ニカケルコトニ決心ス。森川ノ諒解モ得午後宇賀ニ警告的ニ話シ  
ヲナス。大口ノ件ニハ宇賀モ佐藤モ関係ハナイモノト思ワレル  
鳥飼親戚ノ者三人來。布施サンニ來テ見テ貰フ。セキズイロウデ多分梅毒カモ知レヌト  
テ血ヲ取ツテ帰ツタ

今日ハ昨日ノ注射ノ氣ガ残り終日氣分スググレス上京ヲ中止ス

▲▼164ページ▲▼ 昭和16(1941)年6月5日(木)

天気 曇晴

六時起床 八時工場出 組合ノ釘配給發送ヲナス  
十時過ぎ謝、大蔵、中三人デ來ル 航空神社参拜 今日初メテ内陣ヲ開キホコリヲ、  
ヌグウ 終ツテニ田浜ニ晝食ニ行ク 大蔵ナド知テ居ル藝者ヲカケタガ誰レモ居ラズ  
一人ダケ婆サンガ一人來タガヨク知ラナイラシカッタ。奈良原、根岸、鈴木、兄、清平  
等九人会食ス 一時終ツテワカレル 大蔵ノドイツ行送別会ヲ兼ネル  
帰場 更ニ夕方迄工場勤務

朝工場へ出ル前ニ会社合併ニ関スル私見ヲ書イテ居ク。夕方舟崎氏へ届ケル

▲▼165ページ▲▼ 昭和16(1941)年6月6日(金)

天気 風雨

夜明ケヨリ風雨強シ 午後雨止ミ夜晴レル

九時器材ニヨル 矢野、板垣、元松氏ニ會フ。社長會エズ。十時時代社ニ行ク 生田來  
ラズ 十時半協会ニ行ク 十一時過ぎ生田協會ニ來テ貰フ 熊本ノ分生田引受ケルト  
ノコト アキレタガヤルト云フノデヤラセルコトトス。津田君ニ器材ノ件話ス

正午過ぎ宮原氏來 一時頃本庄氏來 下ニ晝食ヲ共ニス。適性價格ノ件、組合外ノ  
メーカーニ関スル件、ソアラ一試験飛行ニ関スル件ニツキ會議ヲシタイトノコトデアツタ  
ガ事前理事会ヲ開クコトヲ申合セ九日生田氏來タコトニキメルコトトス。

局ニ行キ資材其他ニツキ打合セ四時帰ル。船橋ニテ大坂ノ久保田氏ニ會フ 夕食ヲ共ニ  
ス 家内明日ノ買物ニ來タノデ共ニ帰ル

帰途野口氏ニヨリ尾鷲ノコトヲ聞イテ帰ル 今日ハ非常ニクタブレタ

▲▼166ページ▲▼ 昭和16(1941)年6月7日(土)

天気 晴

七時過工場出 廻間ニ會ヒ昨日ノ模様ヲ聞キ自動車ニテ船橋ニ行ク 兄ハ行カナイ由  
久保田氏ハ九時十分ニ乗ルベク上京シタトノコト 八時四十分ヨリ柏へ行ク 九時四十

八分柏ニテ乗換 大川氏出信田氏ト同乗 十一時石岡着  
訓練所開キ式ニ参列 立ッテ居タノデ大ニクタブレタ 式後宴ニ入り終ッテ飛行アリ  
三時頃ノバスニテ駅ニ帰り三時四十分発ニテ帰途ニツク 松戸下車 墓参ノ予定ノ處自  
動車ナクスグ船橋ニ帰ル。久保田大川氏工場見學ニ行キ後チ來 九時頃追話シテ帰ル  
十時頃善照寺サン來テ午後八婦人会ノ人達ガ御詠歌ヲ夕方迄ヤツタ由  
石岡ヲ見テ感ジタコトハ教育方針ヲ根本的ニ改メルベキダト思ツタ。アレデハイツ迄モダ  
メダ。先ヅ師範□養生ヲ一ケ年間訓練シテ立派ナモノトスルコトガ第一ダ

▲▼167ページ▲▼ 昭和16(1941)年6月8日(日)

天気 晴

七時起床 朝食後工場出 組合用件ヲスマセ正午ニ及ブ。帰宅。晝食後一時過ギヨリ  
一時間程眠ル 後チ氣ニナツテ居タ朝顔ヲ小鉢ニ植替ヲナシ庭ノ竹ヲカリ水ヲヤル  
兄來  
夕食 酒一本デヨイ氣持チニナル

▲▼168ページ▲▼ 昭和16(1941)年6月9日(月)

天気 晴

定刻一寸遅レル 今朝久シ振りデラジオ体操ヲナス  
廻間ヨリ様子ヲ聞キ尚用事ヲ命ジ宇賀ニモ今日ノ登記ノ打合セシテ九時ヨリ上京。十  
時過ギ時代社ニテ生田君ト會ヒ委任状ニ捺印ス 日本小型ニ電話シ正午本庄氏ト會  
見約束ヲナス。丸ビルノ野村銀行ニ行キ東洋金属ノ小切手現金ニ代ヘ器材ニヨル 誰レ  
モ居ラズ協会ニ行ク 篠原君ニ原價表ヲ示シ、摺沢大佐ニ生田君ノ機体今月末納入ヲ  
報告ス

本庄氏生田氏來 晝食後理事会ヲ開ク 協会デハウルサイノデ東日会館ニ行ク 三時  
迄組合強化ニツキ両者ノ意見ヲ聞キ、取マトメテ実行策ヲ作ルコトトス 理事長ノ事務  
進行ニアキラナイ様ナ口振り見ユ  
日特ニ舟崎社長ト會見 賃金ノ方ハイタイ處ヲツカレタガ大体心配ナイコト 足立工  
場ハ部品工場トスルコト 自分ニ副社長ニナツテ貰ヒタイコト等話シアリ 桜井氏ニ會テ  
貰ヒタイトノ希望アリ 明日木更津ニ行キ明後日待ツコトトス。広鋼帯ノ横山氏ニ會ヒ  
六時帰ル 吉村君ニ會フコトヲ忘レタ

▲▼169ページ▲▼ 昭和16(1941)年6月10日(火)

天気 曇後晴

五時半起床 体操 ホットケーキ 工場出 鳥飼氏見舞フ 散髪シテキレイニナッタ處デアッタ 今日慶應病院へ入院スル由デアッタ  
九時前森川氏來 佐藤ガアヤシソウダカラ、内密ニ処置シテ減俸ナクナントカシテハドウカトノコトデアッタガ、自分ハ警察署ノ手ニユダネルコトニスル旨言明ス  
九時半千葉着 木更津行八十時四十分ヨリナク一時間四十分程待ツ。星野氏ト共ニ木更津行キ 正午晝食後支廳ヲ訪フ 目的ノ本多大佐不在。岩本少将林主計中佐ニ会ヒ、上上ニテ帰ル 二時ノバスニテ四時帰宅 今日ハ朝カラ眠クスグ横ニナル  
夜兄清平ト夕食 清平仕事ニ不平ヲ云フ 人ノコトヨリ自分ノ仕事ヲ人ニ指ササレナイ様ニセヨト云フ  
金太郎ヲ呼ビニヤリガソリン問題ケイサツニ持チ出スコトヲ話ス

▲▼170ページ▲▼ 昭和16(1941)年6月11日(水)

天気 雨

今朝九時迄ニ來テ呉レトノコトニ定刻工場出 木村君ヨリ佐藤ノ件話シテ聞キグライダーノ製作予定ヲ立テルコトヲ命ジ清平ト上京 器材ニテ舟崎氏ニ會フ。ガソリン問題ニツキ自分ノ決意ヲ話シタ處絶対ニ内所デスマセテ呉レトノコトデアッタ 共ニ局ニ行ク桜井氏多忙ノ爲メ書類ダケ預ケ、工政課長ニハ舟崎氏ヨリヨク説明シテ書類ハ後刻届ケルコトニシテ分レル 清平ヲ松尾氏ニ照(ママ)介 泊氏ト資材ノ件打合せ、出ル 日本特免ニ伊東氏ニ會フ 商工省ヨリ十八コウリ文部省分トシテ廻ツテ來タノデ四一六ノ分ニ入レテ織ルノダガ需給状態ヲ聞キタイトノコトデアッタ 調査報告スルコトトス 讀賣ニヨリ事故ノ見舞ヲ述べ清平ト分レ散髪後、吉村君ニヨリ相談 内所デ佐藤ヲ一度調べテ貰フコトヲ打合せ、文部省ニ秋田氏ニ綿布ノコトヲ話ス 大坂ノ分ノコトハダメ。アテニシナイ方ガヨイトノコトデアッタ  
五時大森ニ行キ野武士會ニ出席 九時散會 十一時帰宅ス

▲▼171ページ▲▼ 昭和16(1941)年6月12日(木)

天気 雨

終日雨 ヌツクリ眠リ八時半工場出  
午前中事ムヲ取ル  
森川ニ昨日局へ行ツタコト、ガソリンノ件舟崎氏ノ意見ヲ話シ協議 佐藤宇賀ニ対スル件ハ事実ノ眞疑ヲタシカメル上善処スルコトニシ調査ヲ森川氏ニ一任ス  
午後一時野口昇氏訪問 尾鷲カラ陸軍大藏文部大臣ニ興亜觀音ノ書ヲ書イテ貰ヒタイトノ依頼ノ件 自分ニ其暇ガナイノデ急グラシイノデ野口君ニ相談ス 野口氏コトワルトノコトニ頼ンデ居ク 奈良原氏今週中休ムトノ手紙來 昨日モ見エナカッタ筈ダ

協会グライダーノ件不明ノ處メーカーニ照(ママ)介手紙出ス 當社ノ分木村、太田ト  
打合せAニヲ八月間ニ合セサセルコトトス 四時半帰ル

▲▼172ページ▲▼ 昭和16(1941)年6月13日(金)

天気 雨後曇

終日工場 組合ノ用件大分方ツク  
明日上京予定ナレドモ今夜注射スレバ明日一日気分悪イモノト思ワレルノデ清平代リ  
ニ上京サセルコトトス  
入浴 醫者ヲ待ツタガツヒニ來ナカッタ

▲▼173ページ▲▼ 昭和16(1941)年6月14日(土)

天気 曇リ

朝中々寒カッタ  
定刻出社 組合ノ用件全部終ル 田中今日モ休ンダノデ呼びニヤリ文部省型部品ノ  
単價記入ヲヤラセル  
午後一時頃カラ森川氏招待ノ日航羽田支所ノ人達 東京飛行機カラニ三人 局カラ  
四五人來場ス 朝ノ寒サデ折角ノ潮立ダガ魚ガ少ナカッタトノコト  
帰りニ畑へ寄ル 兄、姉、妻、デー生懸命ヤツテ居タ  
組合ノ用件終ツテ初メテ工場ヲ省ミル事ガ出來タ 作業能率ヲ高メル必要ヲ認メル

▲▼174ページ▲▼ 昭和16(1941)年6月15日(日)

天気 曇リ

七時半起床 久シ振りデおかゆ 三杯ヲ喰フ  
終日庭ノ手入レヲシタガ一向目立タナカッタ 家内ハ午前中畑へ 午後兵隊送り  
十時頃京都ノ宮崎君來 京都ニグライダー工場新設ニツキ自分カラ中止方ヲ手紙ヲ  
出シタコトニツキ政府ノ方針デアレバ止ムヲ得ナイトノコトデアリ且ツ経営ハ西垣氏ガ  
ヤリ宮崎ハ出資ダケニ止メル由デアッタ。ノデ組合、局共ニ新設ヲ嬉(ママ)バナイカラ此  
際アキラメル方ヨカロウト話シ結局止メルコトニキメル。コレデサツパリシタ

▲▼175ページ▲▼ 昭和16(1941)年6月16日(月)

天気 晴

思ワヌ上天氣トナル アツカッタ

定刻出社。乙竹ヨリ服務規程受取ル。木村新ヲ呼び金工部其他ノ状況ヲ聞ク 今日  
ヨリノ廃品回収週間ニツキ明日話シテ呉レトノコトニ原案ヲ作ル様命ズ  
九時ヨリ上京 文部省秋田同道日本特免へ交渉ニ行ク 帰ッテ松下君ト食事ヲ共ニシ  
大坂デノ話シヲ聞キ自分ノ今ヤリツ、アルコトヲ話ス 組合員ニ不満アルラシイ様ニ感  
ジラレタガ自分ノ話シデ満足シタラシカッタ

協会ニ行キ講習会ニ必要ナル機体ノ件ヲ聞キ手配スルコトトス 篠原氏ニ會ヒ事ム所ノ  
件聞ク マダキマラナイノデー時、河合へ居クコトトス。地方ノ機体不急ノモノハ學校  
急グ處へ廻スコトノ諒解ヲ得

六時帰宅日特ニヨリ広鋼板ノ宮崎へ照(ママ)介ヲ貰ヒニ行ク 帰ッテ河合へ事ム所ノ件  
タノミニ寄り、器材ニヨリ畑氏ニ會フ 会社斎藤氏來ルコトニキメタ由 明後日工場へ社  
長畑両氏來ル由。社長へ服務規定ト組合役員会申合書キヲ渡シテ貰フ様タノシデ帰ル  
廻間九時ヨリ寝テ居タ 起シテ黄銅組合へ行ク様命ズ

▲▼176ページ▲▼ 昭和16(1941)年6月17日(火)

天気 晴

今日ハ大分暖カカッタ

定刻出社 清掃週間ニツキ其趣旨ヲ話ス

今日ハ恵美子ヲ連レテ行キ配給其他ヲ手傳ワセル 大ニハカドル

氣象台ノ八九式試験検査飛行終了ス

工場ヨリ帰途葉方ニ會フ 池田氏カラノ電報デ午後三時半死シタトノコトデアッタ

▲▼177ページ▲▼ 昭和16(1941)年6月18日(水)

天気 曇夜雨

七時四十分出社 三四年ノ學科一時間 其間ニ舟崎氏來社 今期決算表ヲ見ル 十  
一万余ノ決損ガ出テ居タ。之レハ仕掛品ガ正味ダケシカ出テ居ナカッタ爲メデアッタノ  
デ訂正スルコト 賄費ガ特ニ多カッタコト 受注ガ非常ニ少ナイコトニツキ舟崎氏ヨリ注  
意アリ 長山数氏立川氏同道來場 三時過ぎ帰ル

四時相羽氏小暮氏來 工場見学後發動機作業ニ関シ相談 五時三田浜樂園ニ清平モ  
行キ夕食ヲ共ニシ八時散會ス。清平宅ニヨリ九時ヨリ帰宅  
今日正午鳥飼氏火葬ヲ行フ 自分行ケズ家内ヲヤル

▲▼178ページ▲▼ 昭和16(1941)年6月19日(木)

天気 雨

終日梅雨ラシイ雨

昨日松戸へ行ツタ木村、佐藤ノ報告ヲ聞ク

十時ヨリ上京 商工省ニ行ク 市橋氏不在。東京広帯鋼組合へ金ヲ支拂ヒ、銀坐ニ出  
伊東屋デ組合人名簿ヲ求メ地下デ晝食シテ、晝夜銀行ニ行キ小型立替金ノ小切手ヲ  
現金ニ替ヘ三越シニ行キ久シ振リデ七階ヲ見テ帰途町屋ノ成工社ニ行ク。場末ラシイ  
町ノ有様ヤニオヒガスル 広帯ノ受取リヲ依頼シ型ノ出來タモノカラ作ルコトヲタノム。  
美津野(ママ)カラ電話ガアツタ由 田島氏ト話ス 台湾ノ分ニ羽布ヲ送ツテ呉レト村上  
氏カラ話シガアツタ由 ミヅノニハナイトノコトニ伊藤カラ送ルカラ送り先キヲ知ラセル  
様タノム

小宮膳本來ラズ 請求ノハガキ出ス

▲▼179ページ▲▼ 昭和16(1941)年6月20日(金)

天気 雨後曇リ

夜明ケ頃ハ大雨デアツタ 午後止ミ次第ニヨクナル 定刻出 乙竹ヨリ出勤表ヲ持参  
余リ遅刻ノ多イモノハ此ノ表デ加減シテハドウデシヨウカトノ相談アリ。清平出社後見  
セル 清平ガ遅刻組ノ二番目デアツタ 例ニヨツテ乙竹ナドヲ例ニシテ之レヲ標準ニサレ  
タクナイトノコトデアツタガ其不心得ヲシカル。井倉君時代ニカンガミノ爲メ出勤時  
間ヲオソクシタノデアツタ 其當時ハ正時間ニ出テ居タノガ近頃心持チニ面白クナイカ  
ラトテ自カラ、オクレテ居イテ型式ニトラワルモノトノ云ヒ分ハヨロシクナイ 型式ニアラ  
ズ規率(ママ)ヲミダスコトハ許サレナイト申渡ス  
午後文部省型ノ部品単價調ベヲ行フ  
夕方ニ頭ガイタクナツタ 五時帰宅 海軍フロート十個ノ内五個來ル 百式機体モ百  
台位アルガ人が少ナイノデ加減シテ居ルトノコトデアツタ

▲▼180ページ▲▼ 昭和16(1941)年6月21日(土)

天気 曇小晴

定刻出 清平ヤハリ遅イ

廻間航本へ直。パイプ鉄材方面ニヤル

朝八時四十分ヨリ奈良原氏ノ代講ヲ一年生ニヤル 今日ハ皆ヨク聞イタ 航空歴史ヲ  
説ク

帰タラ舟崎氏來テ居タ 兄松戸へ内金ノ支拂ニ行ツタ由。参吉ヲ呼ビ社長森川氏ニ昨  
日ノ霞ヶ浦ノ模様ヲ話シサセル

正午前社長銚子へ行ク 星野氏食後帰ル

午後少時部品價格調査ヲ本田ヲ呼ンデナス  
一時半醫者ヲ待ツ爲メ帰宅 床ニツク。頭、クビ、ヒザ、コシ等痛イ處ダラケデアッタ  
八時半布施サン來 身体ハ異状ナイトノコトニ注射ヲナス

▲▼181ページ▲▼ 昭和16(1941)年6月22日(日)

天気 小雨後晴

朝頭モヨク身体ノイタミモ取レテ居タ 昨夜エナルモンヲノンデ寝タノガ利イタカト思ワ  
レル

起キテ見タガ少シ眠氣ガシタノデ床ヲシカセル 新聞ト不動尊ヲ讀ム  
午後正午兄來 晝食 ニユースヲ聞イテ後チ工場へ行ク 下痢シテカガ這入ラナカッタ  
皆デ工員ノ昇給ニツキヤツテ居タ。丁度皆居タノデ今期決算ノ結果ヲ話シ皆ノ奮勵ヲ  
ウナガシテ、帰宅。又床ニツク

▲▼182ページ▲▼ 昭和16(1941)年6月23日(月)

天気 曇小雨

一度工場出 九時ヨリ上京 航空局物資係へ資材ノ礼  
工政課村上氏ニ七月五日ノ總會ノ件、朝日へ羽布發送ノ件打合ス 工政課長總會出  
席ノ諒解ヲ得 会社合同ノ件、畠山氏ニ文部省型部品ノ件圖面ヲ渡ス

器材ニヨル 丁度元松顧問ガ桜井部長ニ會ツテ來テノ報告中デアッタ 事業法ハ一寸コ  
マルトノコトデアッタ由 工政課長モ事業法ノ必要ハナカロウトノコトデアッタガ自分ハ  
事業経営上ヤリヨイ様ニシテ貫ヒタイト希望ヲ述ベテ來タコトヲ話シ結局新機製作ニ  
進ム方針トシテ佐藤閣下ニ明日會フコトヲ話ス 社長モ一所三行クトノコトニ八時半松  
戸駅デ會フコトニキメル 商工省物價局ニ行ク 市橋氏外一名ニ會フ 何ニモ知ラナイ  
ラシク金田事ム官トノ連絡(ママ)ガ取レテナイラシイ

協会ニ行キ地方訓練所ノ納メ場所通知シテ貰フコト 森角氏ニC航空ノ見積書公定價  
格ノキマル迄自分保留スルコトニシテ受取ツテ歸ル。前田病院ニ讀賣操縦士ヲ見舞 航  
空本廠ニ物資ノ礼ニ行キ寢山技師ニ初メテ會フ 東日ニヨル 來年ソアラノ優秀機デ  
競技会ヲヤリタイ希望ヲ有スル話シアリ。

四時有楽町駅前ニテ清平ニ會ヒ一所ニ歸ル 今日ノ局行キウマク行カナカッタ由

▲▼183ページ▲▼ 昭和16(1941)年6月24日(火)

天気 小雨曇

七時十分宅ヲ出八時十五分松戸駅前着 殆ト同時ニ社長ノ車來 見ルト森川一人乘

ツテ居タ 今朝舟崎氏ヨリ電話アリ來タトノコト 工場ニ行ク 初メテ見ル 整地ヲヤ  
ラネバナラナイ。森川氏ニ今日佐藤氏ト会见ノ趣意ヲ話ス 九時十分ヨリ十時二十分  
頃迄佐藤氏ト話ス 局トシテマダ練習ツイテハ何等キマリナク研究中ノ程度ノ由 試  
作スルナラ大ニ自發的ニヤルベシトノコトデアッタ。試運轉台ノ件ハ地方養成所へ廻ス由。  
發動機價格ノ件五百、千、千以上ニ区分シテキメル様云ヒツケテアルトノコト 自分ト  
同感デアッタ。マダ出テ來ナイ由 最後ニ舟崎氏ノ意向トシテ事業法ノ適要(ママ)ヲ受  
ケタイコトヲ述べ協力ヲ依頼ス ソレハ必要ナコトト賛意ヲ持ツテ居ラレタ  
午後ズット組合作用件多ク多少明日ニ残ル 新ラシク器材ヨリ來タ遠藤會計ニ会フ

▲▼184ページ▲▼ 昭和16(1941)年6月25日(水)

天気 晴

久シ振リノ晴レ

手許ノ金無クナツタノデ工場立替ノ金ヲ書イテ出ス 森川野武士会ト翼賛会ノ会費ハ  
出セヌトノ話シ 一應取ラヌ事ニシタガ氣持チ悪ルカッタ

組合ノ通信事務ニ一時過ギ迄カ、リ其後部品價格整理ニ四時迄カ、ル 木部全部終  
了ス

家ノコト小宮へハガキニヨリ電話スル 來テ呉レトノコトニ五時ヨリ社ノ自動車デ行ク。先  
日おムコサンノ判ガ入ルト云ツタコトニツイテ大變氣ニシタラシイ。ムコガアレバ判ガ入ル  
トノコトニ一應聞イタ迄ノコト。契約トカ手金トカ云ツタノデ、今月中ニ取引スルコトヲ  
迫ル。スレバ契約ノ必要モナイコトヲ教ヘル 婦人デハ分ラナイトノコトニ主人ノ意ヲ聞ク  
ハガキヲヨコスコト 尚四月以來ノ家賃ヲ取ルトノコトニ余リ人ヲ馬鹿ニシタ云ヒ分ナノ  
デ少シ怒テ男子タル御主人ノ意ヲ聞カレタイト云ツテ帰ル 四月一日両金トシテ千五  
百円持タセテヤツタ時ハ身体ガ悪カッタノト免(ママ)倒ヲサスノデ御返シシタトノコト  
免(ママ)倒クサクテ返シテ居イテ契約ガナイカラ家賃ヲ取ルナドトハ三百代言ノ云フコ  
トダト大ニタシナメテ居ク

今日ハ朝ト云ヒ夕方ト云ヒイヤナ日デアッタ

奈良原サンヲ見舞ニヤル

▲▼185ページ▲▼ 昭和16(1941)年6月26日(木)

天気 雨曇風

五時半起床 定刻前出社

終日組合ノ用件 注文ニ対スル返信、広帯鋼ノ發送案内書發送 午後文部省型部品  
價格調べ

五時帰宅 南風強ク鳥小屋ニエミ子ト風除ケヲナシ朝顔ヲ無風地へ入レル

新聞ヲ讀ム 夕食 今日ハウドン 家内自マンノ味ハ悪クハナカッタ  
長島君ニ安岡へ金七十円毎月ノ分コトツケル

▲▼186ページ▲▼ 昭和16(1941)年6月27日(金)

天気 雨

終日小雨降ル

工場ニ出ズ スグ上京 九時過ぎ局着 村上氏ト会谈 組合ノ件主トシテ話シ、桜井部長ニ木更津霞ヶ浦ノ報告ヲナス。親切ニ話シテ呉レタ 元松閣下ガ來タデシヨウト話スト何ニヤラ訳ノワカラヌ事ヲ云ツテ居タトテ問題ニシナイラシイ  
十時十分交詢社着。初メテ上森氏ニ會フ 中々ハッキリシタ男デアッタ 会議ノ目的ハ事業法ガ六ヶ敷イニツイテ増資ヲ如何ニスルカノ問題デアッタ 結局倍額増資デ進メ一般応募ヲアテニセズトモ増資可能ノ堅実方針デ進ミ事業法ハ事業法デ進メルコトニ決定 一時散会 協会、文部省、商工省物價局、センイ局ニ行ク  
四時半帰宅

▲▼187ページ▲▼ 昭和16(1941)年6月28日(土)

天気 雨

定刻出社 終日降ル 九州中国関西ト昨日アタリカラ雨ノ被害ヒン、ト傳ワル。  
三時丁度木村氏來。成層圈ニツキ談話アリ 皆ニモヨク、ワカル話シデアッタ  
終ツテ自宅ニテ作業ノ木村、清平、兄ト會食ス 八時頃帰ル  
兄小宮今日取引シタシトノコトニ午後七時指定ノ時間ニ行ツテ貰フ。書類ハ全部作ツテ持ツテ金モ四千円銀行ヨリ 千円組合ヨリ一時借りテ持参シテ貰フ

▲▼188ページ▲▼ 昭和16(1941)年6月29日(日)

天気 曇少晴

十二時半頃ヨリ目ガサメテ眠レズ五時頃ヨリ少シマドロム 六時半起床 散髪後朝食  
工場ニ行キ正午迄組合ノ日誌ヲ記入 福田ヘスプルス發送通知、飯国氏へ手紙ノ返事。工場ヲ見グライダー部B八作ルコトニキメル。

午後晝食後少シ横ニナル 三時半ノニュース後部品價格調べヲ行フ 九時終ル

▲▼189ページ▲▼ 昭和16(1941)年6月30日(月)

天気 晴

今日八寒ニ熱カッタ

終日工場ニテ文部省型部品價格 今日八金具ヲヤル  
角ノ長男昨日カラ熱高ク今日夕方八四十二度モアルト云フノデ布施サンニ來テ貰フ。  
兄千葉ノ登記所デ小宮ノ書類不備ノ點ニツキ(小宮トミノ番地ガ何番ノ三ト云ノ三  
ガヌケテ居タ)調査ト対策ニ行ク  
家取引ヲ終ル

▲▼190ページ▲▼ 七月

社員精神ノ改善

木工増員

住宅問題

▲▼191ページ▲▼ 昭和16(1941)年7月1日(火)

天気 晴

定刻前出社

安全月間ノ第一日トシテ全員ニ一話ス

今日八部品價格ハカドラナカッタ。

各課長ヲ集メ松戸移轉ノ件、更ニ森川氏ヲ加ヘ松戸發動機引受價格ニ關スル件決定

佐藤、木村トモニ命ズ

午後川崎忠三郎氏來 グライダー検査其他ニツキ意見ヲ交換ス

商工省物價局ヨリ四名見学ニ來ル

▲▼192ページ▲▼ 昭和16(1941)年7月2日(水)

天気 曇後晴

五時半起床 ニュースヲ聞テ定刻出社

八時ヨリ社ノ小型<sup>三</sup>デ出カケル 一路羽田ニ行キ東日ヘガソリン昨年借リタ五カンヲ返シ  
東京飛行機<sup>三</sup>デ木下氏宮本氏ニ会ヒ今回ノ会社合併名儀(ママ)変更ニ關スル自分ノ氣  
持チ何等ワダカマリナキコトヲ告ゲル。佐野荒木ニ會フ 小型ニ行ク 丁度晝過ぎタノ  
デ本庄氏帰ツタトノコト 本庄製作所ニ行キ決議録ニ判ヲモラウ。内海飛行協會ニヨリ  
釘ヲ受取ル 航空時代ニ渡辺君ニ會フ 昨日井上大将ガ昨年書イテ貰ツタ書ヲ返シテ  
呉レトノコトダトノコトニ様子ヲ聞ク 自分カラ挨拶ヲシナイカラトノコトデアッタ由  
早速行クコトニス。東洋ニヨリ局ニ行ク 三木課長ニ會フ 工政課、村上氏ニモ會フ 五

日來ル由 松尾課長ハ大坂へ出張 泊氏モ差支アルトノコトダガオソクカラデモ來テ貫ヒタイ旨述ベル。  
成工社ニ行キ七時過ぎ帰宅ス 少々ツカレタ

◆▼1933ページ◆▼ 昭和16(1941)年7月3日(木)

天気 曇リ

終日在所 晝前安井氏來 昨日モ來タ由 組合加入ノ件總會ニテ相談ノ上返事スルコトヲ約ス タンバツクル一日デ出來ル由。色々話シヲ聞ク  
組合總會議案多キ爲メ朝十時ヨリ開会シタキ旨各社へ打電ス。小型カラ差支アリト電話ガアツタ 終日組合用件デ五時迄カ、ル  
會計齋藤ニ原價計算基礎案ヲ命ズ 中々シツカリシテ居タ。今日モ器材へ行ツテ五時頃帰り宿直ニツク。  
今日ハ惠美子ニモ手傳ワセル  
大藪挨拶ニ來ル 昨日來タ由

◆▼194ページ◆▼ 昭和16(1941)年7月4日(金)

天気 晴

本格ノ夏ニナル

定刻出社 今日ノ安全週間行事ヲ話シ上京ス 器材ニヨリ畑氏ニ今日ノ支拂ヒニ関スル礼ヲノベ社長ヲ待ツタガオソイノデ東京府ニ行ク 組合係リへ行ツタガ遂ニ書類分ラズ双方デ調ベルコトトシテ、丸ビルニテ飯國氏ト會見ス 結局ハ同社会長林氏ヲ組合ノ重要位置ニ居クコトノ希望デアツタ ソレニハ日本楽器デヤル様子ガアルノデ、ソレヲ、オサエルノニ必要ナリトノコトデアツタ  
協会ニヨリ三時帰社 更ニ明日ノ準備ヲトノエル  
小宮ヨリ譲受ケノ登記兄ガ三日カバリデ本日ツヒニ出來ル

◆▼195ページ◆▼ 昭和16(1941)年7月5日(土)

天気 晴

四時半起床 定刻出社 九時半ヨリ三田浜樂園ニ行ク  
コレヨリ先キ名古屋合板ノ販賣店西川來 ベニヤノ件イロ、ト聞ク 片面仕上ゲグライダー用ヲ特ニ作ルトノコトデアツタ  
梅津君名古屋デ病氣ニナリ田島君代理デ來 日比氏一番早カッタ 十一時全部揃ヒ會議ヲ初メル 本庄氏ダケ十二時一寸過ぎ來 三時頃本會議ヲ終ル。村上氏高島氏、

佐田氏松浦氏川崎氏木下氏、篠原氏斎藤氏來 坐談的ニ五時半迄会談 有意義ニ終  
リ食事ニ入り八時散会ス  
宇賀朝カラ手傳ワセル 廻間二時ヨリ來。大藪家内ヲ連レテ來 家ヲ津田沼デ借りタ  
イトノコトデアッタ

▲▼196ページ▲▼ 昭和16(1941)年7月6日(日)

天気晴

五時起床 家内八畑へ 自分八成田山へ参拝ニ行ク 九時頃帰ル。昨日八何ントモナカッタ  
ガ今日ニナルト大分ツカレラ感ズ 夕方迄眠ル  
夕方少シ植木ノ手入レヲナス  
夜兄ト食事ヲ共ニス ドジョウナベトフライ  
八時過ギ床ニ入ル  
今夜八風ガアツテ少シ樂デアッタ

▲▼197ページ▲▼ 昭和16(1941)年7月7日(月)

天気晴

五時半起床 家内ト和子八四時半學校へ記念日ノ爲メ行ク  
定刻前出社  
組合決議録作製。十時頃職業指導所長等五六名來場 新入生ダケヲ一堂ニ集メゲ  
キレイノ辞アリ。後チ晝食。四五名十年式ニ乗セル  
布施サン來ルトノコトニ三時帰宅シテ待ツ 來ラズ  
組合部品原價表ヲ作ル  
野口君工場へ來 明日佐々木君ニ会ツテ呉レトノコト  
布施サン八時頃來 少シモナイガ念ノ爲メ一二本ヤッタ方ガヨイトノコトデアッタ

▲▼198ページ▲▼ 昭和16(1941)年7月8日(火)

天気晴

五時起床シタガダン、気持ガ悪クナツテ食事モ出來ナカッタノデ床ヲ取り横ニナル  
正午大分ヨクナリ玉子ニケヲ半熟ニシテ喰タアト下痢ヲ初メツヒニ終ツテ床ニツクタ  
方六時ヨリ野口君ノ約束ガアッタノデ三時頃コトワリニヤル  
朝廻間ヲ呼ビニヤリ今日ノ予定ヲ打合セル 買物代トシテ大藪へ昨日三百円今日更ニ  
百円渡ス

▲▼199ページ▲▼ 昭和16(1941)年7月9日(水)

天気 晴

午後雨ニナル 予報ハツレテ晴レル

昨夜腹ヲ熱メタ爲今日ハ大変ヨカッタ。スープトおもユデ工場ニ出十時森川氏ト共ニ交詢社ヘ向フ 十一時二十分着 社長、畑両氏待ツテ居タ。先ヅ賞与ヲキメル 森川氏ノ査定デハ新ラシイモノニ厚ク古イモノニ少ナカッタノヲ社長筆ヲ加ヘ古イモノハ約倍加シテ尚金モ若干増加スルコト 金額ヲ六千五百円予算ガアルトノコトデアッタガ五千円位デ止マリソウデアッタ 上昇ノ方ハ、木村、乙竹ガ五円ナノニ清平ガヤハリ五円 工場主任級ガ十円ヅ、今村迄十円デアッタ 角ガ五円 コレハ コレハ社員皆十円ニナス。昇給ハ合併ノ時更ニ器材トノ釣合ヲ見テ昇給スルカラ今回ハ一烈ニ適時的トスルコトト云フコトニテ定マル 終ツテ組合ノ報告ヲナシ食後家ノ礼ヲ社長ニノベル 組合事ム所ニ行ク 机ガ買ツテアッタ 明日ノ用件ナト打合テ三時半帰宅 朝顔ノ植替ヲ行フ 多日ノ願漸クカナウ

▲▼200ページ▲▼ 昭和16(1941)年7月10日(木)

天気 晴

定刻前出社 森川氏來テ養成所發動機價格ノ件相談 兎三角所長ヘ話スコトノ必要ヲ説ク 森川氏行ク由

恵美子本人ヨリ連レテ行ク 書類一通ヲ持参ス

正午組合ノ日比氏外一名東洋軒ニテ晝食ヲ呈ス 午後初事ムヲナシ大藪ニモ二三通手紙ヲ書カス。要領モ悪クナカッタ。朝日十二日午後六時ヨリ都合ヨイトノコト 上野精養軒ヘ電話ス 六時ヨリ柳光亭ニテ松尾氏、駒林氏、島山氏招待、森川畑、板垣自分、合併ノ件ヲ話シ協力ヲ乞フ

▲▼201ページ▲▼ 昭和16(1941)年7月11日(金)

天気 雨

終日在社ス 廻間上京途次晝食ニ自宅ヘ立寄ッタラ召集ノ電報ガ來タトノコトニ事務ヲ引續グ 會計ノ齋藤モ取ラレルコトニナリ工場カラ一名計三名來タ。自動車モトラツクハ全部徴発ニナルトノコトデアッタ イヨ、ハ大規模ノ戦争ガ初マルモノト思ワレル

▲▼202ページ▲▼ 昭和16(1941)年7月12日(土)

天気 大雨

時事 大雨ノ爲メ東海道線不通トナル

八時タクシーデ駅迄行ク ソレニ森川氏乗ッテ出社シタ 出カケル前乙竹ニ賞與国債ヲ一部出スコト、人事ノ異動ニ課長級ニ二度相談スルコトヲ命ジテ出ル 晝前大藪ヲ連レテ局ニ行ク 石島君ヨリ前田入レナイコトニツキ大分フンガイシテ居タ。何ン等ガ処置ヲ取ルトノコトデアッタノデ來月大坂デ再協議ヲスルカラ、委セテ貫ヒタイ旨述ベテ諒解ヲ得。渋谷駅前ニ木村、小林両氏ト会见 手當ヲ渡シ木村氏ニハスポーツ機ノ圖面ノ件、小林氏ニ講演ノ件諒解ヲ得テ帰ル 五時事ム所ヲ出テ精養軒ニ行ク 六時一寸過ギ朝日河合以下六名來 八時迄懇談 組合ノ宮原、本庄、田島、日比、自分等出ル

九時船橋宅ニヨリ九時五十分自動車デ帰ル 九時ヨリ十時頃迄ハ大雨デアッタ  
徳治卒業式 銀賞ヲ貰フ 十一時過テ帰ル

▲▼203ページ▲▼ 昭和16(1941)年7月13日(日)

天気 曇リ

午前中工場ニ一寸行ク 晝食後家内ツル姉ト八柱へ御参リニ行ク 帰途奈良原サンへ寄ル 不在 明日出社方名刺ニ書イテポストへ入レル  
夜八時床ニ入ル 間モナク眠ル

▲▼204ページ▲▼ 昭和16(1941)年7月14日(月)

天気 曇小晴

定刻出社 十時頃森川氏出社 二時頃帰ル 星野氏モ共ニ帰ル 今日ノ賞與授與ガアルノニト思ッタガ其時漸ク乙竹ニ命ジタトノコトデ準備オクレコトニ東京へ金ヲ取りニヤッタノガ午後一時頃デアッタノデ帰ッテ來タノガ五時 ソレカラ封筒ニ入レタリツヒニ全部渡シ終ッタノガ七時過ギタ

五時半頃一同ヲ集メ社長ヨリ時局ニツキ話シアリ 自分カラボーンナスニツキ社長ニ謝意ヲノベ奈良原氏ヨリ防諜關係ニツキ話ス

▲▼205ページ▲▼ 昭和16(1941)年7月15日(火)

天気 曇雨

工場ハ盆休 五時半起床 十時 十時東京組合事ム所着 森角氏來テ居タノデ晝食ニ連レテ行キスエヒロデビフデキヲ喰フ

一通リ仕事ヲ終リ四時過ギ工政課ニ行ク 泰國ノ注文ニツキ話シアリ 丁度本庄氏増資ノコトデ來テ居タノニ會フ

松浦氏二同氏ノ處ヲ聞キ終ッテ上野二福田家ヲサガス 三十分カヽル。島田君ノ招待デ  
村松氏ニ會フ 同氏ヨリ島田君ノコトタノマレル。佐々木、野口君同席 九時頃ヨリ帰  
ル 雨ニフラルル 帰宅十一時 十二時眠ニツク

◆▼206ページ◆▼ 昭和16(1941)年7月16日(水)

天気 曇リ

時事 近衛内閣総辞職

昨日コリテ傘ヲ持ッテ出ル 定刻工場出

十時半迄工場 今日カラ清平ガ居ナイノデ清平ノ席ニツキソレヽノ帳簿等ヲ調べル  
森川氏來 十時頃星野氏來 星野氏自分森川宛ノ舟崎氏ノ手紙持ッテ來ル 総務ト  
スルコト 仕事ハ支配人ノ仕事ヲヤッテ貰フコト 総務トシテノ報酬ハ改メテキメル 職  
制モ同ジク 今日皆ニ其旨宣言シテ呉レトノコト 之レハ森川氏ニ一任シテ十時半ヨリ  
上京。組合事ム所デ午後宮原氏ニ會ヒ泰國ノ二十台小型デヤルコトニキメル 文部省  
型ヲ他デスケルコトニナル。  
協会齋藤君來 お茶ヲノマセル  
五時終ッテ帰ル

◆▼207ページ◆▼ 昭和16(1941)年7月17日(木)

天気 曇

朝散髪シテ八時十分出社 丁度森川氏出社シタ處デアッタ 星野氏横須賀へ行ツタガ  
來ナカツタ

今日ハ終日清平ノ机デ事ムヲ取ルノニカナリ多忙デアッタ 森川氏晝食後スグ帰ル  
試験場ヨリ河島氏九五一型ノ検査ニ來。プラスチックヲヤラナイカト進メラレル コレハ  
前々カラ考ヘテ居タコトデ最(ママ)非ヤッテ見タイト思フ  
工場作業方針等ニツキ再考、記録ス 星野氏就任ニツイテ大ニヤッテ貰フコトニシタイ

◆▼208ページ◆▼ 昭和16(1941)年7月18日(金)

天気 曇リ

時事 第三次近衛内閣成立ス

今日モ降ラナイガ寒イ日デアッタ

午前中工場デ星野氏ノ出社ヲ待チ工員昇給ヲ決定シテ十一時半ヨリ上京 一時組  
合事ム所ニツク。五時迄多用 時刻ノウツルノヲ知ラナカツタ

今日ハ繊維組合バントト京便ニヤル。明日右引ツヽキヤルコト 上野ノ鉄鋼聯合会ニモ行

ク様命ズ

帰りニ修理中ノ写真機ヲ取りニ恵美子ト立寄り和子ニ小供ノ卓上ピアノヲ買フ 九円七十五銭 食料品若干ヲ求メテ帰宅 七時半

▲▼209ページ▲▼ 昭和16(1941)年7月19日(土)

天気 曇リ小雨

定刻出社 星野氏九時頃出社 机ワ階下事務室ニアッタ 今日ハ松戸ノ宿舍ヲ見ニ行クトノコトニツイデニ資材ノ証明ヲ貰フコトヲ依頼ス 三時頃乙竹一人帰り証明ハ所長ニ会エナカッタノデ貰エナカッタトノコト

九二ノデユラルミシ材手ニ入ラズ鉄板デ間ニ合セルコトス 工作課長ニツタエル

木工木取りニ大分金ガカ、ルラシイノデ、グライダー材ハ木取タモノヲ仕入ル方針ヲ取ル事トス

森川氏二時頃帰ル

工場ヲ見渡スニドウモ能率ノ悪イ事オビタ、シイ 何ントカ方法ヲ建テ直サネバナラナイ

▲▼210ページ▲▼ 昭和16(1941)年7月20日(日)

天気 雨

終日雨 又水ガ出ル事ダロウ 表ノ崖少シクツレレ

今日ハ徳次ノ友人四五名來ル 十時徳次船橋迄迎ヘニ行ク 昨日カラ御馳走ノ準備ニイソガシイ家内ヤエミ子ハ今日モイソガシカッタ 晝食ニ馳走ス

自分ハ組合ノ部品價格ニツキボールトピン類ノ整理ヲ行フ 朝九時頃ヨリ夕方四時半迄カ、ル 明日ノ仕事恵美子ニ命ジ東洋ヘノ返事千葉税務署ヘノ回答文案ヲ渡ス

▲▼211ページ▲▼ 昭和16(1941)年7月21日(月)

天気 雨

今日ハ朝カラ大雨 晝頃少シ薄日ガサシタガ夕方カラ又大降りニナッタ。夕刊デハ明日夜カラ廿三日朝ニカケ颱風ガ來ルトノコトデアッタ

今日ハ七時半カラ三四年ニ修身ノ時間終ツテ森川星野氏ガ來ルノヲ待チ職員ノ昇給ヲ決定シ、昨日木村工作課長ヨリ提出シタ作業工程ヲ両氏ニ示シグライダー作業ニツキ自分ノ見解ヲ話シ改善ヲ要望ス 星野氏同感ヲ示シ早速木村ヲヨンデ話シテ居タ十一時ニナリ小型デ松戸ニ向フ 途中故障ヲ起シガンリンカーニテユックリ行ク 二時半養成所着 三時過ギ所長ニ会ヒ資材件 所長ハ十五年度分トシテマトメテ申請セヨ

トノコトニコチラノ思フツボデアッタ 発動機ノ件ハ目下全面的ニ本局デ手入レシ價格ヲキメルノデ資材ヲ作製中トノコトニソレノキマルノヲ待ツコトトス  
四時工場ニ行キ四時半帰途ニツイタ處へ小型ガ直ッテ迎へニキタノデ帰宅ス  
右ノ爲メ今日ハ組合へハ行ケナカッタ

▲▼212ページ▲▼ 昭和16(1941)年7月22日(火)

天気 雨

五時起床 ニュースヲ聞キラジオ体操

定刻出社 今日ハ颯風近ツクトノ報ニ工場内嚴重ニ準備サセル

森川氏來 昨日ノ佐藤閣下ニ會ツタ結果ヲ報告シテ居ク

廻間午後出社ス 早速委託調辨スベキソアラ一材料調査ヲ命ジタ方ホゞ出來ル

養成所用材料提出資料ヲ白野ニ立川へ調査ニ出張サセル

星野氏ニ工場ノ方針ト差當リ能率増進ニツキ強調ス。同意ヲ表シテ居タ

五時帰宅 五時半食事ヲ終ル

▲▼213ページ▲▼ 昭和16(1941)年7月23日(水)

天気 晴

颯風一過 午後スブラシイ晴天トナル 南風ヤ、強シ

定刻出社 途中路上水アリハダシデ出社ス。社内被害ナシ 養成所ノ十一号機ニツキ

木村、参吉等ト相談 参吉松戸へ出張サセル 木村資材ノ爲メ器材ト工場へヤル。十時

十分組合事務所着 器材本社へ電話スル 星野氏ニ木村出張ニツキ特ニ材料合議方幹

旋ヲタノム 社長マダコナイトノコトデアッタ 福田其他組合ノ七月納メ品ニツキ督促

ヲナス

晝食後恵美子第百銀行へ東部特免ノ拂込ミニ出張サセ大藪ヲ連レテ日特、文部省、

飛行協会ニ招(ママ)介ニ連レテ行ク 篠原氏文部省學校分來年度取マトメルベク努力

中トノコト タノモシイ人ダ

大藪ヲ返シ自分航空局ニ行ク グライダー値上問題関係者會議中デアッタ 駒林氏ニ

會ヒ六〇ノ試作発動機ノ性能ヲ教ヘ貰フコトヲタノム。合成樹脂合板ノ資材材料ヲ借

用ス

松尾補給課長ト会谈 課長ニ聞カレルマ、ニ合同ト増資ヲ話ス 同氏ハ養成所専門ノ修

理工場ノ必要アリ局長モ其意見ナリトノコトニ自分ノ方デモ、ソノ様ニシテ呉レルナラ

養生所一本槍デ進ミタイ旨強調シテ分レル。輸送会社ニ徳治ノコトデ井上君ニタノミ

ニ行ク 平松君ガ來テ居タノト竹中泰門ガ同所ニ勤務シテ居タ 五時半帰宅

▲▼214ページ▲▼ 昭和16(1941)年7月24日(木)

天気 晴

終日在所 昨日職員給料計算シテ居タラ辞令ノ書イテナイモノハ計算スルナト、シカラレタトカデ今日ハ会計一名モ出テコナイ 庶務モ又一名モ出テ居ナイ

森川氏晝食後スグ帰ル 昨日モソウデアッタ由

今日ハ星野氏四時迄在社ス

太田ヲ呼ビグライダー製作能率増進ニツキ話ス 木村氏午後ヨリ器材工場(行ク 昨日モ今日モ水で行ケナカタトノコト 電話で行ク道ヲ聞イテ出張サセル 各地水害甚ダシ

▲▼215ページ▲▼ 昭和16(1941)年7月25日(金)

天気 晴

五時起床 ラジオ体操 定刻出社 角ノ養成所、横須賀ノ報告ヲ聞キ榎本ニグライダー七月未完ノ返事ヲ出サセ田中ニ出張先キ教ヘ森川出社 松尾氏會見ノ話シラシテ上京 九時十分器材着 社長畑、元松氏居リ松尾課長ノ話シ報告 松戸ノ地所購入方針ヲ決定 玉井ヲ味方ニシテ他ヲ速カニ決定ノコトトス。社宅組立工場建築ノ場所ヲキメル。合成樹脂機体試作ノ件話ス 局デ諒解ガアツテヤルナラヤッタ方ガヨイトノコトデアッタ。中島ノ不用材ハ政治的ニ処置出來タラ買収スルコトニ決ス

局工政課ニ行ク 局内ハ値上ゲホ、決定セリト 文部、飛行協会ト交渉ノ上商工省ヘ決定 來月早々ニナルトノコトデアッタ。安在事ム官ニ挨拶ス 技術部長不在會ワズ。飯塚航空官榊原航空官會談

四時徳次同道井上正鑑君ニ徳次ノ就職依頼ス 木暮樹氏ト會談。尾崎氏ニモ會フ 合成樹種ニツキ小栗ガ名古屋デアッタ同法ノ研究者ヲ知テ居ルトノコトデアッタ。

午後組合事務 廻間ニハゴムト銅管ノ配給方法、大藪、エミ子初月給渡ス

廻間今日会社ヨリ金這入ラヌトノコトニ組合囑託料前渡ス

▲▼216ページ▲▼ 昭和16(1941)年7月26日(土)

天気 曇小雨

七時前出社 丁度試験場カラ電話アリ 十時迄ニ松浦氏ノ處ヘ來テ呉レトノコト。産報委員会ヘノ希望ト事ム所ノ整頓ニツキ書類ニシテ渡シ上京ス 津田沼駅ニテ森川氏ニ會ヒ松浦氏ニ會ヒニ行クコトニ告ゲル 十時十分試験場着 立川ニテ試作ノ双発旅客機ノグライダー模型ヲ二個作ルコトデアッタ 引受ルコトトス。月曜日ノ試験ノコト其他打合せ、発動機價格ノコトモ話シテ帰ル 一時半津田沼着 講演者ノ來着ヲ待ツ 予

定ノ二時半丁度ニ來ル 同乗シテ工場ニ歸ル 今日職工ノ支拂ヒ出來ナイトノコト。理由ハ松戸ノ土地取引ニ五千円持參テアト銀行ニ二千円シカナイノデ其マヽニシテ森川氏九時頃帰ツテシマッタトノコト 星野氏カヽヽニ怒ツテ居タガ宇賀ナドニハ銀行ノ帳尻ヲ思ヒ違ヒシタノダロウト話シテ居ク 五時過ギ講演終ルヤ一同ニモ支拂遅延ニツキ挨拶シテ居ク 困ツタ人ダ

▲▼217ページ▲▼ 昭和16(1941)年7月27日(日)

天気 晴

五時起床 八時頃工場出 十時迄木村出テ居タノデ火曜日作業増進ニツイテ会議ヲシタイコトヲ話シテ準備ヲ命ズ。

佐藤昨日話シアルトノコトニ今日呼ンデ聞ク 養成所ノ発動機ヤレナクナル様ナラ考ヘナクテハナラナイトノコトデアッタノデ過日ノ松尾課長ノ話シヲシテ聞カセル

十時過ギ帰宅 南風涼シク横ニナツテ少シ眠ル 午後恵美子ニ白髪ヲヌカセ四時カラ久シ振リニ盆栽ニ肥料ヲ與ヘル

今日初メテ朝顔一ツ咲ク

夕方金太郎ヲ呼ビ整備ノ状況ヲ聞ク 後子島田君來 晝間呼ビニヤッタ爲メ。仕事早ク初メルコトヲ進メル

長雨の 晴れて朝顔 一ツ咲き

▲▼218ページ▲▼ 昭和16(1941)年7月28日(月)

天気 晴

朝降りソウデアッタガ後晴レル

定刻出社 十時過ギヨリ上京 局ニ行き第二部長訪問 不在 松尾氏泊氏ニ會ヒ仕事ノ事ヲヨク話シ尚工場ヲ見テ貰フコトヲタノム 松尾氏森川氏止メルソウダガホントウカトノ話シアリ。不意ノコトデ面喰ツタガソナコトハナイト事実ヲツゲル。然シドウモ變ナ氣ガシタ 工政課村上氏ニ會フ プライマリー八百円 セコ千弍百円ニ内定シタ由一時間バカリ意見ヲ交ヘテ帰ル

事ム所ニヨリ後子村上氏ニ電話シタガ会議中 第二部長居タガ丁度友人ガ危篤デ出カケル處ダトノコトデ分カレ會エズ 森川氏ノコト氣ニナル

▲▼219ページ▲▼ 昭和16(1941)年7月29日(火)

天気 小雨 晴

終日在所 増産会議午前中ノ予定ノ處學科ノ爲メ午後二時頃ヨリ会開(ママ) 自分公司トナリ行フ 森川食後帰り意見ダケ星野氏ニツタエル イロ、意見ノ一致シタ處ハ事ム員ノ氣力ガナツテ居ナイト云フコトデアッタ。自分ノ話シハ最后ニノベタガ尚モツトヤリタカッタガ根岸君ガ來テ中止トス

六時島田君ノ招待デ長崎屋ニ行ク 縣警察ノ人三人野口君高橋君ト云フ顔ブレデアツタ 九時散会 客ノ要求ニ藝者三味ヲ曳カズ歌一ツ歌ワズ変ナ奴共ダ 席上野口君東日ノ郡君カ木下耶麻次君カラ聞イタトテ森川氏止メルトノコト話シアツタ由 ヤハリ航空局カラ出タ話ノ由 イヨ、、変ダ 第二部長以外ノモノニモ話シタノカ知ラ 明日森川氏ニ聞イテ見ルコトトス

▲▼220ページ▲▼ 昭和16(1941)年7月30日(水)

天気 雨

終日小雨 昨夜オソクナツテ今日ハ眠カッタ 八時出社 森川星野出社 九時白井文雄來 明朝宇都宮入隊トノコトニ青年校生徒ヲ集合セシメ分レノ挨拶ヲサセル。根岸君ノガソリン五罐無クナツタ事件居川ガ眠ラズニ番ラシテ居タ夜ノ間ニクナツテ居ルノ二居川ハ前日ニクナツタモノト主張スルノガドウモアヤシイ 森川星野氏ト相談ス 森川断然処分スル 自分カラ云ヒ渡ストノコトデアツタノデ頼ンデ上京 組合事ム所ニテ四時迄事務。森川退社ノ件社長ニ聞イテ見ルツモリデ電話シタガ不在

▲▼221ページ▲▼ 昭和16(1941)年7月31日(木)

天気 雨

昨夜ヨリ大分降ツタ 水ガ出デ今日ノ上京ヲアヤブマレタガ五時起床 昨晚ヨリ眠レテ今日ハ晴々シカッタ ラジオ体操モヤル。定刻前出社。田中、佐野今日モ休ミ 昨日モ休ンダ由。森川氏星野氏來社後出カケル 途中ニヶ所路上ニ数寸水ノ出デ居ル處ガアツタダケデヨカッタ 組合事務所ニヨリ、日特ニ社長ト會見 森川氏止メル噂ニツキ聞ク 社長ニモ何等申出ナキ由ナルモ以前カラ畑、今里氏ニハ話シテ居タ由 最近日航營業所カラヨク這入ツテ止メル話シテ居ルトノコトデアッタ。ヤメル氣ナラ止メテモ影響ハナイダロガ平デ居クコトニシタラトノコトデ早速本日、今里、畑両氏デ森川氏ニ會ヒ事実ヲタシカメルコトニナル

ソレヨリ途中晝食ヲナシ、大森区田円(ママ)調布ノ福原氏新居ニ行ク 途中大雨ニ會フモウ元氣ダトノコト 森川氏ノコト聞カレル 一寸話ス 現状迄ノ話シテ礼ヲ述ベル 近日ニ來テ貰フコトヲタノミ、飯沼ニ行ク 工場ニ行キ発動機ヲ調べ片岡元局長宅ニ行キ不在。井上閣下ニモ行ク 北海道出張中トノコト イヅレモ宅ノ畑デ出來タト云フ野菜ヲ少々送ル 嬉(ママ)バレタ

▲▼222ページ▲▼ 八月

社員精神ノ改善

木工増員

住宅問題

▲▼223ページ▲▼ 昭和16(1941)年8月1日(金)

時事 生活正義ヲ本日ノ奉公日ニ強調セラル

五時起床 仁三郎今日カラ研數學館行き 五時半ニ出ルノト今日カラ和子モラジオ体操ニ學校へ行クノデ五時半ニ出ルコトニナル。

七時工場出 朝礼ノ時生活正義ト共ニ勤務者トシテノ闇取引ヲイマシメル

森川氏カラ引退問題ニツキ話シアリタリ 自分ガ社長カラ聞イテ知ツテ居ルノダト思ツテ居タ由 尚技術部長ニナル木下氏ニモ話シタトノコトデアッタ。ソレハ要ハ伊藤ヲ助クル爲メニ這入ッタノデ航空器材ヲタスケルノデハナイカラ器材ト合併スル以上ヤメルノハ當然ダト云フニアッタ。説ハ正當ノ様デアアルガ今日迄ノ氏ノヤリ方ハドウモ感心出來ナイコトバカリ

清平定刻出社ス 午後ヨリ話ス

居川昨日森川氏カラガソリン、トウ難ニ連絡アリトシテ退社ヲ命ゼラレタトノコトデ挨拶ニ來タノデ、ソレハ言葉ノ行違ヒデ会社ハソノツモリデ、ヤメテ貰ッタノデハナイ、イツモ君ノ番ノ時ニアタルノデ職責上引責シテ貰ッタノデアアル旨ヲ述ベテ返ス

▲▼224ページ▲▼ 昭和16(1941)年8月2日(土)

天気 曇リ

定刻出社 布施サンヘ採血ニ行キツイデニ囑託醫ノ件ヲタノム。久々田醫院ノ歸ル迄ヤルトノコトデアメテ会社ヨリ頼ミニヨスカラト依頼シテ歸ル 組合ノ塗料発注ノ件組員ヘノ手紙下書キヲナス

クラブノ金全部引出シ終了 ガソリンノ金青木會計ニ渡シテ居ク

星野出社 辞令渡ス件タノム 時間ガナイノデ一度事ム所員全部ニ話シヲシタイガ月曜日ニスル旨キメル 木村、長谷部、工務ヘヤルコトニツキ清平イラヌト主張セシモ星野ト二人デ引受サセル ドウモ清平ハ氣ガ小サクテ困ツタ奴ダ

十時半ヨリ上京 組合ニテソレ、用件ヲ命ジ一時過ギヨリ本庄製作所五周年記念ニ出席ノ爲メ行ク 四時過ギ終リ六時半帰宅 途中船橋ニ寄ル

今日今里町田、矢野三人工場へ来リタル由 工場ノ状態ヲ見ニ來タモノ

◆▼225ページ◆▼ 昭和16(1941)年8月3日(日)

天気 曇晴雨

二時頃ヨリ目ガ醒メテ眠レズ 昨日ノ事工場ノコト明日所員ニ話スコトナドデツヒニ夜ガ明ケル 五時半起床 八時頃工場へ一寸行キ硬鋼線配給要望書ヲ記入 夜大藪ヲ呼ビ明日上京出來ソウニモナイノデ、用件ヲ命ジテ居ク

大坂三社へプライマリー八〇〇円セコンダリー二二〇〇円内定 其他三社ノ意見マトメテ返スル様打電ス

晝前兄來 ヤハリ工場ノコト氣ニナルカ話シ出ル 兄十日頃許可ニナツタ北海道ノ鉾山ノ件ニツキ帰坂スル由

午後三時十五分千葉長崎屋二千葉工業評議員会ニ出席 今秋ノ新築記念事業協賛(ママ)会ノ方針ニツキ協議シ夕食ガ出タガ議事ダケスマセテ先キニ帰ル。ドウモ遅クナルノハコマルカラ

奥村ノ小供徳治ニ成田山へツレテヤル 夕食ヲ共ニス ビールモ遠慮ナクヤル上中々明朗ダ

◆▼226ページ◆▼ 昭和16(1941)年8月4日(月)

天気 晴

五時起床 体操前ニ仁三郎等ト一所ニ朝食ス 定刻出社

星野來 二人デ会谈ス 自分カラ此際辞職スベキヤ届(ママ)マツテヤルベキヤヲ聞ク。ソレハ最(ママ)非ヤツテモライタイ 星野トシテモ大ニ支持スルカラトノコトデアッタニ対シ森川氏ガヤル様ニナツテ今春清平ヲ他へ出シ自分ニ第二線ニ引ク様ニ話シガアッタ以來ツトメテ外出シテ森川氏ノ仕事ニジヤマニナライ様シテ來タガ氏ノヤリ方ガ人事ニコトハク失敗シテ居ルノデ人心ヲ直スノニ蔭ナガラ努力ヲツゞケテ來タガ、アノコトデハトテモヤレナイ 自分ガ積極的ニナレバ必障(ママ)突セズニハヤレナイカラ其事ノナイ様森川氏ヲ東京勤務ニシテ貰ヒタイコトヲノベル 星野氏ヨリ兄ヤ清平、参吉ト伊藤一族ノ多イコトニ器材重役間ニ変ナ氣持ヲ持タセルラシイカラ言行ヲツゞシンデ貰ヒタイトノコト 奈良原氏ニ止メテ貰ヒタイトノコトモアッタ 之レハ奈良原氏が単ナル人デナク日本航空界ノ人デアアルコトヲ述ベタガ星野氏ハアク迄ヤメテ貰ヒタイ希望アリ。之レハ舟崎ト星野トキメテ貰フコトニ一任ス 要ハ星野氏ノ話シハ社長へマダ話シハナイガ場合ニヨツテハ一時工場ヲ閉查(ママ)スル意向モナイデモナイトノコトデアッタ 之レハ器材ノ例ヲ話シタガソウハコチラハ簡單ニ行カナイ

夜七時頃眠クナツテ床ニ入ルヤスグ眠ル

◆▼227ページ◆▼ 昭和16(1941)年8月5日(火)

天気晴

五時半朝食 六時ラジオ体操 定刻出社  
工場増産ヲ如何ニスベキヤ考ヘテ見ルニ中々困難ガ多イ ヨホドフンドシヲベテカヽラネ  
バナラナイ 九時丁度食堂ニ主任以上ト事務所全員ヲ集メ今上半期ノ決(ママ)果ニヨ  
リ我レ々々ガ増産ニ努力シナケレバナラナイ 其第一ニ皆ノ氣持チヲ直サネバナラナイ  
其一ツハ氣分デ仕事シナイコト、第二ニ組織ヤ制度ニトラワレナイコト、第三ニ金デハタ  
ラカナイコト、スベテハ仕事本位職分第一ニ滅私奉公ノ精神ヲ必要トスルコトヲ述ベル  
星野氏ヨリ熱ト誠ヲ以テヤルコト、ニツキ  
話シアリ 今日ハ終日工場各部ヲ見テ廻ル  
五時ヨリ樂園ニ行キ町長、ト新任校長ト会食 教練ノ先生ニツキ町ト學校ニマカセテ呉  
レトノコトデー任ス。九時散会帰宅 新聞ヲ見組合ノ報告ヲ聞キ十一時床ニツク

◆▼228ページ◆▼ 昭和16(1941)年8月6日(水)

天気晴

春夏ラシイ日ガ續ク様ニナツタ  
定刻出社 今朝々礼ノ時此ノ日曜ニ千葉縣青校相撲大会ニ個人優勝シタ藤代ニ賞品  
ヲ與ヘル 明日ヨリ各部ニ渡リ再調査ヲ行ヒ仕事ガ円満ニ行ク様ニスル事トシ今日ハ組  
合ヘ行ク 十一時組合着 四時迄組合ノ仕事ナド 工場今後ノ仕事ニクラベルト進ンデ  
居ル様ナ氣樂サヲ感ジタ  
工場ヲ如何ニシテ能率ヲヨクスベキヤ

◆▼229ページ◆▼ 昭和16(1941)年8月7日(木)

天気晴

五時起床 日記 新聞 朝食 ラジオ体操  
定刻出社 星野社長会见ノ由 ツヒニ出社セズ。之レモ熱ガ足りナイ  
今日ハ工務課員ヲ全部集合セシメ協力ヲ依頼シアト主任課長級ヲ残シ懇談ニウツリ倉  
庫ノ出納簿記帳ヲ倉庫デ行ワシムル事トス 木取り、傳票ノ廻シ方ヲ命ジ、労務デハ今  
朝考ヘタ購買会ヲ産報デ行ワシムル事 其他数點ヲ協議ス。清平、木村、山本氏ノ見  
舞ニ出張

佐藤三時頃松戸ヨリ、佐藤所長ヨリ一時間、バカリ話シヲ聞カサレタトノコト 要ハ今モ

ーケル事ヲ考ヘナイデヤレトノ事デアッタラシイ 発動機ノ價格モ見積リヲ出セトノ事  
ニ又ナッタ由 明日出サセルコトトス。佐藤ヨリ設備ヲ七八万円カケテ完成スレバ仕事ハ  
取レルトノコトデアッタガ養成所ハ今スグハ其必要ノナイコト 十八年度迄ニ並行シテヤ  
レバヨイコトヲ申聞カセ設備計画書ダケハ出サセルコトトス

◆▼230ページ▲▼ 昭和16(1941)年8月8日(金)

天気 晴

五時少シ前起床 朝食後ラジオ体操  
定刻出社

星野出社後昨日社長ニ会談 月千円ノ支出節約ノ爲メ森川氏奈良原氏、乙竹、木村  
ヲ止メサセル方針ヲ話シタトノコト 奈良原氏ノ件ニツイテハ自分ニ一度相談スルトノコ  
トデアッタ由 當然ノコトデアアル 昨日清平ガ宮本君ニ會ツタ話シハ器材デ局ヘ事業法  
ノ的(ママ)要ヲタノミニ人ヲ代ヘテシキリニ行ツタ由ダガ器材單獨デハダメデアアル旨工政  
課デ返答シタ由ニツキ伊藤サンニシツカリヤツテ貰ヒタイトノコトデアッタトノコト  
午後森川氏來。局提出書類漸クマトマル  
今日ハ会議ハ出來ナカッタ

試験場ヨリ検査官來 グライダー終ル

◆▼231ページ▲▼ 昭和16(1941)年8月9日(土)

天気 曇リ

星野出社後松戸ヘ所長ヲ訪問シタガ遂ニ來ラズ、野村氏ニ挨拶ダケシテ工場ニ行キ記  
帳其他ノ打合ヲナシ十一時半角ト帰ル。

森川氏來テ居タ 自分晝食ニ帰ツテ居ル間ニ居ナクナッタ 星野、器材ノ畑氏ニ會ヒニ  
行クトテ帰ル 清平京成へ契約ニ行ク イヅレモ早く帰ル

野口君産報会今日ト間違ヘテ來テ呉レル

星野今日森川ト話シモシナカッタラシイ 自分ノ云ツタ通りデアアルカラ畑氏ニモ東京へ  
引取ツテ貰フコトヲ話ス由 奈良原氏モ同様ニ云ツテ居タガ之レハ舟崎氏自分ニ會ヒタ  
イトノコト 水曜日行クコトヲ事傳ル

◆▼232ページ▲▼ 昭和16(1941)年8月10日(日)

天気 曇夕雨

七時四十分工場出 今朝八時半起床

工務作業調査

養成所ヨリ汐汗(ママ)ニ來 重(ママ)ダチタル人々ト挨拶ヲナス  
日航ノ連中モ竹春屋ニ潮立ニ來ル ビール一打ヲ贈ル  
桜井中将航空局ヲ出テ軍令部出仕トナツタ挨拶狀來 午後三越デお茶ヲ求メ挨拶ニ  
行ク 三時着 不在デアッタノデ女中ニタノミ四時半帰ル 大雨トナル  
清平午前中來ラズ午後出社 自宅ニ來テ居タ  
夕方工務營業作業人ノ入レ替エ其他ニツキ協議ス

▲▼233ページ▲▼ 昭和16(1941)年8月11日(月)

天気 曇小雨

四時半起床 朝食 体操 新聞 七時出社  
森川八時過ぎ出社 九時頃ヨリ松戸ニ行ク 十時四十分養成所ニ入り十一時二十分  
所長ト会见 約五十分 発動機價格ノ件、資材ノ件工場建築ノ件ナド懇談 ナゴヤカ  
ニ話シハ進ム。野村庶務課長横浜ニ轉任 挨拶ヲナス  
工場ニヨリ佐藤ニ簡單デアッタガ松戸工場ヲ模範工場タラシムル様ゲキレイシテ帰ル  
二時工場着

星野ヨリ今朝畑氏ト会见ノ模様ヲ聞ク ヤハリ居川ノコトデアッタ由 星野ニ善処方ヲ  
依頼シタル由。其節森川氏ト奈良原氏ヲ止メテ貰フコトヲ強調シタトノコトデアッタ由  
午後職員ノ給料調査ヲ行フ  
夜組合ノ報告ヲ聞ク

▲▼234ページ▲▼ 昭和16(1941)年8月12日(火)

天気 曇小雨

五時過ぎ起床 朝食後体操 七時工場出  
八時半森川來 丁度畑氏カラ電話ガアツタ時デ今日畑氏ト會見ノ筈トノコト 十一  
時頃森川氏行ク由 組合ノ金百円出シ宇賀ニ一時貸ス  
九時ヨリ上京 今日ハ木村休ミ 清平モ來ナイノデ寄ツテ見タラ風ヲ引イタトテ寢テ  
居タ 今電話ヲカケテ居ル處ダトノコト モット早く懸ケレバヨイノニ 廻間モ風ヲ引タ  
カラ休マセテ呉レトノ電話ガアツタガ後チ出社シタ由  
組合ニ出商工省機械局ニ出頭ス 同課ノ當組合ガ管轄ニナルラシイ。午後尾鷲ノ中間  
來ル バツソノ見タガ太サガ一定セズナツテ居ナカッタノガ五千本バカリ持ツテ來タカ  
ラトノコトニ一度預リ直シテツカエルモノハ引取ルコトニシ値段ハコチラデツケルコトトス  
三時頃帰リカケルト丁度表デ石橋勝浪君ニ会フ 久シ振リデお茶ヲノンデ分レル

▲▼235ページ▲▼ 昭和16(1941)年8月13日(水)

天気 晴雨

五時起床 七時工場出 七時半京成ニテ長島ト同道器材ニ行ク 八時半着 畑氏ニ會フ 九時過ぎ社長モ來 森川氏奈良原氏ノ件節約ヨリモ社会的ニ必要ナ人トシテ從來ノマヽニスルコト 金ノ支出ハ認メルトノコト 尚森川氏ニハ工場ハ余リ出ズ出來ルダケ器材へ來テ局ト大日航ヲ連絡シテ貰フコトニシタ 森川氏モ心カラ承知シタトノコトデアッタ 自分ノ考ヘノ通りニナツタノデヨカッタ。畑氏同道器材工場ニ行ク 建鉄下請ノ燃料タンク製作ノ件結局器材トシテコトワルコトニ決定ス

慎千鳥主翼ダケヤツテ呉レトノコトデアッタガ現物ヲ見タ結果全部引受ルコトヲ申入レ大体ソノ様ニナル 板垣ノ意見ヲ聞イテ明日返事スルコトナリ自分三時半局ニ行キ松尾氏ニ器材トノ關係森川氏ノ模様等聞カレ率直ニ話シ自分並ニ工場会社ノ援助ヲタノム 工場へ來ルノハ九州旅行終ツテカラ來ルコトニ話シヲキメル。村上氏、飯塚氏、駒林氏ニ會ヒ、組合ニヨリ帰ル

◆◆236ページ◆◆ 昭和16(1941)年8月14日(木)

天気 雨

今日モ又雨 ソシテ明日ハ颱風ガ來ルトノコト 七時出社 朝礼後工場見廻タ 森川氏學科ニ來 後話ス 自分ニ合併前ニ將來ノ問題ヲ極メテ居イタ方ガヨイトノコトデアッタ 自分デハ云エナイカラ森川氏ニ任セル 自分ハ只仕事ニノミ進ミタイト話ス 松尾課長ニ昨日自分ノ前ニ森川氏モ會ツタトノコトデアッタ 結局伊藤ハ要(マ)護スルガ器材ハ知ラヌトノコトニ帰着スルノデソレハムシロ器材ノ人ニ聞カセテ貰ヒタイ事デアアル 午後星野以下主任以上主トシテ作業ニツキ打合せ會ヲ行フ 稍成績ヲ上グ

◆◆237ページ◆◆ 昭和16(1941)年8月15日(金)

天気 雨後晴

五時起床 七百十ミリト云フ猛颱風ガ四国ノ室戸岬ニ上陸 風速四十米 岡山ト神戸ノ中間ヲ米子ニ正午ヌケ日本海ニ出タ由

午前中昨日ノ會議ノ整理ヲナシ明日經理、庶務ノ會議ノ準備ヲナス 午後コフレタ高足花台ヲ修理ス

今日颱風ノ準備ニ盆栽ヲ方付ケタガ午後天気ヨクナツタノデ三時過ぎ又各棚ニ持ち出ス

正午風呂ノ水ヲ汲ミ込ンデヤッタ ポンプデ三百回押シテ丁度ヨカッタ 早ク風呂ニ入ル

文部省幹旋ノ羽布配給表ヲ作製ス 組合配給ノ羽布ハ本日各社へ発送通知ヲ出サセ

▲▼238ページ▲▼ 昭和16(1941)年8月16日(土)

天気晴

五時起きテ見タガシバラクスト気分悪クナツテ來タ 七時ツヒニ床ヲ取ツテ横ニナル  
ヤハリ午前中悪ク午後ヤ、ヨクナル

家内昨夜血圧二百三十アリ 今朝八四時ニエミ子ヲ起シ家内モ一日寢ル

福田ヨリ文部省羽布文部省ノ指令ヲ送レトノ電報アリ 今日配給表ヲ大藪ニ持タセ  
テヤル 三分ノ二ヲ福田ニ與三分ノ一ヲ伊藤へ送レトノコト ソレナラ判ヲスルトノ由  
誠ニケシカラン話シテ自分で行ツテヨク話シヲ聞カセテヤル外アルマイ  
夕方方平松子爵ト山本氏來 組合加入ノ件其他

▲▼239ページ▲▼ 昭和16(1941)年8月17日(日)

天気晴

五時起床 散髪シテヨイ氣持チニナル 八時半工場出 昨日立川へ行ツタ報告ヲ角、肥  
田木カラ聞ク。後チ肥田木ニ支柱式プライマリーヲ命ジル 支柱ノ大キサヲ定メル  
後チ組合ノ七月末決算ヲ行ヒ十二時半終ル 工場ヲ見テ二時過ギ帰宅ス

数日前ヨリ工場裏ノ原野ニ聴音器ガ据エ付ケラレ兵隊サンガ七名來テ居ルノニ炊事ニ  
困ツテ居ルノデ賄ヲシテ上ルコトニ相談マトマル

大工ニ台所改造ノ見積リヲ依頼ス

▲▼240ページ▲▼ 昭和16(1941)年8月18日(月)

天気晴

五時起床 新聞ニュース体操後朝食 七時過ギ出社 朝礼後四五年ノ學科 此前ノ續  
キ 死ニ対スル覺后ヲ話ス。九時半ヨリ事ム員並ニ主任級以上ト事ム上ニ關スル話シヲ  
約一時間話シ經理、庶務關係ニツキ打合セヲナシ正午過ギル 大坂清和化學工業ノ  
社員二名來 晝食ヲ出シ商談。防光幕屋來 少シ話シヲ聞キアト星野氏ニ依頼シ松戸  
ニ行ク 二時半ツイタガ所長ニ來客アリ結局五時面會 松戸工場ノ開接(ママ)費予算  
ヲ示シ、金属機材料ノ件諒解ヲ得 鈴木菊雄ヲ照(ママ)介シテ五時半辞シテ帰宅ス  
今村達ニ警察ヨリ二名來 伊藤飛行場ガアル爲メ空撃(ママ)ノ可能性ヲ説キ其時ノ処  
置ナドニツキ話シアリタリト

▲▼241ページ▲▼ 昭和16(1941)年8月19日(火)

天気 晴

五時前起床 新聞ニュース体操、朝食 七時出社 昨日ノ会議ノ記録ヲ作ル 野口君  
來 三里塚ノ講習會ニ対シ材料ベニヤ板カゼインヲ渡ス  
正午島田、佐々木両氏來 ワイヤ、ボールト其他佐々木氏ニ渡ス 矢田來 之レモ  
指導者トシテ三里塚へ照(ママ)介シテヤル。

午後青年學校一年生実習指導者撰定ニツキ作業工作兩課長宇賀、星野総務ト会談  
前田ヲ適任者ト決定ス

後十五年下期ト十六年上期ノ決算書ニヨリ支出比較表ヲ作ル 大シタ差ナク比例  
ヲ取ルト營業費ハムシロ八千円バカリ減少シテ居タ

午後夕方ハ暑カッタ 福田へ羽布百五十反ツイタガ一昨日打電ニ返ナク今日ハ返信料  
前田デ打タセタガ受付テ呉レナイノデ普通デ打ツタガツヒニ返事ナシ  
会社ヨリ三千六百円出シ第一銀行へ拂込マセル

▲▼242ページ▲▼ 昭和16(1941)年8月20日(水)

天気 晴夕立

出社後八時船橋ニヨリ上京 九時過ぎ局ニ行キ工政課ト補給課ニヨル 價格委員会廿  
二日午前九時ヨリト決定 事ム所ニヨリ文部省へ電話サセタガ秋田氏石岡出張中トノ  
コトニ行クコトヲ止メ協会ニ行キ篠田氏ト晝食ヲ共ニシテ一時過ぎ帰ル 成工社主人來  
テ居タ。平松氏モ來 四時半迄事ムヲ取ル セコンダリー千弍百元ガ商工省デ千百元  
ニシタトノコトニツキ本庄氏モ出テ貰フガ生田ヲ呼ンデ居イタ方ガヨイト思テ電報ヲ打  
ツ

▲▼243ページ▲▼ 昭和16(1941)年8月21日(木)

天気 晴

五時起床 例ニヨリニュース、我レ等ハ翼賛スヲ聞キナガラ朝食 六時ラジオ体操 新聞  
七時工場出

今日ハ終日社務ヲ見ル 午後宇賀ト工員ノ作業状態精神作與等ニツキ意見ヲ交換ス  
營業費、製造間接費ノ十五年下期ト十六年上期ノ比較表ヲ作製 星野氏ニ貸ス  
夜九月カラガソリンガ更ニ強化セラルニツキ局デ使用量確保ノ爲メ必要ニツキ使用量  
予定提出セヨトノコト 明日最(ママ)非出セトノコトニ夜九時半頃迄カ、リ下書キヲ終  
ル

▲▼244ページ▲▼ 昭和16(1941)年8月22日(金)

天気晴

昨夜小便ヲモラス ツカレタラシイ

今朝八体操ヲ休ム

七時工場出 ガソリン使用量提出方ヲ命ジ上京 八時半有楽町着 本庄氏待合セ東日会館内デ今日ノ價格決定委員会ニ対スル対策ヲ相談シ九時半会場ニ行ク 十時全員揃フ 十一時半会議ヲ終ル 福田ハ生田氏不在 葉君來 プライマリー八百円セコンダリー千円ニ対シ尚將來再検討セラルベキ點ヲ保留シ承認決定 終テ食事ヲ共ニシ東日、文部省ニヨリ組合事ム所ニテ五時迄事ム 東日会館ニテ久シ振リニ坂本壽一君ニ會フ

▲▼245ページ▲▼ 昭和16(1941)年8月23日(土)

天気晴

五時起床 今日モ体操ヲ休ム 六時前朝食

七時出社 本望辞表ヲ出シタガ清平ニ留メル様命ズ 森川氏來 器材ヨリ合併増資ノ書類局へ提出シタガ器材ニ組立工場増設ヲ認メズ一度持ッテ帰ッタトノコトデアッタ 午後工賃計算書ニヨリ加給者ノ増加シタ状態ヲ調べル

兄ト星野社長ニ土地登記ノ件ニ行キ玉井ノ移轉料ノ件キメテ來タ由

午後三時ヨリ産業報国会野口氏ノ講演ヲ行フ 青年學校善行賞授與式ヲ行フ 初メテノ新制度

▲▼246ページ▲▼ 昭和16(1941)年8月24日(日)

天気晴

五時起床 八時工場出 木村作業課長ヨリ昨日ノ九一戦轉覆事件ノ報告ヲ聞キ自分ノ所信ヲ明ラカニシ処罰方針ヲ命ズ 今日午後調査ニ行ク由

九時丁度千葉市役所ニツク 千葉工新築落成記念事業協賛会寄附募集ノ打合会 各委員分担シテ各方面ニ交渉スルコトナリ自分ハ奥山君等ト船橋方面ニテ所デアッタ 開会九時五十分 今日早イ方デアッタ 帰途布施サンニヨリ注射シテ帰ル。スグ安静ニス 今日ハ氣持チモ悪クナラナカッタ

▲▼247ページ▲▼ 昭和16(1941)年8月25日(月)

天気晴

定刻出社 森川氏來 給料水曜日持参タノマレル

星野出社後木村、清平等ト打合セシテ取アエズ自分ト木村ト一昨日ノ九一戦事故ニ

ツキ御詫ビヤラ挨拶ニ中央養成所ニ行キ所長、機関科長、第一会計浅妻氏、整備科長等ヲ歴訪 挨拶ヲナシ工場ニヨリ昇降舵ヲ自動車ニツンデ帰ル  
朝宇賀ト本望、寄附問題、羽太氏住宅問題ニツキ想(ママ)談ス  
布施醫師來 全員ニツベルクリン注射ヲ行フ  
賄ノ報告書庶務課長ヨリ提出 自分ノ質問ヲハキ違エバンク的ナ報告書ヲ書イテ居タ  
夕方呼ンデ、ヨク話シテ聞カス

▲▼248ページ▲▼ 昭和16(1941)年8月26日(火)

天気 晴

今日モ暑イ日デアッタ 昨夕舟崎社長ヨリ明後廿八日中川総裁前長官等ト会食スルトノコトデアッタノデ長官ト福原氏ニ連絡ス 尚森川氏出席サセル様舟崎氏ニ電話ヲ進言ス

工場作業ニ数等調査ヲ初メル 午後先日來會議デキメタコトノ実行會議ヲ行フ 二時半終了ス  
会社ヨリ区長ニ寄贈シタ回覧板今朝初メテ廻ッテ來タ

▲▼249ページ▲▼ 昭和16(1941)年8月27日(水)

天気 曇雨

五時半起床 ラジオ体操 七時自動車來 船橋ニ行キ兄松戸へ登記ニ出張 自分九時前局ニツキ仁村少将ニ挨拶 工政課ト補給課ニ行キ飛行協會へ十時過ぎツク 武田大佐ニ拂下品ノ件 東少将ニ函館中學等ノ補助金件交渉 學校側カラ誰レカ來テ話シテ呉レバ考慮スルトノコトデアッタ 篠原氏ニ會ヒ納入予定ニツキ懇談。 地方部森格氏ニモ會ヒ午後組合ニツキエミ子ニすしヲ買ヒニヤリ晝食ヲ終リ振替傳票、通信類等 四時頃合板資材配給組合ノ松井氏ト會見 合板ニツキ懇談ス

▲▼250ページ▲▼ 昭和16(1941)年8月28日(木)

天気 晴

五時起床 七時工場 福原氏ニ電話ス 出席スルトノコト 來年度文部省型材料表ヲ作製 九分通り三時頃迄ニ終ル  
星野氏清平ト明日霞ヶ浦へ行クコトトス  
右二人ノ外ニ營業ノモノ三名共集メ函館新聞ノ残金ノ件昨日東少将ト懇談ノ結果ヲ話シ再申請方取計ヒヲ命ズ

三時半自動車來 星野氏ト船橋ニ行ク 時間ガ早スギルノデ船橋ノ宅ニヨリ四時二十

分出カケル 五時十分柳光亭着 マダ、ダレモ來テ居ナカッタ 中川氏舟崎氏森川氏、  
福原氏藤原氏ノ準ニテ來車 八時四十分終ル 中川総裁ハ初メテデアッタ。藤原氏モ  
中々アイソク舟崎氏ニ青年ノ初メテノ事ヲ云ヒ出シテ舟崎氏クスグッタカッタダロウ  
十時帰宅 十一時十分床ニ入ル

▲▼251ページ▲▼ 昭和16(1941)年8月29日(金)

天気 晴後曇リ

五時起床 七時工場出

終日工賃ト九五一型翼ノ調査ヲナス 記帳ガヨロシクナイノト字ガ見ニクイノデ目ト  
頭ガ非常ニツカレタ

夕方山縣記念碑ノ前デ防(ママ)サンニ拝ンデ貰フ 小供達チニ山縣ノ逸話ヲ語ル  
夜ハ日記ヲ明朝ニノバシ早ク床ニ入ル

▲▼252ページ▲▼ 昭和16(1941)年8月30日(土)

天気 晴後曇リ

定刻出社

午前中調査事項

午後会議予定通り開キタルモ乙竹課長松戸ヨリ東京へ出張トシテ居ラズ。星野、清平、  
木村、佐藤ト会談 気乗リノシナイ会議デアッタ 明日カラカード式実施ノ件木村ヨ  
リ材料不揃ノ爲メ実施出來ズ。イツカラヤルカ漸(ママ)定的ニ試験的ニヤレヌカト云フ  
モ返答ナク、タヨリナイ作業課長ダ 結局來月廿一日ニ延期 充分ナル調査ヲ行フコ  
トヲ命ズ

夜五次郎來 兄、清平、参吉、ツル、吉ト豚ニテ会食

▲▼253ページ▲▼ 昭和16(1941)年8月31日(日)

天気 雨

五時半起床 八時ヨリ五次郎ト成田山参拜 宗吾堂ニモ行キ堂前ニテ晝食ス 眞白イ  
日本米デウマカッタ。一時半頃帰宅

三時工場ニ行キ太田、布施トカード式実行ニツキ聞ク 太田ハ明日カラ実施スルツモリ  
デ居タトノコト 木村ノ言ガオカシイ

四時半梅津ヲ呼び工場作業ニツキ意見ヲ聞ク 材料待チノコト、修理調書不完全ノ事  
工務營業作業ノ連絡悪イコトヲ指摘シテ居タ。之レハ自分等モバク然トソウ思ツテ居タ  
ガ適切ナ話シデアッタ 非常ニ参考ニナル ヤハリ若イモノニ限ル オトナシイ男トノミ思

ツテ居タガ云ワシテ見ルト中々熱ガアル男ダ

▲▼254ページ▲▼ 九月

社員思想善導

工員増員

▲▼255ページ▲▼ 昭和16(1941)年9月1日(月)

天気 曇リ少晴

五時半起床 今日カラ五時半ノラジオ無クナル 六時ラジオ体操 定刻出社  
朝礼ノ時震災記念日ニツイテ震災當時ノ話シヲナス 最后ニ加給金ニツイテ一言話シ  
テ居ク

今日文部省型材料表全部終ル

有野氏午後來 猿谷氏同來 一三買ヒタイトノコトデアッタガヨク買ヘルカドウカ

今日畑取レタ芋ヲ初メテフカシテアッタノデタ方タベル ウマカッタガ西瓜ハマダ白クテ  
喰エナカッタ

▲▼256ページ▲▼ 昭和16(1941)年9月2日(火)

天気 晴

五時半起床 散髪後八時工場出 清平出社遅シ

木村作業課長ト打合せ 機械部解散ヲ進ム方針ヲ樹ツ

星野氏來 右話シ後チ庶務、会計改正案ヲ取キメル 終ツテ上京 飛行協会(晝食頃  
ツク 中正夫小田君ト晝食ヲ共ニス 斉藤君、森角君津川君篠原君、武田大佐ニ會見  
ス 拂下資材明日銅パイプダケ受取ルコトニキメル

三時半終ル 篠原君トハソアラ一試飛行ノ件交渉 明日局へ行クコトトス

下津佐氏ノ照(ママ)介ニテ徳治就職決定 住込ミナルトノコト 本人ノ爲メニモヨカロ  
ウ

▲▼257ページ▲▼ 昭和16(1941)年9月3日(水)

天気 晴

五時起床 定刻出社

清平風引ニテオソクナル。兄來 清平ニシカリヤツテ貰ヒタイコトヲ話シテ居ク

九時船橋登上海 局ニ行ク 乗員課長、補給課長ニ組合ノソアラ―試験ノ件話ス。村上氏多忙ニテ属ニ話シテ居ク 午後來テ呉レトノコト二十一時器材ニ行ク 三日前ニ入社シタト云フ赤坂少将ニ會フ。森川氏居タガイソノ間ニカ帰ッテシマッタ。畑氏十二時頃帰社 器材ノ塚本氏工場建築予定地檢分ニ行クコト社長ガ話シタ由デアッタ 組合ニ行キソレ、用件ヲ命ズ 昨日キメテ居イタ銅管ノ件大藪ヲヤッタ處財務デ研究ノ上デナイトヤレナイトノコトデアッタ由

三時徳治ト三越ニ行キ茶ヲ求メ下津佐氏へ礼ニ行キ夕方帰ル

◆▼258ページ◆▼ 昭和16(1941)年9月4日(木)

天気 晴

五時半起床 ラジオ体操 定刻出社  
來客藤枝女史 五六千円ノ貯金シカナイノデ身ノ上相談デアッタ 看護婦会ヲヤルタメ大坂へ修業ニ行クトノコト 大二賛成シテ居ク 金ハ増スコトヨリ支出ヲ減ズルコトニシ中學一年ノ小供ハ官費ノ學校ニ入ルコトヲ進メル

九八銀行へ行キ組合ノ取引ヲ東京へ写スニツキ依頼ス 銀坐二丁目ノ安田(ママ)介シテ呉レタ 三時同行ニ行キ手續キヲ終ル 明日支拂ノ小切手ヲ作り局ニ行ク 篠原シ差支アリ村上氏ト相談 協会ト直接交渉スルコトトス ソアラ―價格ノ件ニ割三分迄ハ大体認メル旨ノ諒解ヲ得

工場田中、榎本、細野三名アヤシイ點多ク調査ノ上解職スルコトトス

◆▼259ページ◆▼ 昭和16(1941)年9月5日(金)

天気 曇リ

昨夜信太郎ガ帰ラナクテ心配シタ夢ヲ見ル  
定刻出社 木村君ヲヨンデ入社中ノ機材ニ対シ修理調書ヲ早ク作ル事。富士ノ連中ニ警戒スルコトヲ命ズ 星野氏ヨリ増員ヲ命ズ  
清平立川へ細野ノ件資材ノ件ニテ出張ス  
今日ハ終日氣分悪カッタ 少シ早引ケス。夜スグ床ヲ取ラセ安静ニス  
亡き兄の 帰り氣つかふ 夢の中

◆▼260ページ◆▼ 昭和16(1941)年9月6日(土)

天気 晴

快晴 五時半起床 ラジオ体操 定刻出社

清平田中へ寄ッテ來タ由 居タガ町田外一名行ッテ居タトノコト 今日ハ富士組ノ者ダケ一名モ出社セズ 之レノ対策ヲ定メ宇賀ニ交渉ヲ命ズ 木村課長策モ何モナク頼リナシ

根岸君來 明後日九四偵二機飛來ノ由

星野今朝社長ト会见 十一日桜井部長招待スル由 佐藤氏木下氏出席交渉ヲタノマレル 來週土曜日來ル由

家内七度五分熱アリ 早ク寢サセル

▲▼261ページ▲▼ 昭和16(1941)年9月7日(日)

天気晴

四時頃ヨリ目サメル 五時起床 新聞体操 徳次ノ仕度ヲシテ八時半工場ノ自動車ニ積込ム 之レヨリ先キ野口氏來 明日ノ講習ノ打合せヲナス

フトン、机、トランク一個ヲ積ンデ行ク 山本山ニテお茶二百印ヲ求め行ク 主人讀賣新聞ノ依頼ニテ航空デーノ写真展ノ材料ヲ取ル爲メ出張シタトノコト 妻君ト娘ヲシイノガ居タ 妻君上ニトモ云ワナイノデ受付ノ處デ挨拶シテ歸ル。思ツタヨリ立派ナ家デアッタガ妻君ハ一寸氣持チヨクナカッタ 十二時帰宅。今日來タ不動全集ヲ讀ム 夕方徳次ノ爲メ自分デテキヤカツヲ作り送別宴ヲ張ル ビール一本ヨリナク酒ハアッタガ僅カノ日シカタナイノニ、ニゴツテ居タノデヤメル 昨日以來徳次ニ必要ナ注意ヲ與ヘル 家内今日ハ熱モ出ズ大分ヨサソウデアッタ

▲▼262ページ▲▼ 昭和16(1941)年9月8日(月)

天気晴

五時起床 定刻出社 宇賀、ニ職工ノ件清平ニ立川行キノコト細野母会见ノ模様等ヲ聞キ廻間ニ局出張ノ用件ヲスマセ九時五分自動車ニテ松戸ニ行ク 佐藤閣下午後二時來ラレトノコトニ名刺二十一 日午後五時出席ノ件ヲ書イテ預ケ夕方工場ノモノニ聞キニ行ク様命ジテ時間ガアルノデ木下シニ廻リ印旛飛行場ニ行ク 一時間五分カ、ル巨(ママ)離ニ二十五キロ 天王ノ曲リ角カラニ千二百米突 歸リハ工場迄五十分 二十一キロ程アッタ 所長石丸中佐教頭佐藤大尉ニ挨拶ス 富田氏庶務主任トシテ中々ハミヲ利カセテ居タ

帰場後滑空機工数調ベヲ行フ

傷病兵三十余名來 グライダー模型製作講習ヲ終ル 野口庄司両氏來

▲▼263ページ▲▼ 昭和16(1941)年9月9日(火)

天気 晴

五時半起床 新聞 体操 朝食 七時出社  
星野氏ヨリ霞ヶ浦出張ノ報告ヲ聞ク 沢井氏其他ヨリ免(ママ)倒ヲ見テ呉レルノデ嬉  
シガッタトノコト 明日技術指導ヲ受ケル爲メ角外八名出張サセルコトニキメル 正午  
星野氏ヨリ出張ノ心得ニツキ話ス  
來年度製(ママ)産予定ニ対シ工員増員ノ計畫ヲ木村課長ニ命ズ  
肥田木試験場へ出張  
明日A二五台受験準備ヲナス

▲▼264ページ▲▼ 昭和16(1941)年9月10日(水)

天気 雨

五時半起床 新聞 体操 朝食中ニュースヲ聞ク 以上近頃ノ日課ナリ 七時自動車  
來ラズ 出カケタラ寺ノ處デ會フ  
海軍監督官林監督官ニ面會 目下霞ヶ浦ヨリ受注ノ状況ト現在ノ職工数、合併問題  
過已ノ状況ヨリ將來ノ希望ヲ述ベヨク諒解サレタラシカッタ 八時五十分終リ局ニ行キ  
三木大佐ニ會ヒ以上ノ経過ヲ話シ尚航空本部ノ鬼塚氏へ分解器具ノ件依頼ス 石島  
氏ニ會ヒ航本グライダー材ダメ 航空材ダケヤツテ呉レルトノコトヲ聞ク  
協会武田大佐ニ會フ 材料拂下諒解成リ山口氏トオギクボニ同道 現品調査ノ上更ニ  
協会ニ帰り引取り方単價ニツキ打合せ、後チ佐藤氏ニ會ウ プライマリー七五〇円ニシ  
ロトノコトデアッタガ明後日再会ノコトトシテ分レル  
組合事ム所ニヨッタガタレモ居ラズ 五時帰途ニツク。  
夜大藪來 今日ノ報告ヲ聞キ明日商工省行キヲ命ズ

▲▼265ページ▲▼ 昭和16(1941)年9月11日(木)

天気 小雨

五時半起床 毎日ノ通り  
定刻出社 組合員ニ対シ協会納品遅延ニ対シ警告ヲ発ス。前田、置手紙ヲ書ク  
星野氏ヨリ昨日横須賀へ行ツタ報告ヲ聞ク 自分ヨリ東海林氏ニ會見ノ模様ヲ話ス  
事ム員根本火曜日ヨリ行違不明 親等ト清平交渉中。田中モ日曜以來不明  
午後昨日霞ヶ浦出張者ヲ集メ報告ヲ聞ク 結局設備ト増員ノ急務ナルコト  
菅谷正良ヨリ電話アリ 夕方鈴木館ニテ會見ス ドコカ大飛行機会社ノ企画課長ガ海  
軍ノ注文ト職工二十名余リヲ連レテ來タイ者アリトノコト。変ナ話シダガ少シ其先キ  
ヲ知ルコトモ面白イト思ツタノデ條件次第デ考慮スル旨答へ九時頃迄会谈 小梅、恵  
美子久シ振リニ會フ

▲▼266ページ▲▼ 昭和16(1941)年9月12日(金)

天気 曇り

定刻出社 八時出ル 津田沼ヨリ乗車 組合出 今日ノ佐藤氏トノ会見ニ必要ナ材料  
フトノエアトハ誠意ヲツクシテ説クダケデアル 晝静カニ不動尊ヲ念ズ 一時半協会ニ  
行ク 二時半会見 予定通り話シヲ進メル 自分ノ誠意ヲ認メラレ八百円デ承認ヲ得  
タ。努力シタダケニ嬉シカッタ 武田大佐篠原氏ニソアラ一試飛行ノ事ヲ話シ諒解成リ  
正式ニ文書デ出スコトニ取キメル 四時事ム所ニ帰り斎藤君ニタノマレタ廿日迄ニ文部省  
型何機出來ルカノ照(ママ)介電報ヲ打ツ  
八月分決算ヲナス 五時半頃迄カ、ツタガ合ワズ 日曜ニヤルコトニシテ帰ル 七時帰宅  
ス 腹ガヘツテ、クタブレタ 入浴 夕食 元氣ヲ取モドス  
徳治ヨリ手紙來 思ワズ涙ガ出ソウニナッタ

▲▼267ページ▲▼ 昭和16(1941)年9月13日(土)

天気 晴

定刻出社 九時社長來 監督官会見ノ報告ヲナス 星野氏ヨリ諸報告ヲナシ佐藤ヨリ  
発動機工場ノ設備説明 木村ヨリ海軍機整備ノ爲メノ設備ヲ説明 双方共着手スベ  
キ事デ諒解ヲ得 十一時半帰ル 大体満足セラレタル如シ  
午後木村、清平、星野氏ト会議 養成工ノ件他数件ヲ定メ二時半終了  
宇賀ニ工賃自発的ニ出社退社ノ時間ヲ能率的ニスルコト増員計画ヲ命ズ  
四時半帰宅 新聞  
夜大藪來 協会請求ノ模様局ヨリ協会分納入遅延ノ分ニツキ嚴重ナル交渉アリタル  
由

▲▼268ページ▲▼ 昭和16(1941)年9月14日(日)

天気 曇小雨

六時起床 組合決算ヲ終ルツモリノ處根本ノ父來 後チ小倉ノ小西君來 模型屋ヲ  
ヤツテ居ル由 仕入レノ爲メ來タトノコトニ模型屋ノ話シ聞ク 正午工場ヲ案内シ航空  
神社ニ詣デテ帰ル。自分醫者ニ行キ一時帰ツテ食後安静ニス 気分悪クツヒニ其マ、仕  
事ハ出來ナカッタ  
夜大藪ヲ呼ビ明日ノ仕事ヲ命ズ

▲▼269ページ▲▼ 昭和16(1941)年9月15日(月)

天気 曇小雨

五時半起床 定刻少シ遅レテ出社。八時半津田沼駅ヨリ乗車 組合ニ行キ工政課ヘ行ク爲メ納入成績表ヲ作製 二時行ク。ヨク説明シ諒解ヲ得タガ十三機ドウシテモ入ルトノコト ソンナコトナラ直接組合ヘ云ヘバヨイノニ 四時迄居リ大体ノ目鼻ヲツケ帰途美津濃ニヨリ田島ニ会ヒニ台間ニ合セルコトニキメ石島君ニ電話シテ帰ル 夕食ヲ終タ處ヘ井上武三郎氏來 二十年振りデアッタ 出征中ノ珍ラシイ話シヤラ色々聞ク 九時床ニ入ル 同氏泊ル

▲▼270ページ▲▼ 昭和16(1941)年9月16日(火)

天気 曇夜雨

五時半起床 新聞 体操 井上氏六時一寸前起床 朝食ヲ共ニシ工場ニ案内 八時過ギ帰ル お土産ニ羽布十ヤール持タセテヤル 嬉(ママ)ンデア居タ 佐野利一君來 久シ振りデア會フ 十一時過ギ追話シテ帰ル 午後工ム、作業課長星野氏ト人事 工員、其他ニツキ相談ス 組合作用件ヲ整理シ廿五日大坂デア会議ヲスルコトニキメル 明日事ム所ヨリ通知ヲ出スコトトス

成工社ヘ三ミリ一ケ五十キロ發送セシムルコトトス

福田氏ヘ一五水上ノ讓渡証奈良原氏ノ捺印ヲシテ送ル 青木仙ニ命ズ

▲▼271ページ▲▼ 昭和16(1941)年9月17日(水)

天気 雨

終日雨

航空器材ヘ九時半頃ツク 森川氏丁度來テ居タ 今日今畑氏ガ海軍ヘ行キ後千局ヘ願書ヲ出シニ行ク予定トノコト 海軍ノ受注工場ノ現在ヲ話シ退社員ニツキ報告 榎本ノ件河内氏ヘ引取り方ヲ森川氏ヨリ話スコトニ打合セル

協会ニ行キ部品拂下問題取キメ終ル 夕方價格モ決定ス。飯沼君ニ會フ

一時日日ニ行ク 鷺見氏ニ會フ 丁度幸ヒ組合ニ同道シ都合ヲ聞ク 東一人這入ル予定トノコトデアッタガ今年中ナラ手傳エルトノコトニ具体的ニ清平ヲヤルコトニシテ依頼ス

三時頃帰ル 夕方生田ヨリ十九日上京スルトノコトニ廿四日下坂ノ通知ヲ見合セル

▲▼272ページ▲▼ 昭和16(1941)年9月18日(木)

天気 雨

終日工場 雨降續ク

富士ノ職人大部分止マルコトニ決定 尚三名新入社ストノコト 處ガ要求ガ大キ過ギテ日給折合ワズ帰ツタ由 法制上カラモコレ以上出セナイノデ余リ期待ヲカケナイコトトス

乙竹ニ木村工政課入りニツキ意見ヲ聞ク

宇賀ニ新規入社ノ募集方法並ニ來年ノ小供ノ募集方法ヲ聞ク

日本楽器ベニヤ製作見学ノ件取キメ來週二三名ヲヤルコトトス

▲▼273ページ▲▼ 昭和16(1941)年9月19日(金)

天気 雨後曇リ

午後ヨリ北風強ク雨上ル

八時半船橋発ニテ上京 組合入り今日ノ会議ノ下調べヲナス 成工社へ電話ニテ未定ノ見積リヲ一時迄ニ持参スルコトヲタノム

正午東日会館ニテ本庄氏ト會見 今日ノ會議ニツキ懇談 同氏重役会ノ爲メ出席不可

生田氏來 二時頃全部揃フ 各議案ヲ話シ今月末又ハ來月初メノ總會迄ニソレ々考慮或ハ調査ヲ依頼シ五時散会ス

▲▼274ページ▲▼ 昭和16(1941)年9月20日(土)

天気 晴

久シ振リデ爽快ナ朝デアッタ

朝礼後航空神社前ニテ航空日ニ対スル所感ヲノベル

組合協会分再注文書ノ下書キヲ作製ス

晝食後給金ノ基礎算定案ニツキ會議ヲナス 木村課長考ヘテ居ナイラシカッタ 太田ノ意見ハ我意ヲ得タ 之レニキメルコトニシ尚率ニツイテハ調査廿四日迄ニキメルコトヲ命ズ 二時半ヨリ星野氏工員全部ニ訓示アリ 三時ヨリ鈴木代議士ノ(青木會計ノ紹介)時局談アリ 一時間半ニ渡リ中々上手デアッタ 精神訓話ニ及バナカッタガ時局認識ニハ大二役立ツタ

▲▼275ページ▲▼ 昭和16(1941)年9月21日(日)

天気 晴後曇リ

五時五十分起床 揃ツテ朝食後スグ庭ニ降りハダシニナツテ小鳥トニワトリノ小鳥屋カラフンノ掃除ヲナシ氣ニナツタ盆栽ノ植替ヲ行フ 今日新タニ黄梅ヲ石付ケス 庭ノ林

ヤ草モ取り一時頃終了 晝食 丁度兄トツル姉清ヲ連レテ來タ  
午後ハ静カニ考ヘヲ組合ト工場ニ巡ラシ今後ノ方針等ヲノートス  
夕方早イ風呂ニ這ル

仁三郎六時頃帰り今日ノ滑空大会最後ノ出場者デアッタ處直前ノ宮崎ガコワシテ出  
ラレナカッタトノコト 千葉工六ドウモグラライダーニツイテハダメダ 今日モ担任ノ先生  
ガツヒニ來ナカッタトノコトデアッタ 校長モ近所デアアルノニ來ナカッタトノコト

佛手柑、アケビ施肥

▲▼276ページ▲▼ 昭和16(1941)年9月22日(月)

天気 曇リ

五時半起床 新聞 体操 食事 大藪ヲ呼ンデ、用事ヲ命ジ七時半出社 庶務ノ仕  
事ニツキ箇條書キニシテ乙竹不在 野中ニ渡ス

九時奈良原先生ト共ニ上京 組合ニヨリ用件ヲ命ジ晝食後十二時半東京駅着 一時  
三分発車。渡辺、原、相羽、亀サン同車 小栗豊間兩氏ニ等ニ居リ川辺君熱海ヨリ同  
車ス 五時五分着 根岸君向ヘニ來テ居タ 六時過ギ根岸飛行場着 官舎ニ入ル 大坂  
ノ井上先着シテ居ルト思ッタラ武三郎氏來テ居タ 長一君ハ三保園ニ居ル。氣象台ノ  
好意ニテ氣象予報他二三ノ映画ヲ見、橋ニサガシタ自動車デ羽衣ホテルニ行キ八時過  
ギ夕食ニツク 久シ振リニノムビールハウマク話シモ面白クツヒノンデシマッタ 十時予定  
ヲノバシテ血ノ巡リノヨイノガ氣持チヨク感ゼラレタ  
青島ニ明日來ル様電話ヲスル

▲▼277ページ▲▼ 昭和16(1941)年9月23日(火)

天気 晴

予報ヲウラギツテ次第ニ晴レル

五時半頃起キ出ル 相羽君一時間程散歩シテ來タトノコト 中々精力家ダ 羽衣ノ松  
ヲ見星野氏ノ繪葉書ヲ求メ 富士ハ見エナイガ松原ノ砂丘ト海ハヨカッタ。宿ノモノ  
中々起キズ八時頃漸クお茶ト食事。庭ニ一本ノ櫻アリ数輪咲イテ居タノデ取ロウト  
飯沼君ステッキヲ稍ニ引カッテ取レナクナル。豊野(ママ)氏登ツテ取ル 一クキ日記ノ中  
ニ押花ス。九時青島來 皆ニ引合セ引ツゞキ井上長一君來。御穂神社ニ参拜 記念写  
眞ヲ取ル コヽデハ次郎長親分ノニ合入ノ貧棒(ママ)徳利ガ大分買ワレタ 根岸君宅ニ  
行キ十一時半ヨリ松林中ニツクラレタ、野外ランプデ初マル 中々上種デエビハウマカッ  
タ 井上武三郎氏寄贈ノ松茸モ出ル 純綿ノカシモ皆ニ嬉(ママ)バレタ 酒ト藝者三人ハ  
根岸君ノ好意デ、ジヤマニナラズ 土産トシテ茶切節ヲ聞カセル

終り頃八井上長一君ノ、例ノ一流ノワイ談デ腹ヲカ、エル 富岳モ又少シ顔ヲ出ス 愉快ナ一日デアッタ

四時廿九分(ママ)ニテ大坂ニ向フ 他六四時三十二分ニテ東京へ帰ル 清水ニテ東西二分レル

▲▼278ページ▲▼ 昭和16(1941)年9月24日(水)

天気 雨

六時起床 朝食後佐市ガ夜勤ヨリ帰りニ會ヒ出懸ケル 御墓ニ参ッタガ花ガシオレタマ、ニナツテ居タ 彼岸ト云フノニト思ツテ前ノ花屋へ行ツタガ花ハナカッタ

東洋金属ニヨル 藤原塗料ノ山本ニ會フ 晝食後布施へ行キ西村製作所ニ寄りタンバツクルボールトニツキ協議 信用シ借ルト思タ 藤原ニ行キ主人ニ會ヒ工場ヲ見セテ貰フ。貧弱デアッタガ仕事ニ熱心ナ人ラシイ 山本ノ話シス 主人ハ引合ワナイノデグライダー塗料ヘヤラナイト云ツタノデ山本ノ熱デヤルコトニナツタトノコトデアッタ ソレデハ清和トノ競争ナド出來ルカヲ再三山本ニ念ヲ押ス 六時頃帰宅 大雨ニラレル 松谷ノ姉ノ宅ニ行キ泊ル

▲▼279ページ▲▼ 昭和16(1941)年9月25日(木)

天気 曇リ

姉ガ心配デタマラナイラシイノデ広瀬ノ番頭山本氏ニ會ヒヨク話ス 同氏ハヨク古イコトモ知ツテ居テ個人トシテハ御話シスルコトサエ控エタイト思フトノコトデアッタ 姉モ安心シタコトト思フ

尼ヶ崎ノ美津野ニ行キ晝食後福田ニ寄ル 藤原ノ方ヲアク迄ヤラシイノデ意見ダケ聞キ協会ノ注文年内納入分ヲ嚴重ニ話ス セコハ光ニ、ニ 文部省型ハ光一、三ニシテホシイトノコトデアッタ ニ、ニノ方ハ協会ト相談ノ上返事スルコトトス。大毎ニ大蔵ニ會ヒ航空工業ノ倉橋君ニ來テ貰ヒ本みやけデ大蔵ノ馳走デ夕食。倉橋君ニ卒業生ノ件ヲタノミ九時頃帰宅 スグ床ニ入ル

▲▼280ページ▲▼ 昭和16(1941)年9月26日(金)

天気 晴

五時半起床 朝食後別レヲ告ゲ墓参 花ヲ上ゲアベノニ行キ風呂釜屋ヲサガシ、ステンレスデ出來テ居タノヲ求メ發送ヲタノム。代三十九円三十銭 荷造三円。航空局出張所ニ行キ金井氏ニ會ヒ共ニ清和ノ主人ノ案内ニテ尼ヶ崎ノ清和工場ニ行ク 往復ノ車中ニテ手持チ材料無クナツテモ絶対ニ値上ゲシナイ言質ヲ得 梅田ニテ分レ金井氏ト

坂神ビルにて晝食。今回ノ塗料ノイキサツヲ話シ分レ東洋ニヨル。誰レモ居ラズ社員ニ清和以外ニ藤原ヲ組合指定工場トスル件福田ト協議サレル旨依頼シテ京都ニ行キ第一第二両校ニ來年卒業生ノ件ヲ依頼。アマリ効果ハ期待出來ナイ。再ビ大坂帰り福田ノ生田氏ニ塗料ノ件ニツキ手紙ヲ出シ映画ヲ見テ時間ニ消シ八時三十一分發ニ乗車。スグ寢台ニ入り京都モ知ラズ眠ル。

▲▼281ページ▲▼ 昭和16(1941)年9月27日(土)

天気 晴

五時半起床シタガ寢台車ハ外モ見エズ下ノ人が起キナイノデ据ル處モナク不便ナモノダ。洗面シタラ丁度丹那トネル内デ今日ハヨク見タノデアロウト思ワレル。富士モツヒニ見ナカッタ。食堂ガナイノデ昨夜今朝モ食事ヲ取ラズ。器材ニ行ク。八時十分スデニ大部分ノ人ハ出デ事務ヲ取ツテ居タ。感心ダ。來月ニ日松戸工場ノ件デ会議ヲスルトノコトデアッタ。

局工政課ニ塗料ノ件報告ニ行ク。商工省モ一本立デナイト量ガ少ナイカラ分ルコトハ不都合ダトノ意見ノ由デアッタ。福知新治氏ト會ヒ陸軍ノグライダーニ対スル意向ヲ聞キ來月早々立川ヘ同行ノ約ヲシ組合ニ行ク。

晝食ハエミ子ノ辨当デスマセテ帰社。富士ノ連中ノ件其他ヲ聞キ明日清平東京飛行機ヘ行クコトトス。

三時小林君來。鋌打作業ノ講演アリ。

根岸君九四偵ニ機飛來ス。

▲▼282ページ▲▼ 昭和16(1941)年9月28日(日)

天気 曇リ

六時起床。体操。八時工場出。安岡ニ渡ス計算ヲナシ會計居ナイノデ竹内出タラ入レル様封筒ヲ作ツテ渡シテ居ク。

職業指導所ノ人來。轉業者ノ件。大坂航空工業ノ件話ス。

九時半ヨリ藤枝ノ宅ニ行ク。老母一人居リ一通リ話シテヤル。決心ガツイタラ積極的ニ進メル旨述ヘテ布施サンニヨリ注射シテ十一時半帰宅。床ニ入ル。今日ハ気分悪クナラナカッタ。

午後航空局作業ニ対スル工場設備ニツキ計算ス。

▲▼283ページ▲▼ 昭和16(1941)年9月29日(月)

天気 曇晴

五時半起床 新聞 体操 朝食 ニューズヲ聞キ大藪ヲ呼ビ今日東部特免入金ノ打合せヲナス

八時前工場出 工場内ヲ見ル 清平出社セズ電話ス 羽田ヘ行ツタ由  
星野氏出社 支拂ヒト入金ガ余リニヘダタリガアルノデ、アセリ気味ニナツタトノコトデアツタ 工場内ノコトハ分ラナイノデタノムトノコト 自分モ氣ニナツテ居ルノデ調査ヲ進メテ居ル次第 過日云ヒ付テ居イタ増員計畫書ガ出來テ居タノヲ見ル。コレニヨルト余程現在デモ出來ナケレバナラナイ筈ダ。

青木午後一時半頃銀行ヨリ帰ル 星野ト三人相談ノ上組合分式千五百円内金トシテ支拂フ 六千円ノ前ノ貸シハ五日迄ニ出來ルダケ入金スルコトス 廻間ニ大急ギデ持タセテヤル

三時過ギ藤枝夫人來 ヨイ大ニヤルトノコトヨク話シ高橋君ニ開店ノ世話ヲタノム手紙ヲ書イテ貰(ママ)タセテヤル

千葉工緑川先生來 宇賀ヲ付ケテ白鳥ヘヤル 丸山氏不在

▲▼284ページ▲▼ 昭和16(1941)年9月30日(火)

天気 雨

相當降ル 五時半起床 定刻出社

終日作業計畫案ニツキ調査研究ス 少々悲觀的ダ 何ントカ方針ヲ變エネバナラナイ。ドウシテモ受取制度ニスル外アルマイ

夜テンプラデー一杯ヤツタラ、スグ眠クナツテ七時過ギ眠ル

▲▼285ページ▲▼

思想善導 能率増進計画

常会善導

▲▼286ページ▲▼ 昭和16(1941)年10月1日(水)

天気 雨

時事 南九州颱風ニオソワル 列車鉄橋ヨリ河中ニ墜落 死者多数

五時半起床 昨夜酒ヲ一合余リノンデ寢タラヨク眠レタ 明日器材ノ会合ニ對シ準備トシテ津田沼工場ノ現在將來ノ計畫書ヲ作ル 夜十一時半迄カゝル

定刻出社 本日ヨリ七時五十分初マリ スグ上京ス 器材ニ板垣君ト会ヒ慎ノコトニツキ打合せ 文部省ニ秋田山崎氏ト会フ 合板ノ件塗料ノ件ニツキ想(ママ)談 山崎氏ダケニ福田ノ一二型ニツキ話ス。局ヨリモ文部省型ノ違ツタモノガ出來テ居ルトノ注意ガ

アリタル由

協会三行ク 吉井氏ニ五日迄ニ半分ダケデモ支拂フ様話ス 後刻返事スルトノコト。篠原氏ニ会フ 氏一流ノ組合攻撃アリ、松下ノ家ノコトナド知ツテ居タ。東日ニヨリ鷺見君ノコト和田氏ニ依頼 大体ヨカッタ 本人ニ聞イテ返事スルトノコト

慎ニ帝国ホテルニ會フ グライダー製作指導者ヲホシイトノコト スグ入ルトハ虫ノヨイ話シ 考慮ヲ約ス

組合ニテ名古屋合板ノ人ト会ヒオソクナリ五時出テ帰宅七時

▲▼287ページ▲▼ 昭和16(1941)年10月2日(木)

天気 晴

朝マダ雨風アリ 昨夜ハカナリヒドカッタ 颱風ハ今朝佐渡ノ方へ通過シタル由 八時頃ヨリ次第二晴レル

七時十分出 八時半器材ニツク 九時ヨリ会議 舟崎、今里、畑、元松、清水、矢野、赤坂、板垣、日野原、以上器材 自分森川、星野、木村伊藤ヨリ参加 合併ニトモナヒ松戸ノ建設事務ヲ器材へ写スコトトシ事務引ツギ松戸財産ノ引渡シヲナスコト 土地買収掛リ久太郎引續キ行フコト等決定ス。将来ノ方針伊藤ノ分ニツキ自分ヨリ、クワシク調査ニモトツキ説明ス 赤坂氏方針ニツキ新造機迄ヤルツモリナリヤ否ヤ、シキリニ聞イテ居タ 自分ヨリグライダー並ニ試作ニツキ意見ヲノベル 大体赤坂氏トノ意見ニ同一デアッタ 他ハ何ンデモヨイ スグ黒字ニナル様ニトノ方針デアッタ 社長モヤリタイガ、今ノ處其方針ヲ取リタイ旨述ベル

十時半終リ森川氏ト事ム所ニ行キ正午過鷺見氏ト同道中華第一楼ニテ晝食ヲ共ニス 南波氏ヤメラシイトノコトヲ聞ク。

局ニ行ク 村上氏ニ文部省ト交渉ノ際資材ハ局一源ニサレタキ旨述ベル

▲▼288ページ▲▼ 昭和16(1941)年10月3日(金)

天気 晴

五時半起床 晴レ 協会集金ノ件大藪ニ命ジシテ出社。午前中滑空機、九三中練等ノ工数調査ヲ行フ 星野ヨリ組合ノ金ノ件話シアリ 残金三千七百円ニナル旨答ヘテ尚自分ノ机ヲ下ニ置ク爲メ位置ノ入レ替等ヲ命ジテ協会ノ金氣ニナルノ晝食後上京協会ニ行キ大藪ト會ヒ種々交渉ノ末五千円ダケスグ小切手ヲ書カセ外ニ前田ノ分モ貰ヒ組合事ム所ニ歸リ

もず鳴いて 鎮守の森に 月白し

◆▼289ページ◆▼ 昭和16(1941)年10月4日(土)

天気 曇晴雨

定刻出社 午前雑務 晝食後会議 梅津ヲ整備ヲ見サセル事ニキメル 其他二三取キメ家内ト和子ト兄同道船橋市ヘ行ク 椅子ヲ買ヒ三行ツタガナカッタノデ、シヤベルダケ買フ 清平宅ニアツケ帰ル 電車ガ三十分以上來ナカッタノデ混雑ハゲシク、乗レナイ人ガ多カッタ

庄司航空士受験ノ爲メ帰ツテ來タトノコト

夜飯田來ル 十年式ノマグネット借りタイトノコト

◆▼290ページ◆▼ 昭和16(1941)年10月5日(日)

天気 晴

今日ハ亡き母の三十六年

九時ヨリ千葉ヘカナリヤガ鳴カナイノデ取替ニ行ク 式田足シテ買ツテ來ル 今度ノハ音楽ヲヤルト鳴キ初メタ 有望ラシイ

晝食又キデ夜兄夫妻ト夕食ヲ共ニス 母ノスキデアッタ五目すしヲ作ル

午後ハ近所ノ人ニ御詠歌ヲ上ゲテ貰フ

組合ノ発注帳ヲ記入シ後自宅ノ屋敷ノ側(ママ)量ヲナシ台所ノ改造圖ヲ作ル

ヨイ明月デアッタ

八時頃ヨリ初メテ夜トボシニ行ク 十一時半帰ル 風ナク月明ルク上天気デアッタガ漁ハ少ナカッタ

◆▼291ページ◆▼ 昭和16(1941)年10月6日(月)

天気 晴

五時半起床 六時四十分自動車來 佐藤ニヨリ松戸行き 七時四十分着 誰一人仕事ヲシテ居タ 洗濯セルモノ等アリ 吉田ハ八時二十分來 佐藤九時頃來 イマシメル尚工数、在庫、作業、等各状態ニツキ調査シ整頓ダケハヨク出來テ居タノデホメテ居ク 尚佐藤ニ八田中ノ例ヲ上ゲ人カラ疑ヒヲ受ケルコトナキ様特ニ注意ヲ與フ

養成所ニ行キ朝妻氏ニ挨拶シ支柱ノ件修理シテ使用ノコトヲ諒解ヲ求メ所長ニ会ヒニ行ク 飛行場ヘ行ツタトノコトニ飛行科ニ行キ階上デ會談 支柱ノ件ニ及ブ 養成所ニモアル旨話スト、スグ朝妻氏ニ電話 在庫ヲ伊藤ヘ貸シテヤルコトヲ命ゼラル 後チ調査ノ結果アルガ寸法ガ合エバ貸ストノコトニ明日分ルモノヲヨコスコトトス

帰途墓参シ、カツシカノ盆栽屋ニヨリ頼ンダ鉢ヲ貰ヒ帰ル

青島明朝七時ツク旨電報アリ。夕方机ノ位置ヲ直ス 自分ノ机モ下ヘ下ス

▲▼2922ページ▲▼ 昭和16(1941)年10月7日(火)

天気 曇晴

五時半起床 新聞 体操 朝食 出社例ノ通り

八時キツカリ藤枝君來 間モナク青島來ル 階上ニテ引合セ午後崎元ノ会社へ行クコトニキメル

角中央養成所へヤル 青木仙駅へ齋藤氏ヲ迎へニカツ積込ミ交渉ニヤル 十時頃齋藤氏ト來 結局明朝ノ貨車ニツムコトトナル

星野氏出社 昨日木更津へ行ツタガ誰レモ居ラズ無駄ヲシタトノコトデアッタ

晝食後青島、藤枝ト上京 三時帝國模型会社へ行キ石川専務、崎元氏ト會見 ○公

今月中ニキマル由 其上デ開店シタ方ガヨカロウトノコトデアッタ 尚同工業組合ニ行ト大坂商店ニヨリ、ソレヘ依頼シテ浅草橋デ分レテ帰ル

夜鈴木伊四郎來 來月一日ノ祭典ノ打合せヲナス

▲▼2933ページ▲▼ 昭和16(1941)年10月8日(水)

天気 晴

五時四十分起床 大藪ヲ呼ビ東亜企業交渉ヲ命ズ

工場出 八時半ヨリ上京 青島同道文部省ニ行ク 西原少佐ニ會フ 今夕會食ヲ約シ

松下氏ニモ出席ヲ求メ、篠原氏ニ電話ス 札幌行キB八間ニ合ワナイコトニ怒ツテ居タ

ガ今夕ハ外ニ先約ガアルガ後デアレテ呉レトノコトデ試験場ニ行ク 丁度正午 川崎航空官ニ會ヒ、九五、一型支柱ノ件諒解ヲ得 アトハグライダー資材ヤ仕事ノコトニツキ協

議ス。飛行組合ニ歸ル 清和ノ主人ト伊藤君來テ居テ生田氏悪ルカッタ旨謝罪 藤原

ハ止メ残ル問題ハ山本ノ身分ノコトダケデ之レハ清和ハ讓ツテ呉レトノコトダガ清和トシテハ藤原サンニ対シスグハ困ルトノコトデアッタ 決極(ママ)生田氏ニ引受ケテ貰フコトガ

一番安全ナ方法デアアル。平松君來。引續キ昭和航空計器來 三時四十分ニナル 急イ

デ協会ニ行キ篠原氏ニ會ヒ訓練部ニテ九四組立要具ノ件取キメル 四時五十分文部

省ニ行ク 局カラ石島氏畠山氏來テ何ニヤラ協議中デアッタ。丁度五時 松下氏ト同道出カケル 航空本部迄二十分カ、ル 西原氏同道○ヤニ行キ八時頃逓會見 意見ノ

交換ヲナス

▲▼2944ページ▲▼ 昭和16(1941)年10月9日(木)

天気 晴

定刻出社 終日在社 午後会議 各課長ト星野氏Y39作業ノ件外数軒 防空寅(マ)マ習ニツキ明日午後更ニ会議ヲ行フ事  
定刻終ツテ帰宅 大分カワイテ居タノデ植木ニ水ヲヤル  
小倉ノ小西カラ菓子ヲ送ツテ來テ呉レタ

◆▼295ページ◆▼ 昭和16(1941)年10月10日(金)

天気晴

五時半起床 定刻出社。九時工場ヲ出千葉工業新築落成式ニ参列 式後会食 一時帰宅。

海軍九三中練初ノ検査アリ 終了(ママ)カ、本日鈴木館ニ泊ル 星野氏角接待ニ行ク 明日松戸ノ分検査ノコト  
右ノ爲メ本日午後ノ会議中止ス

◆▼296ページ◆▼ 昭和16(1941)年10月11日(土)

天気晴

七時半ヨリ上京 局ニ行ク 畠山、石島氏ヨリ文部省部品セット五百五十円デキメタカラ承知シテ呉レ、スグ商工省へ廻シタイトノコトニ交渉ノ予(ママ)地ナキコトヲ確カメル。石島氏ヨリ報告願ニツキ希望アリ 配給ヲ強化スベシトノ意見モアリタリ  
正午帰宅 晝食後工場ニ出ル

星野定例社長会見、來週土曜日社長來社ノ由。兄器材へ土地ノ事務引ツギニ行ク  
午後会議ノ予定ナリシモ作業課急(ママ)ガシク明日ニス

◆▼297ページ◆▼ 昭和16(1941)年10月12日(日)

天気晴

朝防空演習ニツキ一場ノ訓示ヲナシ後チ役割ト方法ニツキ宇賀ヨリ説明ヲナス  
九時頃帰宅 入浴ス 井上武三郎氏ヨリ上等ノ松茸送ツテ來ル 近所ヤ親類ニ分ツ自動車ニテ島田君ノ宅ニ行ク 不在 幕張駅ニテ會ヒ早く着手スルコトヲ進ム。白戸ニヨリ新工場へ行ツテ居ルトノコト。藤枝ニヨル 店ノコトヲ聞ク 縣庁内ニ高橋君ヲサガシタガ居ラズ。白戸工場ニテ妻君ニ會ヒ模型材料製作方ヲ進メテ表具屋ニヨリ布施サシデ注射シテ帰宅。就床 俳句讀本ヲ讀ム ラジオヲ聞キ夜八圍碁 内デ兄ト今日ノ松茸ニ牛肉ヲ買ツテ居テ共ニ食フ

◆▼298ページ◆▼ 昭和16(1941)年10月13日(月)

天気 曇り

五時半起床 大藪ニ組合用件二三ヲ命ズ 八時出社 正午迄現在ノ作業状況調査  
速(ママ)進方針ヲ定ム 作業工務検査等会議ス  
材料発注書発送セシメ廻間上京 パイプノ件其他出張  
明日青木横須賀へ 明後日角養成所行き命ズ  
夕方内外燈管ノ状況ヲ調査 稍ヤ良好  
帰宅夕食

恵美子事ム所ヨリ帰ル 今朝徳次ノ處へ芋ヲ持ッテ行ッたら丁度學生ラシイ人ノ写真  
原板前任ガ居ナクナッテ不明ニテ、シキリニ謝ッテ金ヲ返シテ帰シタ處デアッタトノコト  
色々経験ヲスル事ダ

▲▼299ページ▲▼ 昭和16(1941)年10月14日(火)

天気 曇り

五時四十分起床 定刻出社  
正午消火演習ヲ行フ。フザケ半分ノ者アリ 後チ訓話ヲナス  
鷺見君來 四時過ぎ帰ル  
九五三型内部検査來ル  
野口君來 縣保安課ノモノ二名來 東亜ノ調査ニ來タラシイ

▲▼300ページ▲▼ 昭和16(1941)年10月15日(水)

天気 晴

朝秋冷ヲ覺ユ 定刻出社 平松時善氏二三式ノ件返信ヲ書キ東京ニテ速達ヲ出サセル  
九時ヨリ自動車デ出カケたら故障ヲ起シ一時間待ッタガ駄目デ京成ニテ上京 成工  
社へB八金具ノ件ニテヨル 不在ニテ分ラズ 三時頃電話シタガマダ帰ラズ明朝電話スル  
様依頼ス

組合ニ行ク 森川氏來 今日社長カラ海軍ノ意向ナリトテ松戸ニ於ケル設備ニ対スル  
増資ニツキ海軍デ斡旋スル爲メニ八局カラ頭ヲ下ゲテ頼ミニコイトノコトデ其旨局へ話シ  
テ呉レト社長カラ話シガアツタガ出來ナイト云ツたら社長ト二人デ出カケタトノコト  
デアッタ

有野、小松両氏ニ會フ 早クカゝル様進メル  
清水君ト電話デ話ス 鷺見君ト電話デ話ス 廻間協会へ行き九四要具ノ件話サセル  
武田、津川不在 要領ヲ得ズ

三時過ぎ出テ三越ニヨリ小鳥ノエヲ求メ帰ル

◆▼301ページ◆▼ 昭和16(1941)年10月16日(木)

天気 晴

秋晴レノ上天気 定刻出

朝木村作業課長清平、梅津ト作業上ニツキ会談

星野出社後宇賀ノ心構ヘニツキ話シアリタリ ドウモ星野氏ニ突カ、ルラシイノデ困ツ  
タ奴ダ

機関生十六名ト教官二名見学ニ來ル 晝食後帰ル

午後二時過ギ器材ヨリ觀銀ノ調査係三名連レテ來ル 四時過ギ帰ル

組合七十八九三日休ムコトトス 但シ十七日ハ工場ニテ資材調査ヲ行フコトトス

◆▼302ページ◆▼ 昭和16(1941)年10月17日(金)

天気 晴

時事 近衛第三次内閣タオル

定刻出社 大藪、廻間ニ資材入手表ヲ作ルコトヲ命ジ幕張ノ島田氏訪問 間モナク

佐々木氏モ來 セコンダリー試作ノ件ヤルコトニ決定シテ十一時辞シテ帰ル 星野氏來

テ居タ 右報告ヲシ午後主任以上ノ会議ヲヤリタイコトヲ告ゲ帰宅 晝食後出社

二時ヨリ会議 下半期ノ賣上月四千五百円シカナイコト コレガ対策ニ意見ヲ求ム 大

シタ意見ナシ 自分ノ見界(ママ)各部ノ連絡ノ悪イコト 即チ共同一致ニ欠ケテ居ルコ

ト等ヲ話シ対策ヲ語り四時終了ス 名古屋グライダー製作所森氏來 組合加入ノ件

來月總會ニ計ル旨回答ス

機械部品外注ノ件決定

◆▼303ページ◆▼ 昭和16(1941)年10月18日(土)

天気 雨

時事 東條内閣成立

五時半起床 今日ハ新聞ガナシ 定刻出社 大藪來 スグ資材入手調査ヲ行フ 九時

前社長來 星野、木村、清平ト会談 工場見 今月以後十二月迄ノ製(ママ)産状況ヲ

木村ヨリ聴取ス 十二月中デ十万円ノ賣上ニ対達スル予定トナル ドウモ六ヶ敷イ話

タガ社長ニ工場ノ中ヲ見テ活氣ツイテ居ルノデ大變嬉(ママ)ンデ十二時過ギ帰ツタ

食後星野氏ト事ム所ノ人事問題ニツキ話シ谷田氏ノ意見ハ現状ヨリ増サナイコトニ行

キタイトノコトデアッタ。ソレモヨカロウ。ガソリン使用ニツイテノ出入帳ヲ作ツテ居クコ

トヲ清平ニ命ズ 明日ニ里塚へ行ク予定ノ處前田建一氏來ルトノコトニ中止トス

三時頃ヨリ青年學校ノ支出調査ヲ行フ 夕方出來ル 三月モ前カラ木村ニ命ジタノガ

ツヒニ出来ナカッタ爲メ

◆▼304ページ◆▼ 昭和16(1941)年10月19日(日)

天気 快晴

五時半起床 三日目振りデ新聞ヲ見ル 内閣モ変ツテ二日見又間ノ桜カナダ  
定刻出社。社長ノ見エタコトト仕事ガマダ、沢山アルコトヲ話シ一曾ノ努力ヲ要請ス  
組合ノ精算書作製 三十五年振りデ作ツタ精算表 ナンダカ、ナツカシカッタ  
十時過ぎ鷺見君、前田君來 晝ハ自宅デ晝食ヲ共ニス。島弟來。工場ハ久シ振りニ大  
牧來ル イツレモ夕方帰ル  
今日ヨリ綜合訓練ニ入ル 夜七時半迄工場ニ居ル 町田以下ニ三名塗裝室デピンポン  
ヲヤツテ居タ 誠ニケシカラン奴共デアル

◆▼305ページ◆▼ 昭和16(1941)年10月20日(月)

天気 晴

五時半起床 定刻出社 木村君ニ昨夜ノ町田ノ件ヲ注意シ尚板金ノ方調査ヲ命ジ上  
京局ニ行ク 村上氏ニ合併問題ノ件 海軍諒解ニ水曜ニ行クトノコトヲ聞ク 石島、  
島山各氏ト一時間余組合今後ノ方針ニツキ意見ヲ交換ス 器材課ニテ生田ニ会フ。明  
後正午過ぎ組合ニテ会談スルコトニキメル。塗料ノ件ハ藤原ヲ止メサセタトノコト報告ア  
リ。東日ニヨリ吉田、鷺見前田君ト会食 前田支拂フ。協会ニ行キ九四偵要具ノ件話  
取キメ引取ルコトトス。羽布ニ反タノマレル。金ノ事吉井氏ニ廿三四日頃最(ママ)非費  
ヒタイコトヲ依頼ス。堀サンニ会フ予定デ待ツタガ会エズ帰ル  
事ム所ニヨリ六時半帰宅 食後工場ニ行ク 清平残ツテ居タノデ兄ト帰ル

◆▼306ページ◆▼ 昭和16(1941)年10月21日(火)

天気 晴

六時前起床 体操後工場出 十時過迄ニ外注ノコト 材料引取りノコト等ソレ、用件  
ヲスマセ布施サンニ行キ注射シテ十一時半帰宅後安静ニス 家内海へ行ツテ居ラズ 一  
人縁側ニ日ニ照ラレナガラ昔ノ飼鳥時代ヲ讀ム内ウト、トス 家内帰り今日ハハゼハ一  
ツモ取レナカッタトノコト カニニ三匹持ち帰ル 晝食ニ食ス 仁三郎間モナク帰ル 明  
日ヨリノ行軍準備デ早く帰サレタトノ事デアッタ

◆▼307ページ◆▼ 昭和16(1941)年10月22日(水)

天気晴

三時半家内ヲ起スノデ二時目醒メテカラヨク眠ラナカタノデ今日ハ一日頭ガ重カッタ

四時五十分仁三郎出カケル 六時二十五分出テ立川ニ行ク 八時二十五分着 九時ニナツテモ福知氏來ラズ 十時十五分前恵美子來 清平昨日電話デ今日延期ニナツタコトヲ聞イテ居タノダガ連絡シナカタノデヨビニ來タトノコト 馬鹿ヲ見タ

晝事ム所ニ行キ組合ノ受注表ヲ作製 三時頃終ル 協会ノ金吉井氏ニ電話デ廿四日受取り方念ヲ押ス。佐藤財務部長ニ羽布一反持参 アト一反又持参ノコト

巴ノ山本ト電話ニテ話ス 協会アト六台ト十台分ト飛行機引取りノ件スグ返事シテ貰フコトトス 夕方方帰ル

山田來テ居タ 大分ツカレテ居タラシイ マタツトメタイ希望ガアルラシイ

◆▼308ページ◆▼ 昭和16(1941)年10月23日(木)

天気晴

今朝二時家内ハ夜トボシカラ帰ツテ來タ ハゼ百九十五匹五六匹取ツテ來タトノコト今朝ハ恵美子五時半ニ起ス 六時前起床体操 定刻出社

終日在社。朝藤枝へ電話スル 家借リラレルトノコトデアッタ。土曜日曜日ヲ兼テ静岡ニ行ク由

夜ハゼトエビ 芋ハ畑カラ取レタノデテン普拉ヲシテ兄ヤ清平ト会食ス 清平ニ海軍ノ仕事完遂ニ邁進スルコトヲ話ス。舟崎氏ノ合併増資ガ行ナヤミノ状態ニアルラシイコトモ話シ合フ

◆▼309ページ◆▼ 昭和16(1941)年10月24日(金)

天気晴

今日モ快晴 六時起床 昨夜ハ百七十四匹取ツテ來タ 今日ハ止メサセタ

晝食ニ帰宅ス

大格内ノ棚ノ位置ヲ決定ス

家ノ風呂場明日カラカナルノデ朝早川へ材木ヲ買ヒニ行ク

午後星野木村ト整備陣容ニツキ協議

フロート受負(ママ)工事ニツキ明日清平、木村、角、布施ニテ協議スルコトヲ命ズ

◆▼310ページ◆▼ 昭和16(1941)年10月25日(土)

天気晴

アタ、カイロデアッタ 大藪來 用件ヲ打合セ風呂場ヲ直ス 大工一人來ル  
九時半奈良原氏ト同道學校ニ出カケル。十時半ヨリ航空青少年隊津田沼隊ノ結成式  
ヲ行フ 十一時半終リスグ上京 水交社ノ翼友会ニ出席ス。東善作君ニ會ヒ高山ノ材  
木ノ件ウナガス 小栗君ニサル野外ニ出シタコト 賣リ値八十八円ナリトノコト報告シテ  
居ク  
二時半都竹氏同道事務所ニ行キ芳名簿ニ記帳シテ貰フ。四過ギヨリ銀坐ヲ歩イテ五  
時二十分山王ホテルニ驚見君ノ結婚披露ニ出ル 八時半終ル 東日航空部総出デア外ニ  
原、渡辺君等モ來テ居タ  
十時半帰宅 家内ハコレカラ夜トボシニ行クトテ十一時頃ツル姉ト行ツタ。工場ノモノ  
二三人途中デアフ 工場ノ電燈ノ傘ヲ持ツテ行クモノアッタ  
徳次來ナカッタ

▲▼311ページ▲▼ 昭和16(1941)年10月26日(日)

天気 曇リ

時々雨 又晴レル

七時起床 島田氏來 資材ヲ頼ミニ來タ  
印旛養成所ヨリ所長以下三十余名海遊ビニ來場ス 正午挨拶ニ行ク  
鈴木伊四郎來 一日ノ打合セヲナス  
徳次オソク三時頃帰ツテ來タ 友達一人連レテ來ル 夕食後帰ル 元氣ラシカッタ  
午後下ノ畑へ降リル道ヲ作り初メル 四時頃迄ニ下ノ方ダケ八分通り出來ル  
不思議ト心身共サワヤカサヲ感シル  
大工式人來 風呂場天井ト出窓ガ出來ル  
佛手柑アケビ施肥

▲▼312ページ▲▼ 昭和16(1941)年10月27日(月)

天気 晴

六時半起床体操 大工オソク八時迄待ツタガ來ズ 大藪ト事務打合セシテ出カケタラ  
道デ會フ  
晝食ニ帰宅 大工夕方終ル マダ残ツテ居タガ今日デ切り上ル  
正午星野、兄器材ヨリ帰ル。大分器材ノ方空気が悪イカラ星野氏ハ自分ニ到(ママ)分  
行カナイ方ガヨイトノコトデアッタ。ソナコト意ニ介スルワケニハ行カナイ  
海軍検査官四名來場 今日鈴木館止リ

▲▼313ページ▲▼ 昭和16(1941)年10月28日(火)

天気晴

六時十分前起床 定刻出社

検査ト納入ニツキ木村、布施ト打合せ フロートノコト村山間ニ合フトノコトニ清平ニ海軍受注努力ノ事。器材合併不成立ノ場合ニ於ケル対策等一寸話シ、局ノ村上氏ニ海軍へ行ツタ模様ヲ聞ク爲メ上京スベク、宅ニヨル 左官ガ來テ風呂場ヲヤツテ居タガ窓ノ障子ガ、型ヲ塗ルトベラナイノデ止ムナク一寸直シ初メタラ、ダン、悪イ處ガ出來テ來テツヒニ一日カ、リ、仕事ニ出カケナカッタ事 馬鹿ニ氣ガトガメタ  
仁三郎ガ氣ガツイタラ、カナリヤノ雄ノ方ガ猫ニ取ラレタラシク毛ガチラバツテ蓋ガヒツクリカヘツテ居タ

夜聞ケバフロート間ニ合ワナイトノコト 受取りノ事デゴリ、シテ居タラシイ  
九時前ヨリエゾ松ノ枝ガリヲ初メ十一時就寝

▲▼314ページ▲▼ 昭和16(1941)年10月29日(水)

天気晴

出社前大藪ニ會フ 呉服屋來

十時ニテ上京 局ニ行キ村上氏、守屋氏ニ會ヒ器材ト合併問題ニツキ海軍ノ方ハカドラナイニ対シ海軍ノ眞ノ意圖ヲ聞イテ貰フコトヲ依頼ス

石島氏例ニヨリ組合強化ニ熱心 永ク話ス

二時組合ニ歸リ器材ト打合せ 松尾課長ノ工場視察明後日トキメル

石島氏へ出ス明年度各社製(ママ)産予定数表ト本年度未納機数表ヲ作製方命ジ、一色ガ來タノデ時間オクレ五時ヨリ成工社ニ行キセコノ圖面ヲ持參 打合せヲナシ、清平ニヨリ明日ノ予定ヲ打合せ八時帰宅ス 家内夜トボシニ行ツテ不在。星野氏出社セズ。  
函館新聞ト組合へ寄リ金ヲ請求シタ由

▲▼315ページ▲▼ 昭和16(1941)年10月30日(木)

天気晴

五時半起床 定刻出社 藤枝ガ來ルトノコトニ不在ニナルノデ電話スル 明日井上長一ニ會ヒタイカラ照(ママ)介シテ呉レトノコトニ名刺ニ書イテ今夜千葉へ歸ル人ニ事傳スル様乙竹ニ渡ス

清出社 打合セ後角ト出發 八時四十分ニテ船橋發 十時四十分荒川沖着 航空廠前ニテバス下車 元ノ軍需部ノ手前デ左側ガ全体航空廠ニナツテ居タ マダ、コレカラ建築物ガ出來ルノデ広大ナ場所デアッタ 新築ノ本館ニ沢井大佐ヲ訪フガ出張不在中デ會計ノ中尾氏ニ會ヒ、次ギニ松尾氏鈴木氏佐藤氏ノ順デ会见 鈴木氏ハ特ニ親切ニ工場ヲ案内シテ説明シテ呉レタ 二時十五分ニテ出發

五時帰宅。夕食中藤原延清平ト來 晝過ぎカラ來テ居タ由 模型用ノガソリン發動機ヲ作ツテ居ルトノコト 見本ヲ見セタ 今日廻轉シタノダソウデソレニ証明書ヲ書イテ貰ヒタイトノコトデアッタ 書イテヤルガ木村氏ニ一度会フコトヲ進メテ照(ママ)介ノ名刺ヲ渡ス

◆▼316ページ◆▼ 昭和16(1941)年10月31日(金)

天気晴

定刻出社後国民學校ニ行キ青校ノ査閲ニ参加ス 良好ナル成績ヲ得 正午終リ一足先キニ帰り宅ニテ晝食後一時工場出 星野氏ヨリ木村作業課長不信任ノ話ヲ聞ク。四時頃佐藤閣下ト松尾課長、來場 森川、板垣君案内役 板垣君急用ノ爲メ帰社。工場順覽ノ上五時過ぎ帰ル 佐藤氏夜間飛行ノ爲メ松戸へ 松尾氏森川氏、星野氏三人デ帰京ス  
明日ノ準備ニ鈴木伊四郎來  
六時迄工場ニ居リ布施ニ梅津ヲ整備へ入レルコトヲ話ス

◆▼317ページ◆▼ 十一月

能率増進一曾ノ努力ヲ要ス  
思想善導特ニ考慮ヲ必要トス

◆▼318ページ◆▼ 昭和16(1941)年11月1日(土)

天気晴

七時半出社 朝礼ニ職誠奉公ニツキ心構ヘニツキ注意ヲナス。八時ヨリ航空神社例祭ト合祀祭ヲ行ヒ九時終ル 平常通り作業ヲナス  
午後木村、清平ト会議 作業打合せ。霞ヶ浦指導受ケニ五名人撰ス  
午後二時ヨリ産報会ニ船橋警察署長來社 講演アリ 臨戦体制ニ対スル心構ヘニツイテ夜夕食後七時半床ニ入ル

◆▼319ページ◆▼ 昭和16(1941)年11月2日(日)

天気晴

六時起床 体操 朝食後床ノ懸物ヲ明治神宮ニ取替エ家内畑ニ行ク 自分ハ風呂ノ中板ヲ取付ケル 九時自動車來 余リ早イノデ待タセ九時半出カケル 布施サンニヨリ

注射シテ十時半藤枝宅ニ行ク 丁度日記最中デアッタ 母堂ト三十分程話ス 大坂ニ育ツタノデ大辺(ママ)大坂へ行キタイ希望ヲ持ツテ居タ 高橋氏十二時頃漸ク來 三人ニテ今度借ル家ヲ見ニ行ク 丁度今日引越シヨスルトノコト 家主ハスグ、トナリデアツタノデ高橋君聞イテ呉レル 主人不在 今夜八時頃帰ルトノコト 今夜連絡シテ明日会见スルトニ取キメ自分行ク必要アレバ電話シテ貰フ様タノム 並木ニテ晝食ス 白戸へ電話スル 小川君來 庭ノ造作設計ヲ依頼ス 三時終リ藤枝ガ菓子ヲ買ツテアルトノコトニ貰ツテ小鳥屋ニヨリ帰宅 五時

▲▼320ページ▲▼ 昭和16(1941)年11月3日(月)

天気 晴

六時起床 体操 朝食後兄トカナリヤヲ見ニ行キツヒデニ工場ニ行ク 帰ツテ新聞ヲ見 十時頃ヨリ下ノ畑ヘノ通路ヲ作ル 午後三時終了  
ニュースヲ聞キ大藪ヲ呼びニヤリ明日ノ仕事ヲ命ジ、組合總會ノ対策ヲ練ル  
四時十分電話ニヨリ出カケル 五時二十分藤枝宅ニ行ク 十分程待ツ 高橋君來 同道シテ大家ニ行ク 借リラレルコトニ決定 家賃ハ三十円 敷金百五十円ホシイトノコト水道ヲ敷イテ呉レバソレダケ入レル 水道コチラデ引ケバ百円ニセヨト申入レル。前借家人トマダ契約解除シテナイノデ明日電話デキメル迄契約ハ待ツテ呉レトノコトデアッタ。白戸ニ行ク 丁度乗池君來テ居タノデ発動機部品ノ件聞ク 好都合デアッタ。見積ハ今夜ヤツテ居クトノコトデアッタ 妻君八元ノ家へ帰ルトノコトニ京成迄同道ス

▲▼321ページ▲▼ 昭和16(1941)年11月4日(火)

天気 曇リ小雨

二三日來家内氣(ママ)嫌悪ク例ノクセデロヲ氣(ママ)カズ  
定刻出社 外注ヲ調べ十月分工賃支拂ヲ調査ス 田中計器ヨリ二名來場 松戸へ案内ス  
三時過ぎ藤枝來 白戸へ行ツタラ千式百円モカ、ルカラ此際簡單ニシテ居イタ方ガヨカロウトノコトニ、ソノ様ニ取計ヒ商品ノ記入ニカ、ルコトニナル。帳簿ヲ初メカラ正確ニ記入スルトヲ教ヘル。一色(照(ママ)介)ノ名刺ヲ與ヘル  
長島風呂ノ煙突ヲ作ツテ呉レタ  
工場終ル頃青木來ル 朝カラ器材へ行ツテ居タガ三時頃畑氏ト会ヒ千五百円ダケ貰ツテ來タトノコト アトハ追ツテ知ラセルトノコトノ由 ソロ、ソツマツテ來タラシイ

▲▼322ページ▲▼ 昭和16(1941)年11月5日(水)

天気晴

六時起床 カラクモ体操二間二合ヲ  
出社 清平霞ヶ浦へ出張。成工社へパイプ小型テ持タセテヤル  
青木会計ニ星野氏以外課長級ニモ金ガ器材カラ廻ラナイ事ヲ話サナイ様注意シテ上  
京ス

組合ニ終日居リ大藪ニ資材入手ニツキ督勵ヲナス 各社へ一万五千円ヲ分配シテ送金  
サセ、巴へハ全額送ラセル

藤枝來 坂谷生命ノ方キマラナイトノコトニ行ツテヤル スグ分ル 百四十円敷金ヲ入レ  
八、九、十ト家賃ガ支拂ツテナイトノコトデアッタ 敷金五十円ヲ返セバスグ敷金ノ領  
収書ヲ返ストノコト

夕方東日ニ行キセンダリーノ圖面ト計畫書ヲ受取ル 設計書帰リカケタ時來タガ第  
三日曜ヲ会见日ト定メ分レ銀坐デ夕食後菊芳デ買物シテ帰ル  
松戸工場ノ深山外ニ名來 佐藤ノ行状ニツキ報告ニ來タ由

◆▼323ページ◆▼ 昭和16(1941)年11月6日(木)

天気晴

六時四十五分起床 体操 ニユース 朝食 工場定刻出 今日モ清平早カッタ 八時半  
ヨリ作業会議ヲ開キ今月出來ルダケマトメルコトヲ命ズ 十時半ヨリ上京 局ニ行ク  
工政課長、石島、畠山氏会见 局ノ方針ヲ聞キ明後日組合員ノ会合ニ出席ヲ乞フコト  
ニシテ、協会ニ行ク 堀閣下又会エズ三時ニナル 九四偵要具一組百円トシテ現金拂込  
ムコトニ口約ナル

本庄製作所ニ行キ山本、本庄両氏ニ會フ 明後日ノ會議ニ対スル本庄氏ノ意見ヲ聞イ  
テ居ク

七時帰宅 入浴 夕食後會議ニ対スル準備ヲナシ 十時半終ル

◆▼324ページ◆▼ 昭和16(1941)年11月7日(金)

天気晴

定刻出社前散髪ス 今日ハ終日作業課督勵 特ニフロート作業ニツキ注意ス  
フロート検査官來 水張り検査終了 塗装検査間ニ合ワズ

鷺見氏來社

北海道ノ上出氏來社 釘渡ス

朝

▲▼325ページ▲▼昭和16(1941)年11月8日(土)

天気 晴後曇

五時四十分体操 ニユース 朝食 定刻出社 工場一廻り フロート今日ハ作業シテ居タ 滑空機ヨシ 機械一人モ作業シテ居ルモノナク □□傳票ヲ記入シ居ル木村ニ注意ス 佐藤松戸発動機工場整備ヲ申出ス

九時二十分組合着 藤枝來 借家保証人ノ判ヲナス

九時五十分東日會館着 本庄氏一人來テ居タ。大体十一時前ニ揃フ 生田一人時間ヲ間違ヘタトテ晝前來 工政課長外二名來 工政課案ノ説明ヲ聞キ案ニ対スル業者側ノ希望ヲ述ベ晝食 一時ニナル 時間ガナイノデスグ山水楼ニ行キ今日ノ會議ハ理事一任トスルコトトシニ二三小案ヲ処理ス 三時ボツ、來客來 協会、東日、朝日、乗員課、技術課、試験場、工政課 全員約二十四名 西原少佐モ加リ受注一元化、資材配給問題等花サキ協会齋藤君組合納入方ニツキ攻撃盛ニシテ各社共相當コタエタコトト思フガ松下君理事長ノ責任ヲヨク問フ様ナ口振りヲナス 七時半終リ 後組合員ダケデ今後ノ納入ニツキ希望ヲ述ベテ散会ス

▲▼326ページ▲▼昭和16(1941)年11月9日(日)

天気 晴

六時半起床 九時工場出 フロートノ件木村ヨリ聞ク 布施ニ塗装予定ヲ調査ヲ命ズ 一時帰宅 晝食後家内ハ學校へ軍事講演ヲ聞キニ行ク 自分自動車ヲ待ツ 一時半頃來 大坂佐渡島、大蔵ト東京福西へ芋ヲ送ラセル 帰ツテ二時半布施サンニ行ク 不在 一時間位デ帰ルトノコトニ千葉ノ白戸ニ行キ硝子障子ヲタノム 雑談中藤枝來 共ニ出テ本町迄送ツテヤリ小鳥屋ニ行キセキセイ四匹ヲ四円デ引取ツテ貰ヒカナリヤ番十三円デ求ム 差引九円支拂フ 小鳥ヲ賣ツタノハ初メテデアッタ

五時頃島田氏外二名來 工場ヲ見テ帰ル

清平來 委託調辨ノ書類持參ス 明日松戸へ行ク爲メ

▲▼327ページ▲▼昭和16(1941)年11月10日(月)

天気 曇リ

六時五十分起床 マダ眠リ足りナカッタ 七時自動車ニテ松戸行き 七時五十分作業ニカハル様デアッタ 九時半吉田出社ス 十時養成所ニ行キ 福田ノ軽飛行機ヲ見十一時所長ト会见 局今後ノ教育方針ナドキク。ヨク話シテ呉レルノデ大変ヨカッタ。十六年度委託調辨ノ書類ニ判ヲ貰フ 一時帰宅 晝食後出社。明朝八時ヨリ九時迄ニ器材本社ニ來ラレタシトノ事デアッタ。十一月十二日作業予定表作製 大体正確ト認メ

ラレルモノヲ作ル

◆▼328ページ◆▼ 昭和16(1941)年11月11日(火)

天気 晴

五時半起床 六時半ヨリ出カケル 北風寒シ  
八時半器材着 畑、社長、赤坂、等会談 海軍ノ方諒解ナリ願書提出スル事ニナリタル由ニ対シ手續上ノ事ニツキ結局増資ト合併二本立ニテヤルコトニナル 津田沼工場ニツキ諸報告ヲナシ軽飛行機ノ事ヲ話ス 赤坂氏讚(ママ)成ス 試作ノ件社長ニ話ス 赤坂氏ト相談シテ呉レトノコトデアッタ。支拂ヒ予定モ提出 松戸拡充ノ注文ハ一時ニ支拂ヒ多クナラヌ様漸時(ママ)ニヤルコトニテ諒解ナル。東ニ会談 星野氏ト細部ノ打合せスル様話シテ帰ル 福知氏ニ會フ マイゼ十機製作ノ件組合ノ方針ヲ説ク 晝食ヲ共ニシ藤枝ノ店名ヲ原氏ニ委(ママ)頼方タノム 航空局ニテ佐田氏工政課長、石島氏ニ會フ

◆▼329ページ◆▼ 昭和16(1941)年11月12日(水)

天気 晴

五時五十分起床 定刻出社。塗装其後順潮ナリヤタシカメル。機械今朝ノ作業状態ヨロシ。木村君ニホメテ居ク 十一月十二月作業完成予定表タイプニ打タセ各課長星野氏ニ渡ス

星野氏十時頃出社 東北北海道旅行ノ報告ヲ聞ク 求人ノ方ハダメラシイ 函新五百円ダケ受取ツテ來タトノコト。自分ヨリ昨日器材ノ會議ノ模様ト航空局ノ方針、新造機体ニ進ム道等ニツキ話シ十一時兄ト上京 組合ニ行ク 福知氏娘ヲ連レテ來タ中々ヨイ娘デアッタ 來月一日ヨリ來ルコトニキメル。永坂君來 ベンツ五百円デ讓ルコトニキメル ボールト見積ヲサセテ呉レトノコトニ依頼ス 色々方針ニマヨツテ居ルラシイ

◆▼330ページ◆▼ 昭和16(1941)年11月13日(木)

天気 曇夜雨

五時五十分起床 体操 定刻出社  
組合ノ爲メセコンダリー材料表作製ニカハル 十一時過ぎ永坂君來 ベンツト部品ヲ見セ宅へ帰ツテ晝食ヲ共ニス 宮本其外二名宅迄來ル 三式ニ台買ヒタイトノコト 十年式進メテ居ク 十年トモングース有姿ノマヽ三千円ト式千五百円 神風手入セルモノ四千円ト話ス 最(ママ)非ホシイ 土曜日ニ確答スルトノコトデアッル  
午後二時過ぎヨリ産報改撰後ノ初委員会ヲ行フ 四時過ぎ終ル 時局認識ト会社対産報ノ心構ヘニツキ説明ヲ行フ

夜布施サン來 肺炎ニナルオソレアルニツキ、カラシノ湿布スルコト 恵美子ツヒテ二見テ  
貰フ

◆◆331ページ◆◆ 昭和16(1941)年11月14日(金)

天気 雨後晴

今日ハ六時過ギテ起床 体操ヲ休ム 定刻出

終日B六材料表作製

明日清平試験場行キニツキ帰途高速機関へ寄ラセルコトス 六十馬力軽飛行機ノ件  
フroot五本 検査官來場

航空局ヨリ電話アリ 關東州ノソアラ一發送ノ件月曜日來テ呉レトノコトデアツタ  
關東州ヨリ來テ居ラレル由

◆◆332ページ◆◆ 昭和16(1941)年11月15日(土)

天気 晴

時事 組合総会

來栖大使アメリカ着

五時四十分起床 定刻出社 八時十分自動車ニテ上京

木村君ニ消火器溶接ノ件注意ス 今月中ニ間ニ合ワセル様

器材ニテ畑、社長、矢野、赤坂ニ會フ 器材單獨増資デ行キ後チ伊藤ヲ合併賣(ママ)  
収スルコトノ諒解デ工政課へ行クトノコト 森川氏同道シテ貰フコトトシ自分ハ協会ニ行  
キ銅、パイプ引取ノ件丁度山田君來タノデ依頼シ、吉井氏ニ會ヒ組合支拂今月末ニ一  
回目迄ノ分残り支拂フコトノ口約ヲ得テ組合ニ行ク 十時十五分 間モナク飯国氏來  
スグ會議ヲ初メ順潮ニ進ミ十二時過ギ生田氏來 二時頃全部終ル 本庄氏ヨリ航空  
局ニ対シ希望條項 先日ノ要項ニ対シ申出アリシモ之レハ利要項ノ字句ノ修正ト云フコ  
トハ、オダヤカデナイノデ別ニ希望條項トシテ出スコトニ申合セ書式ヲ自分ニ一任セラ  
ル

ミヅノヨリ指定取消問題ニツキ心配ノ話アリ 止メナイ限り自分引受ケルコトヲ言明  
ス。本庄氏ヨリ自分ニモット強行ニスベテニ出テ貰ヒタイコト 新聞社招待ニ不満ナル旨  
申出アリタリ 生田氏ニハ自分ヨリ文部省型製作ノ件ヲ最(ママ)非共実行セラレタイコ  
ト 組合ノ協調ノ上カラモ必要ナルコトヲ述ベル 帰ツテ返事スルコトトナル  
藤枝來 原襄太郎氏ニ引合セ、一色ニ行キ夕食後帰ル 九時ニナル  
ベンツ發動機代金五百円永坂ヨリ受取ル

◆◆333ページ◆◆ 昭和16(1941)年11月16日(日)

天気晴

七時起床 朝食後小鳥ノ世話ヲナス  
宮本君午後三時頃來 神風ダケ貫ヒタイトノコト 來月末完成予定トシ今月二十日  
契約 内金千円受取ルコトトス。尚賣ルコトハヨイガ航空局其他關係方面差支ナキヤ否  
ヤヲ確カメル 三木課長ニ話シシタトノコトデアッタ  
午後煙突ヲ直シ取ケ(ママ)ヲナス 風呂ヲワカス  
朝組合ノ昨日ノ決議録ヲ整理シタイプノ原稿ヲ作ル 局提出ノ本庄案ハ決議録中ニ含  
マセル

◆▼334ページ◆▼ 昭和16(1941)年11月17日(月)

天気晴

時事 臨時議會ニ首相演説

体操 朝食 定刻出社 九時ヨリ上京 航空局ニ關東州航空課長西沢少佐並ニ高橋  
氏ト会见 ソアラ―輸送ノ件、明年度ノ注文ニツキ工政課トモ打合ス 組合ニ行キ山  
崎氏ト電話デ鉄板二十キロアレバ充分トノ言明ヲ得テ其旨試験場ヘ回答ス。決議録ヲ  
イブ出來ルノヲ待チ藤枝ヲ東日ニ招(ママ)介シテ自分ハ先キニ歸リ局ニ行ク 課長、畠  
山、石島氏ト会谈。結局新規加入者ニ対シテガ問題トナリ兎ニ角組合員ノ拡張計畫  
ヲ具体的ニ申告セシムルコトトナル  
五時半終リ七時帰宅 首相演説ノロク音放送ヲ聞ク

◆▼335ページ◆▼ 昭和16(1941)年11月18日(火)

天気晴

五時五十分起床 体操 朝食後大藪ヲ呼び組合員ヘ昨日ノ結果報告ノ手紙ヲ打合セ  
八時過ぎ出社

終日在社 今後ノ支拂ヒヲ調査ス 一月ノ生産ニツキ木村ニフroot十本グライダー  
十機千鳥ヲ上ゲルコトヲ命ズ。尚滑空機今後ノ方針等モクワシク話ス 清平ニ航空學  
会ノ切符ヤルコトニス 組合出資金ノ件其他今月來月ノ支拂ヒニツキ星野氏ニ話ス  
平松君來 リンクスアプロ他デ整備スルコトニシテ貰フ 夕方根岸君來 一二型改見テ  
歸ル 今月末北海道ニ行キ歸リニ寄ル由

◆▼336ページ◆▼ 昭和16(1941)年11月19日(水)

天気 曇雨

五時五十分起床 定刻出社 外注ト見積リノ件ソレ々聞キ命ジ自動車ニテ千葉ノ藤

枝ニ行ク マダ起キタ處ラシカッタ。飾棚ハヨカッタ。着荷シタ五六年用材料ヲ見ルト袋ノ中ニソロッテ居ナイノガアッタノデ今日行クトノコトニヨク話ス様オシエル。白戸ニ行ク障子マダ出來テ居ナカッタ。今日スグ作ラセルトノコト

上京 三越ニテ小鳥ノエヲ求メ組合ニ行ク 山形県中等學校分伊藤へ発注取キメ、諸傳票ヲ整理ス 西沢少佐高橋氏來。スエヒロニテ晝食。吉原君來 有野氏ノ方三月中ニ廿五台作ルトノコトデアッタ

国際ニ行キマイセ四台七月迄ニ引受ルコトトス。局諒解方依頼ス

原氏ヨリ藤枝へノ書貫ヒ受ケ成工社ニ行ク 川崎、榊原両氏ニヨリ金具受注終了後上野ニ行キ丸万ニテ夕食

▲▼337ページ▲▼ 昭和16(1941)年11月20日(木)

天気 晴後曇

定刻前散髪ヲナス

八時半出社 午前中在社 機械工場ノ製品上リ高ト工数調査ヲ木村ニ命ズ

梅津霞ヶ浦ヨリ帰ル

午後上京 組合ニ行ク 商工省工藝指導所技手金子氏來 貿易玩具製造業者ノグラフィダー製作希望者アリトノコトニ吾レ、ノ工場へ轉職ヲ進メル 成工社來 完成品ノ計算書來 一通リ目ヲ通ス 操縦器持参ノコトヲ依頼ス

五時事ム所ヲ出テ帝国ホテルノ日野原北野両家婚礼披露会ニ出席 大分多クノ人デアッタ 両家甲府ノ人デ日野原八山本勘助ノ末孫トノコト。舟崎社長ノ挨拶其他二三アリ八時過ぎ散会ス。

▲▼338ページ▲▼ 昭和16(1941)年11月21日(金)

天気 雨

曇り後雨 定刻出社 終日文部省型金具ノ價格ト材料調査デ夜帰ッテカラモ九時頃カゝル

徳治ヨリ恵美子ニ手紙來 トテモヤリキレナイカラ帰リタイトノ事

▲▼339ページ▲▼ 昭和16(1941)年11月22日(土)

天気 雨後晴

定刻出社 宇賀ヨリ溶接工ノ件聞キ尚努力方命ズ 木村作業課長少々頼リナシ

九時過ぎ組合着 大藪ヲ試験場へ 伊藤ヲ木材試験片ト組合ノ操縦器ヲ持参サセル 十一時航空局着 石島氏ヨリ物動カラ貰ッタモノハ即刻受取ル準備ヲ進メル様ト注意

アリ 尚物資ノ配給ニツキ製作予定表ヲ提出 ソレニヨツテサレタ局ニテ査定スルトノコトデアッタ 課長本省へ行く寸前ニ新規加入者問題定数ハ決議通リトシ加フルニ局指定ノモノヲ一句入レルコトニシテハ如何ト述べ尚新規加入ハ無ヤミニ増加スルコトハ事故ガプライマリーニ一番多イ事カラ考へ危俟(ママ)デアルコトヲ述べル 月曜日会谈ヲ約シテ帰ル

松坂屋ニテ華道展ト木刷ヲ見、帰途工藤ニヨリ去年ノ金ヲ支拂ヒ飯沼ノ件ニツキ意見ヲ聞ク

▲▼340ページ▲▼ 昭和16(1941)年11月23日(日)

天気 晴後雨

六時半起床 七時ノ二回目ノ体操ヲナシ朝食後九時工場出 ベンツ發動機發送ヲ見手紙ヲ永坂君ニ書キ清平カラ名古屋航空學校へ工場概要送ツテ呉レトノコトニ送ラセル。一度帰宅 成田山ニ参詣 一時帰宅

鈴木菊雄來 東京ノ鉄工所へ出資シタ件聞イタガヤ、コシイ話シデヨク分ラナイ 兎ニ角深入リシナイデ金ヲ回收スル様ツトメル様注(ママ)告ス 工場ニ何ニカヤルコトハナイカトノコトデアッタガコトワル

二時半ヨリ千葉白戸ニ先キニ行キ障子受取ル 硝子ナシ 金ハ取ラナカッタ。藤枝ニヨリ明日青島來テ呉レトノコト 今日ト昨日デ引越ヲシタトノコトデアッタ

▲▼341ページ▲▼ 昭和16(1941)年11月24日(月)

天気 雨

終日雨 定刻前出社 溶接工臨時雇入レノ件

本日検査官(海軍)來場ノ準備、其他ノ打合せ又命ジ成工社へB八ノ金具取リニ行ク自動車ニテ市川駅ニテ乗車 航空局ニ行ク 畠山氏ニ会フ 局内ニテ組合現在ノモノニ関セズ新ラシク作ラセルベシトノ意見モアリトカ 工政課長ニ会ヒ局内ノ意見マトメテ來ル由ニツキニ三日間ヲ居クコトトシ要ハ需給関係ヲ正統ニ見通シサレタ旨ヲ述ベテ分レル 乗員課長ニ會ヒ、伊藤君ト一寸話シ、森川航空官ニ初メテノ挨拶ヲシテ組合ニ行ク 西村來 新タンバツクル実ニヨク出來テ居タ

川口試験場へ出スコトニス タンバツク千個代支拂フ。本庄氏旅行ヨリ帰ツタリトテ來。定款變更ノ件局ニ相談ノ必要ナシ スグ手續キスベシトノ強行意見 本庄式デアッタガ局ノ意向ヲ無視スル前ニ諒解セシムコトガ必要デアル。

有野氏ト同氏ノ工場見ニ行ク 品ビンヨクヨイ感ジデアッタ 七時十分帰宅 腹ガハツタ

▲▼342ページ▲▼ 昭和16(1941)年11月25日(火)

天気 曇小雨

終日工場 星野氏土曜日ヨリ出社ナシ 病氣ニナツタラシイ

今日ノ給料ニ対シ四千五百円程昨日貰ツテ來タ由 朝大藪ヲ見ニヤツタラ昨夜帰ラナカッタ由デ自分ノ書類ヤノートナク何ニ出來ナカッタ 木村ニ今月仕上ラナイモノ來月ノ予定ニツキ話ス コンナコトニナルト実ニタヨリナイ人ダ

三時ヨリ原サンノ額ヲ受取り藤枝へ持ツテ行テヤル 青島ガ來テ店飾ヲシテ居タ 今朝來タトノコト 小供ガ來テソロ、買ツテ帰ルノデ面白カッタ 布施サンヨリ、工場ノ夜業ヲ見テ六時半帰宅ス

▲▼343ページ▲▼ 昭和16(1941)年11月26日(水)

天気 雨後晴

今朝気分悪ルク六時半過ギテ起床 工場ニ出木村ニ會ヒ上京ス 組合ニ行キ今日協會カラ話シアリトノ納入表ヲ作製 準備ス 正午丸ノ内ホテルニテ飯国氏ト會見 中村岩脇同席ス 一時半ニテ帰坂スル由 組合強化ノ爲メ必要トアレバ東洋重役デ清水組ノ主人公ヲ理事ニ入レテモヨイトノコトデアッタ 五千円手形東京事ム所へ取寄セテ貰フコトニシタガ七型ハ到底出來ナイトノコトデアッタ アトハ間ニ合セルコトヲ打合セ協會ニ行ク 斎藤君局へ行ツテ居ルトノコト 局ニ行ク 畠山氏ノ處デ會フ 昨日協會ニテ組合ノ契約ヲ解除シ、アラタメテ少数ヲ予定シ各社單獨ニ注文シタシトノコト 自分トシテハ事茲ニ到ツテハ止ムヲ得ズ貴意ニマカストト(ママ)ス 但シ責任ハ取ルベキ時機ト考フ 石島氏解約ハ不可ト論ジ丁度來タ、宮原氏モ同席 今後ノ納入予定ヲ作ル 各社ヨリ責任アル回答ヲ取ルコトニ決定ス。金具ノ配給石島氏ノ意見通り決定ス。

六時半帰宅。大連ノ高橋氏來テ居タ 大連送りノC7吉原君ニ渡シテ呉レタラ吉原氏ガアトハヤルトノコト。夕食ヲ出シ工場ヲ案(ママ)シテ自動車デ送ル

▲▼344ページ▲▼ 昭和16(1941)年11月27日(木)

天気 晴

六時起床 体操 定刻出 大藪頭痛ガスルトテ休ム

清平出社 太田成工社行キ

午前中廻間ト資材關係ヤネーパルノ注文書ノ件、鉄板其他ヲ調査ス

本日月給者ノ給料日ニ當リ村山ノお盆ノ賞與十七日別ニ包ンデ解決シ外ニフroot今月予期以上ニ早ク且ツ工賃ガカ、ラナカッタノデヒトリ十円ヅ、ヤルコトトス

◆▼345ページ◆▼ 昭和16(1941)年11月28日(金)

天気 風雨後晴

五時半起床 南風温カ 各社宛手紙ノ原稿ヲ書キ恵美子ニ渡ス 大藪マダ床ヲハナレ得ズ

午前主任以上ヲ集メ作業時間ニツキ協議 一部改正ス 十一時ヨリ上京 此頃モットモ風雨ハゲシ 十二時半組合着 風静マル

協会ノ金受取準備ニ調査スル内広帯鋼ヨリ第三四半期ノ査定今明日中ニツキ未完ノ手續キセヨトノコトニ書類ヲ作り局ニ行ク 石島氏努力セシモ第四四半期ヨリダメ 辨法モ組合ト相談シテ呉レタガ結局六ヶ敷シク何シロ時間ガナイノデ止メルコトトス 組合ニ行ク 吉井氏二時半ノ汽車デ長野へ出張 一日帰ルトノコト 佐藤部長ト下相談シタガ決(ママ)局金庫ノ鍵ガナイトノコトダメ 再ビ組合ニ帰り東洋へ二日ニ延バシテ貰フコトヲタノム

中村氏來 手紙渡ス

◆▼346ページ◆▼ 昭和16(1941)年11月29日(土)

天気 曇リ

五時五十分起床 定刻出社

工場ヲ見廻リ廻間ト打合セ 大藪本日ヨリ出勤 工場ニテ廻間ト打合セ上京ス。

東洋電気九百余円支拂ヒアト手形トス 大工ノ金工場デ手形ヲ書カセ兄小供ノ金皆集メテ二千五百円立替ヲナス。廻間ニ命ジ北越手形ニ交渉セシム

十時半ヨリ上京 翼友会ニ参加 食後二時過ギ川辺君ト銀坐ニ出高山氏ノ事ム所ヲサガス 金州閣ヲサガシ當テ會フ 共ニ事ム所ニ一寸ヨリ上野ノ盆栽展ヲ見ニ行ク 五十分刻遅レタガ大急ギデ見セテ貰ヒ出テ丸万ニテ夕食ヲ共ニシ落下傘普及会ノ話シヲ聞ク 堀洋蔵ガ会長デ少将ノフレ込ミダ 充分注意シテ居ク 七時半帰宅 家内藤枝ノコトウタガツテ始末ガ悪イ

◆▼347ページ◆▼ 昭和16(1941)年11月30日(日)

天気 曇リ

七時半起床 朝食後工場行 正午迄各作業督励 清平晝頃出社 明日立川行キノ件ニツキ営業トシテノ責任云々ヲ云フ 困ツタ奴ダ コンナ心掛ケデハダメダ 自分ガ一人デモヤル氣持ニナラナケレバイケナイ。島田、有野、下請ノコトモ工賃デヤッタ方ガヨイト清平ノ考へ 自分ハ材料賣リノ買ヒガ世話ナクテヨイト考ヘル 考慮スル様命ズ 小林松五郎君來 セコノ材料當方ヨリ支給スルコトニシテ分レル

午後兄ト盆栽見ニ行ク 込ミ合ツテクタブレタ 五時半帰宅 入浴後夕食 モウ皆先  
キニ濟ンデ居タ 家内今日御氣(ママ)嫌ナナメ 不愉快ナリ

◆◆348ページ◆◆ 十二月

一億一進

◆◆349ページ◆◆ 昭和16(1941)年12月1日(月)

天気 曇後晴

朝礼ノ時日米会談ニ対シ吾人ノ進ムベキ道ハ政府ノ方針ニ基キ一意各自ノ職分ニ努力  
スルニアリト述ベル

出社後松戸へ所長ニ発動機代金ノ件ニツキ行ツタガ今日ハ來ラレナイトノコト 朝妻氏  
ハ出張 工場ト建設中ノ舍宅ヲ見テ其間自動車ノガソリンタンクヲ修理シ十一時出テ  
帰途ニツク 晝食後一時出社 星野氏久シ振リデ來テ居タ 不在中ノコト作業状態其  
他話ス。北越ヨリ人來 手形承認ス 明日畑氏ニ會フ爲メ支拂ノ模様ヲ調査シテ居ク  
夕方梅津君ト少シ語り會フ

金太郎ニ貳百五十円渡ス 稲毛ノ地上ゲノ件百円不足ハ貯金カラ出スコト ナケレバ又  
何ントカスル旨云ヒソエル。土台直シハ一度金太郎見テ來ル様命ズ  
高山ヨリツヒ二人來ラズ

◆◆350ページ◆◆ 昭和16(1941)年12月2日(火)

天気 晴

六時半ニュースヲ聞イテ起床 朝食 新聞 今日ハ体操休ム ドウモ食後ノ体操ハ便ノ  
都合ガ悪イノデ困ル

定刻出 八時半ヨリ徒歩電車ニテ上京 十時半器材ヘツク 畑氏今里氏へ行き不在ノ  
由 東氏ト会谈 社長ヲ日特ニ尋ネシバラクマツテ会见 十一月予定通りホハ進行セシ  
旨報告 賞与廿日頃ヤッタラトノコトデアッタ。グライダー其他二三話シ合ツテ帰り  
カケタラ畑氏來 丁度ヨク後今里氏モ來ル 畑氏ヨリ予算関係アルノデ収支並ニ作業  
予定ヲ知リタイトノコトデアッタ 明日更ニ会见ヲ約シテ組合ニヨリ西村ヘタンバツクノ  
件手紙書キスグ帰宅

星野氏ニ明日ノ予定ヲ話シ準備ヲサセル

五時帰宅 青島嬢來 中々上手ニシヤベルヨイ娘デアッタ

◆▼351ページ◆▼ 昭和16(1941)年12月3日(水)

天気 曇り

六時半起床 定刻出カタ(ママ)處へ青島大藪來 八時半出社 スグ上京ス 十時器材着 星野氏先着 一時追今月來月ノ収支予算、作業予定購買予定等打合せヲナス 讀賣トキ沢氏ニ会ヒ、三式ノ件聞ク 陸軍ヨリ三型拂下交渉中ニツキ其上ニシテ呉レトノコト 落下傘普及会ノコトヲ聞ク 野中父子ガヤツタモノデ信用○ 組合ニヨリ、内海ニ電話シテカゼインノ件來週会合ノコトニキメル 協会ニ行ク ヤハリ金ナク話シニナラズ 局金下付努力ヲ迫ル 五日支拂ヒニ対シ金都合方申込ム 局ニ行キ 石島氏ニ會ヒ新事務官ト挨拶。課長多忙ラシク後日ニシテ五時ニテ帰ル 井上武三郎氏來テ居タ 明日立川行キ

◆▼352ページ◆▼ 昭和16(1941)年12月4日(木)

天気 快晴

六時半起床 井上氏モ起キル 定刻出社 社用ヲスマセ井上氏同道立川ニ行ク 十時半着 横山専務ト会见。Y39ノ件圖面延引ノコト 仕様書早速届ケルコト、六十馬力飛行機試作ノ件、木材ノ件ニツキ依頼ス 井上氏ト夕食ヲ約シ晝食ヲ共ニシテ分レ大森ノ日立ニ行ク 乗池不在 組合ニ帰り決算ワナイトノコトニ一通リ調査シタガ分ラナイ内ニ五時ニナル 大藪都会ヨリ五千円受取ル 綿テープ名古屋ヨリ千個來 五百二十円支拂フ 山崎井上両氏ト○屋ニテ会见 アイニク今夜モ酒ガナク井上氏ニ氣ノ毒シタ 帰ツタラ 藤枝ガ來テ居タ 一時間程今日 藤枝 山崎カラ聞イタ話シラシテ帰ス

◆▼353ページ◆▼ 昭和16(1941)年12月5日(金)

天気 晴

昨夜ハ一時過ギ眠リニツク 六時和子ノ声ニ目醒メル 六時半起床 定刻出社 星野氏出社後梅津辞令ノ件取キメ後チ賞与ニツキ協議 午後ハ三課長モ加ヘ意見一致 進メルコトニス 青木上京 本日ノ支拂ヒ分受領 夕方ヨリ支拂ヒ開始 中央養成所ノ一型十二号最后ノ一台ヲ今日送り出ス 一昨日アタリカラ藤枝ニ対スル家内ノ「シット」ガ取レ家内明朗トナル 夜組合物資計算ヲナス

◆▼354ページ◆▼ 昭和16(1941)年12月6日(土)

天気晴

七時十分出 九時半日立着 乗池君会見 井上氏本日出勤セズ 大体予定通りニテ  
差支ナシトノコト 神風部品六十日頃迄ニマトメルトノコトデアッタ。陸軍部営業ノ仲川  
氏ニ照(ママ)介サレ三型部品ノ件相談ス 航空局物資ノ内カラ注文デ作ツテ居ルノガ  
アルガ直接賣リハ不可能トノコトニ局ヨリ部品支給ヲ乞フコトニス。組合ヨリ宮本二月  
曜日会見ノ速達ヲ出シ、一時半工場へ帰り二時ヨリ産報委員会ヲ開キ年末應召家族  
慰問ノ件ヲ決定 其他数ヶ條デ三時過ぎ終ル

夜島田令七來 五十円貸シテ呉レトノコト 明後日宮本ノ飛行機ノ話シガキマレバ貸シ  
テヤツテモヨイガ、ソレデナイト苦シイノデ明後日決定スルコトニシ困ツテ居ルラシイノ  
デ小供ニトテ五円與ヘル

▲▼355ページ▲▼ 昭和16(1941)年12月7日(日)

天気晴

六時半起床 朝食前散髪ニ行ク 昨日ノ注射残ツテ気分サワヤカナラズ 少シ尚眠シ  
仁三郎徳次ノ處へ行ク オーバート芋ヲ持参 ツヒデニ二三日前藤枝カラ貰ツタ菓子  
五個持タセル 自分六十時半朝日新聞着 松上氏ニ会ヒ丁度第一番ノ女子一人済  
ダ處デアッタ 二三人居タノニ先キニヤツテ呉レタ 写真ト違ツテ気分ガ現ワレテ居ル  
處ハサスガデアッタ 二十円ノ予定ガ三十円デアッタ。キツチリシカナカッタノデホツ  
シタ。一時半帰宅 少シ眠ル 夜入浴 夕食後早ク床ニ入ル

▲▼356ページ▲▼ 昭和16(1941)年12月8日(月)

天気晴

時事 今朝米英ニ対シ宣戦布告セラル

午前食事中七時ノニュース後陸海軍大本営発表 今晚我陸海軍ハ米英ト戦闘状態ニ  
入レリトノ発表アリタリ イヨハ、初マツタ

定刻出社 一同ニ之レヲ傳ヘ一曾ノ緊張感ヲ與ヘル 八時半ヨリ上京 航空局工政課、  
島山、守屋両氏ト今回ノ局案ニ対シ現在ノ組合ノ方針ニツキ想(ママ)談 結局組合ハ  
存續 内部改組ニ進ム方針ニ諒解成ル。組合ニ行キ高山ノ人達ニ會ヒ結局グライダ―  
ヲ作ルコトハ止メ資材ト部品ヲ産出スル方針ヲ進メ午後東君同道高山ノ人二人ト津田  
沼ニ案(ママ) 四時頃帰ル

三式希望ノ宮本君会見予定ニ対シ試験中デ行カレナイトノ電話アリタリ

▲▼357ページ▲▼ 昭和16(1941)年12月9日(火)

天気 曇雨

時事 ハワイ、グアム、マレイ、ミットウエイ、比島、一セイニ猛爆 大戦果ヲ上ゲ  
曇リ 今朝ヨリラジオ不調トナル 晝ハヨク聞エタガ夜遂ニダメトナル 電気屋ヘヤッタガ  
直ラズ 夕刊モ來ラズ 今日ノ非常時ニ残念千万  
定刻出社前大藪ニ今日ノ仕事命ズ 今日作業会議ノ予定ノ處作業課長松戸出張ノ  
爲メ明後日ニ延期ス 昨日作業工ム両課長霞ヶ浦出張  
終日セコンダリーノ物動計画書作製。夜ラジオオナク引ツキ計画書ヲ作ル

◆▼358ページ◆▼ 昭和16(1941)年12月10日(水)

天気 雨後晴

昨夜聞エナカッタラジオ今朝ハ低声ナガラ聞エル様ニナッタ  
定刻前出社 雨ノ爲朝礼ヲ止メ今日ノ勅語奉讀ハ星野氏ニ頼ムコトトシテ上京 九時  
十分器材ニヨル 社長赤坂君居ル 十時組合ニ行キ生田、美津の、ト理事會。ポーナス  
ト河合ノ謝礼ヲ取キメ後子局ニ対スル組合ノ方針ニツキ協議 加入者問題局提定(ママ)  
ノモノヲ加入セシムルコトノ一項ヲ入レルコト 尚内部改組ノ必要ノ爲メニハ現役員ノ一  
應辞任ノ件ヲ諒解ヲ求ム 一同承認。午後福知氏來 マイセ資材表早クホシイトノコ  
ト。器材ニ行キ矢野氏ヲ要求シテ三時迄待チ松戸ノ土地ト建物ニツキ説明シテ、三時  
十五分出 開店後初メテ千葉ノ藤枝ノ店ニモ行ク 今朝早ク仕入ニ行キ風呂敷包ヲア  
ケテ帰ツタトノコト。思ツタヨリヤルヨウテ、タノモシイ  
今夜又ラジオ聞エナクナル シカモ今日新ラシク買ツタモノガ

◆▼359ページ◆▼ 昭和16(1941)年12月11日(木)

天気 晴

時事 海軍大捷 開戦三日ノ昨日英戦艦ニ隻ヲゲキ沈ス  
雲多シ

定刻出社 終日在社

宇賀ヨリ昨日ノ常會ノ經過ヲ聞ク 後チ賞與ノ査定ヲナス  
午前來ル予定ノ處午後協會ヨリ齋藤氏一人來 弊所ハプライマリー二月中ニ廿一台ヲ  
引受ケル

毎夜ラジオ聞エナイノハ放送局デソノ様ニシテ居ルトノコトデ機械ノ故障デナイコトハ分  
ツタガ、之レデハ、ドウニモナラナイ  
夜物資ノ書類作製 十一時過ギル

◆▼360ページ◆▼ 昭和16(1941)年12月12日(金)

天気 晴

六時半起床 定刻出社 宇賀松戸行同道 船橋ニテ分レ上京 組合ヨリ協会ニ行キ齋藤君同道小型三行ク 大藪ニ工場へ明日星野氏 上京器材行キニ木村其他ノ分モ一緒ニ金準備方ツタエル

小型ニテ金具悪イト云ノデ見ル 熔ハ思ツタヨリヨク出来テ居タ 仕上ゲハシテナカッタガ之レトテ大シタコトハナイ 後チ本庄氏ニ会ツタラ値段モ高イトノコトデアッタ。今貴社ダイクラデ買ツテ居ルカ聞カセテ呉レト自信ヲ以テ云ツテ居ク。賞与ノ件大藪ノ二ヶ月分 女ハソレニ及バズ 福知ハヤラナクテモヨイトノ意見。廻間ノコト話シタガヤルトモ云ワナイノデ止メル。局ノ件モ話シテヨク聞カズニ自分ガ交渉ガ軟弱ナリトサンギ、コノ話シモ馬鹿々々シクナツテ齋藤君ガ工場カラ帰ツテ來タノヲ期(ママ)会ニ中途ナガラ話シテ止メテ帰ル

▲▼361ページ▲▼ 昭和16(1941)年12月13日(土)

天気 曇後晴

時事 九龍占領

南西ノ風強シ

朝大藪ヲ呼び用件ヲ命ズ 組合ノ賞与謝礼ヲ債券デ出スコトニシ、ソレヲ隣組デ購入スルコトトス

出社 終日資源調査ヲ書ク

夕方木村、清平ヨリ布施ガ梅津ノ整備行キニ対シ反感ヲ持チ居ル旨又梅津君ノ爲メニモ宜シカラズトノ太田ナドヨリ申出アタル由 一ヲ知ツテニヲシラザル者共ニハヨク分ラセル必要アリ。松戸出張ノ工員旅費値上ゲ方申出アリ 之レモケシカラン話ト思フ。時局柄皆献身的ニヤルト申合セヲシタトノコトダガ的ニナラナイ

▲▼362ページ▲▼ 昭和16(1941)年12月14日(日)

天気 曇晴

七時半起床 朝食後九時工場出 スグ千葉市役所ニ工業ノ校舎落成記念事業モ終ツタノデ其報告会ニ出席 例ニヨリテ十時ガ十一時二十分開会 晝食後散会 藤枝ニヨリ印刷物ノ数ハ調ベルコト 看板ノコトヲ打合セ、ウドンヲ馳走ニナリ帰ル 二時工場ニ出主任以上ノ常会ヲ開カセ工場員貯金ノ件主任ノ任務ノ件ニツキ協議決定ス 夜眠ク早ク床ニ入ツタガヤハリスグハ眠レナカッタ

▲▼363ページ▲▼ 昭和16(1941)年12月15日(月)

天気 雨

終日雨 八時過ぎ出社 九時半ヨリ上京 晝前組合着 事ム員ノ賞与、河合ノ謝礼其  
他ヲ作り河合ハ日比氏ニ渡ス 大藪飛行協会へ行ク。今日ハ終日噴門ガ痛ンデ困ル 二  
時半帰ツテ休養ス  
六時恵美子帰宅 飛行協会今日モ金呉レズ ヤハリ航空局ノ金來ル迄待タレタシトノコ  
トノ由

◆▼364ページ◆▼ 昭和16(1941)年12月16日(火)

天気 晴

六時半起床 定刻出社  
終日マイゼノ資材表作製  
夕方金太郎ヲ呼ビ梅津ノ件本人ノ現在將來会社ノ方針等ニツキクワシク申聞ケタガ  
尚不明リヨウナ返事デドナリ付ケタクナツタガガマンスル。己レヲ知レトヨク教ヘル 自  
己ノカヲ知ラナイモノハ實ニ困ル  
夜上岡ガ吉原四郎君ヲ千葉へ連れテ來ルカラ會ツテ吳レトノコトニ並木デ会見ス  
非常ニ好結果デアッタ 清平ヲヤルコトニス

◆▼365ページ◆▼ 昭和16(1941)年12月17日(水)

天気 晴

六時半起床 定刻出社 九時ヨリ上京 成工社ニヨリ組合ノ金具B八ノ金具ニツキ打  
合セ協議ヲナス 組合ニヨル 器材ヨリ電話アツタトノコトニ行ク 畑氏ヨリ賞与工員ノ  
分六月ト同額ニスル件明後日局へ増資ノ願書提出ノ件等話シアリタリ  
東日会館ニテ晝食後航空局ニ行キ石島氏ニ會フ 丁度廻間モ行ツテ居タ 指名制度ト  
下請關係ニツキ明ラカニ聞イテ居ク。集メルコトハ成ベク新春ニシテ貰ヒタイ旨述ベテ居  
ク 建設課長ニ會ヒ松戸ノ拡張土地ノ件ニツキ會談 三時出テお茶ノ水ヨリ乗ル 途  
中根岸君ニ會フ 明日來ル由

◆▼366ページ◆▼ 昭和16(1941)年12月18日(木)

天気 晴

皆寢防(ママ)シテ家内ガ六時十五分起床。  
朝大藪ニ中學校ヲ學務部デ取マトメテ貰フ様手紙出スコトニツキ局ト文部省協会ニ行  
クコトヲ命ズ

八時出社 終日在社 十一月ノ出資調べヲナシ平均工賃ヲ出ス 明日ノ賞与支拂ヒノ

準備ヲ進メサセル

星野出社

夜七時工場ヲ見廻リニ行ク 整備ハ皆火ニアタツテ仕事スルモノナシ フロートハ二三人  
働キ板金同シク 機械モ動力ヲ止メテ居タ 滑空機ハ三四人火ニ當ツテ居テ動ク方ガ  
多カッタ 木工機械モ皆火ニ當ル 板金ノ一部ハスデニキレニ方付テ居タ 時七時二十  
三分 コレデハ七時三十分迄トシタコトガ意味ヲナサナイコトニナル

▲▼367ページ▲▼ 昭和16(1941)年12月19日(金)

天気晴

大藪ニ組合用件ヲ命ジ出社 朝礼ノ時昨夜見タ勤務状態ニツキ注意ヲ與ヘル 八時十  
五分發代々木ニ航空記念碑ノ完成式ニ参列ス 十時十分着 式ハ初マツテ居タガ式後  
井上大將ニ挨拶ス 工場ノ事心配シテ聞イテ呉レタノデアッタ。日野氏來テ居タガ後  
列ニ居テ一向存在ヲ認メラナイノハ氣ノ毒デアッタ 夕刊ニモ参列者ノ中二名前モ出  
テ居ナイノハ遺憾(ママ)デアッタ。スグ帰宅 社長四時來社 自分ヨリ挨拶シ後社長  
ノ年末ノ辭アリ 時局柄ヨイ教訓デアッタ 終ツテボーナスヲ渡シ六時帰宅ス。家内藤  
枝ノコトニツキカラミ帰リノ遅イノヲ千葉へ行ッタノカト聞キシニ思ワズムラ、トシテ頭  
ヲ数回ナグリ飛バシタ 死ンダ仁三郎(ママ)ノ小サイ時ヨクヤッタコトガアルガ永イコト  
コンナコトハヤラナカッタノデアッタガ今日ハ馬鹿ニ腹ガ立ッタ

▲▼368ページ▲▼ 昭和16(1941)年12月20日(土)

天気晴

出社前家内ニ自分ノ心境ヲヨク話シ反省ヲ求メテ定刻出。

仕事高級機資源表、整備ノ注意、B人工賃ノ調査方太田ニ注意。午後工賃昇給ノ会  
議 提案ノ額ハ七分ニ厘増トアリ星野、宇賀會議 四分以上四分五ノ以内ニテ上ゲル  
コトニ宇賀ニ命ズ

夕食頃ヨリ頭ガキリデモムヨウニ痛ム 七時頃床ニ入ル 家内マダ、シヤクゼントセズ  
困ツタモノダ

▲▼369ページ▲▼ 昭和16(1941)年12月21日(日)

天気晴

六時半起床 七時過ぎ散髪ニ行キ帰ツテ高級機資源表作製終ル。後チ盆栽ノ冬越シ  
ノ準備ヲナス

午後自宅ノラジオ昨日カラダメナノデ下へ聞キニ行ク 徳治兄ト一所ニ帰ツテ來タ 帰

宅後徳次ヨリ話シテ聞ク 安河内ト云フ人ハ全然人ヲ使ツタ事ノナイ人ラシイ  
夜食後將來ニツキ皆テ相談 取アエズ一度病氣静養トシテシバラク休ムコト 其間善後  
処置ヲ取ルコトニ一決ス

◆◆370ページ◆◆ 昭和16(1941)年12月22日(月)

天気 曇リ

六時半起床 大藪、エミ子ニ組合ノ用件ヲ命ズ  
出社 松戸行キ予定ノ處自動車ラジエター漏水修理ノ爲メ遅ル 止ムナク中止 十時  
半ニア上京 成工社ニ行キ組合金具ノ件 伊藤B八金具中仕上ゲ値段交渉決定ス 研  
究所へ木村小林ヲ訪問ス 二人共不在  
組合ニ帰り生田來テ居ルトノコトニ局へ電話シテ來テ貰ヒ中央組合同国防献金ノ件、協  
會來年度受注契約書ノ件、其他二三相談ス 小型ヨリ三番金具不良ノ件調べタ處穴  
ガニミリホド違ツテ居タ  
五時〇屋ニ行キ待ツ 六時清平吉原四郎氏案内シテ來ル 種々雑談ノ内二百二十、六  
十三ノ内百二十ヲ試作スル方ガヨサウ(ママ)ダト云フコトニナル 尚木村君ニ明後日  
会ツタ上ノコトニス  
九時半帰宅

◆◆371ページ◆◆ 昭和16(1941)年12月23日(火)

天気 晴

時事 ウエーキ島完全占領

六時四十分起床 大藪ト恵美子ニ用件ヲ命ズ  
八時出社 昨日船橋警察署ヨリニテ話シアツタ由 宇賀ヨリ産報新運動ノ話シテ聞キ  
書類ニ目ヲ通ス 布施ヲ呼び梅津ノ件話シ合フ ドウモ氣持チヨク引受ケナイガ木村  
君モ來 梅津ハ布施ヲ先輩トシテ立テルトノコトニ一人ヲ前ニ尚ヨク説諭ヲナス  
午後一時ヨリ産報ノ件ニツキ会議ヲ開ク。戦時体制ニ即應スル爲メノ政府ノ指示ニツキ  
協議 之レニマイ進スルコトニ決定 方法ハ三課長宇賀太田ノ五名ヲ委員ニ指名シテ実  
行案ヲ作製セシムルコトトス 夜兄夫妻ヲヨビ徳次ヲ加ヘ豚肉ノスキ焼ヲナス 後チ徳次  
ニ一日モ遊ブコトナラヌ旨申渡ス  
兄夫妻ヨリ藤枝ノコトヲアレコレ比(ママ)評スルモノアルニ対シ自分ノ心境ヲ話シテ聞カ  
セル 今日藤枝ノ挨拶状千葉へ持タセテヤル  
木村秀政君明日会谈ニ決ス

◆◆372ページ◆◆ 昭和16(1941)年12月24日(水)

天気 晴

定刻出社 内田昨日七時死亡 諸手續キニ乙竹出張 九時半ヨリ松戸二行ク 長官來  
今日中居ルトノコトニ所長ニ会エズ、朝妻サンニ會テ組立中ノ作業ヲ見テ、工場ニヨリ松  
戸駅ヨリ上京 組合ニ行ク 海藤、藤川会见発注  
生田君会见 金支拂ヒヲナス 夕方東洋ニ支拂フ 生田君組合強化ト生産方法ニツキ  
各縣ニ組合下請ヲ置クコトノ提案アリ ヨサソウデアッタガ需要問題モ一應考慮ヲ要  
スル イツレニシテモ今後組合へ時々顔ヲ出シ協力スルコト。尚購買係組合へ貰フコトヲ  
交渉 考慮スル由  
五時木村、小林來 清平ヲ待ツテ井上三行キ会食 技術者ト駒林氏ニ試作ノ件伊藤ニ  
モ命ズル様傳言方依頼ス

◆◆373ページ◆◆ 昭和16(1941)年12月25日(木)

天気 晴

時事 午後五時五十分香港陥落ス  
六時半起床 八時出社 十時半帰宅 午後出社 三時半帰ル  
藤枝へ羽布一枚シンナー二本持タセニヤル 宇賀、太田ニ工具(ママ)募集ト下請利用ニ  
ツキ協議命令ス  
一三式胴体出サセ拂下スルコトトス 上翼二枚出シ内一枚ハ羽布ヲハガシ一枚自宅へ運  
バセル

◆◆374ページ◆◆ 昭和16(1941)年12月26日(金)

天気 雨後晴

今日ハ寒イ日デアッタ 十時半ヨリ出カケル 自動車成工社へヤル  
組合ニ行キ二時迄居ル 森川氏給料取りニ來タガスツカリ忘レテ居タ 明日トゞケルコ  
トニス 今日ノ会議ニ出ル筈ト思ツタニ出ル様ニ話シガナイカラ止メタトノコト 後器材  
デ社長カラ聞クト來ル様話シテアッタトノコト 二時四十分器材着 ソレヨリ先村上氏  
ヨリ電話アリタル旨話ス 今ノ内ニ行ツテ來テ呉レトノコトニ社長ノ自動車ヲ借りテ行  
ク 村上氏ト會見 増資ノ方ノ話シテ説明ヲ求メラレ、補給課長ニ會ヒ官給部品ノ件  
キマル 器材ニ行ク 正味ノ欠損十一万六千円ハチト多イガ、ソレダケニナツテ居ル由  
申訳ケナイ事実デアル 賞与ヲ呉レタガ恐縮ノ外ナシ。発動機整備ニ関シ設備ノ件ヲ  
希望シタコトヨリ赤坂氏ヲ伊藤ノ本日取締ニシタコト ヨツテ明後日赤坂氏ト会见打  
合セテ呉レトノコトニ決定ス

◆◆375ページ◆◆ 昭和16(1941)年12月27日(土)

天気 晴後曇

組合今日営業 文部省金具請求方発送セシム  
定刻工場出 今日ハセイヲ出シテ居タ 昨日ハ、ストーブニアタッテ出ナイモノ數十人ニ  
達シタノデソレ等ノミ集メテ説諭シタ。組合ノ資材ノ價格ヲ調査記入ス 清平飯沼行  
キ 材料引取り

昨日給料支拂ヒ間ニ合ワズ本日支拂フ

本日ノ支拂ヒ二万五千円アリ 器材ヨリ昨日一万五千円貰ッテ來タトノコトニ之レガ  
支拂ヒヲ青木ニ延バス處支拂フ處ヲ指適(ママ)ス 青木午後出社 爲メニ支拂ヒオクレル  
鷺見氏來 五百円渡ス

神崎へ酒一打讓ッテ呉レルコトニ三代川ニ取りニヤル

二三日前カラ頭ガイタカッタ 今日ハノーシンヲノミ早ク寢ルコトトス 少々特ニツカレ  
ヲ覺エタガ終日在社ス

陸軍熊谷飛行學校ヨリ大川中将來社 プラ三十機セコ十機三月中ニ最(ママ)非ホシイ  
トノコトニ遠方ハ電報デ其他ハ組合ヨリ電話デ明日中ニ返事取ル様サセル

▲▼376ページ▲▼ 昭和16(1941)年12月28日(日)

天気 晴

六時半起床 定刻起床 昨夜ノーシンヲノンダ精カ今日ハ頭腦ガ気持チヨカッタ

星野氏十時迄出社ヲ待ッテ松戸出張工員ノ旅費、養成工二年生ノ休暇ノ件ヲ取キメ  
ル

十一時帰宅 仕度ス 十二時半頃自動車來 上京 組合ニ二時近ク着 東外一名待ッ  
テ居タ 文部省型木材 □□シテ呉レトノコトニ八十円以内 バツツン八錢ト十四錢ト云  
フ

大森ノ松原写真館ニ行き徳治ノ新主人ニ会フ 荷物ヲ徳次ノ下宿ニ居キ四時半木下  
氏宅着 酒三升ヲ土産トス 木下氏風、直ッテ工場へ出タトノコト

六時半帰宅 寒ニ寒カッタ 湯ニ入り一本ツケサセル 今日ハ終日腹ガ変デアッタ。

本記事ハ廿九日分

▲▼377ページ▲▼ 昭和16(1941)年12月29日(月)

天気 快晴

八時半起床 十時前出社 腹ノ工合悪ク朝晝食事ヲ抜ク 十時半ヨリ会議 二時頃

ヨリ作業会議ニ入ルベキ處太田、布施來ラズ中止ス

机ノ片付ヲナシ定刻帰宅ス

本記事六卅日分

▲▼378ページ▲▼ 昭和16(1941)年12月30日(火)

本日ノ記事ハ廿九日ニアリ

▲▼379ページ▲▼ 昭和16(1941)年12月31日(水)

天気晴

昨夜汗ガ沢山出タ爲メ今日ハ気分ガヨクナツタ

定刻出社 歳末ノ挨拶ヲナス 出勤者少ナシ 主任級一人モ來ラズ 全部呼ビニヤル  
作業課長來ラズ 今日モ作業会議不可能トナル。主任中太田一人來ラズ 東洋電氣  
ト大工(舎宅分)支拂不能ノ爲メ星野氏器材へ寄ツテ貰ツタガ野田氏一人デ出金ナラ  
ズ組合ヨリ一時融通スルコトトシテ十時ヨリ上京 安田銀行ヨリ二千七百円引出シニ  
時帰社 青木ニ渡ス

帰宅後盆栽ノ台ヲ作り初メタガホゾノ穴ヲ明ケルダケニ暗クナル

本日ヨリ燈火管制再ビ行ワル 正月ニ対スル敵国ノ攻撃ニソナエル爲メデアル。例年ノ  
成田山ヤ明治神宮夜中参拝モ禁ジラレタ

▲▼380ページ▲▼ 補遺

本年ハ仕事ハ大分予期通りニ取レル様ニナツタガ従業員振ワズ能率上ラズ、前半期間ハ  
森川氏ニ任カセテ居タノデ返ツテ悪化シタ 後半星野氏ノ協力デ大ニ努力シタガ決(マ  
マ)損ハ多カッタ。來期コソ黒字化スベク最大ノ努力ヲ要ス

第一 主任級ノ改善 作業課長考慮

第二 工員ノ改善

以上産報ノ方針ニモトツキ努力スルコト

▲▼392ページ▲▼ 知人名簿

住所	氏名	電話	関係
報國債券特別第一回 一〇〇ノ組	十六年十七年	毎十月ク ジ	一六、七、二五
○八七一八三		音次郎	買入
○八七一八七		吉	々
○八七一八四		徳治	々
○八七一八八		恵美子	々
○八七一八六		仁三郎	々
○八七一八五		和子	々
五〇円支那事変國庫債券く号一〇四四〇八	久々田局ニテ		一七、九、一買入